

温泉場は上湯臺の臺地から、烏川の谿に下つた小盆地にある。周圍には大葉山、志賀山、三角山等の峰巒が繞らされ、古風な萱葺の家が道を挟んで軒を並べ、山の湯の静かな落付を見せてゐる。庄内の湯田川は昔榮えた豪華を寂しく偲ばれる所だが、此處は昔ながらの面影を残して居る所に面白味がある。四季の眺めもそれよくよいが、冬季降雪の多い時は、屢々簷を埋むることもあるが、スキーの好適地として知られつゝある。

此の温泉の濫觴に就ては次の様な傳説がある。今から一千三百年の前、一人の道者が飄然と來て念佛を唱へながら、川上指して登つて行くと、一人の老僧に邂逅した。老僧は道者を伴うて谿間を下り、沸々と湧出する温泉を指して、俺は若い頃崖から墜ちて肘を折つたが、此の湯に浴して全快した。この靈效ある湯をお前に進ぜる程に、今後此地に住んで、世の病める人々を助けるがよいといつたかと思ふと、其姿は煙の様に消えて了つた。肘折の名は蓋し之れから起つたものである。附近には地藏倉の縁結び地藏、薬師神社、矢框の奇勝、小松淵等の散步地がある。此處が温泉場として浴く世に知られるやうになつたのは、今から約二百二三十年前、天和年中、新庄の城主戸澤侯の領となつてからである。

泉質效能 本泉は食鹽含有アルカリ泉に屬し、放射能一、二ニマツへを有し、源泉温度六十七度五、無

色清澄にして異臭なく鹹味を有し、微に清凉刺激性にしてアルカリ性反應を呈す。山形縣衛生課調査による分析表は、

遊離炭酸	〇、一四三五	クロールナトリウム	一、二四四二
硫酸ナトリウム	〇、〇一四〇	重炭酸ナトリウム	一、五二一一
クロールアンモニウム	〇、〇〇一二	重炭酸カルチウム	〇、四一二六
重炭酸マグネシウム	〇、一四一四	重炭酸亞酸化鐵	〇、〇〇八〇
硼酸(メタ)	〇、一一三二	硅酸(メタ)	〇、一七一

外傷に最もよく、リウマチス、神經痛、婦人病、皮膚病、腺病などに效がある。

旅館・經費

(イロハ順)橋本屋、西本屋、大友屋、若松屋、龜屋、加登屋、高美屋、大穀屋、高崎屋、萬屋、松井屋、丸屋、松屋、三春屋、三浦屋、惠比壽屋。一泊三食付、二圓五十錢、乃至一圓二十錢。自炊、室代一人一日三十錢、布団二十錢、食費三十五錢、湯錢十錢。

石抱温泉

山形縣最上郡大藏村にあり、肘折から烏川に沿うて約十町ばかり派つた所にある。假小屋風の休み場所がある丈で、旅館とてはない。浴槽が浅いので、湯の中は寢轉ふとフハリと體が浮き上るので、手頃の石を抱いて這入る。石抱の名は此處か

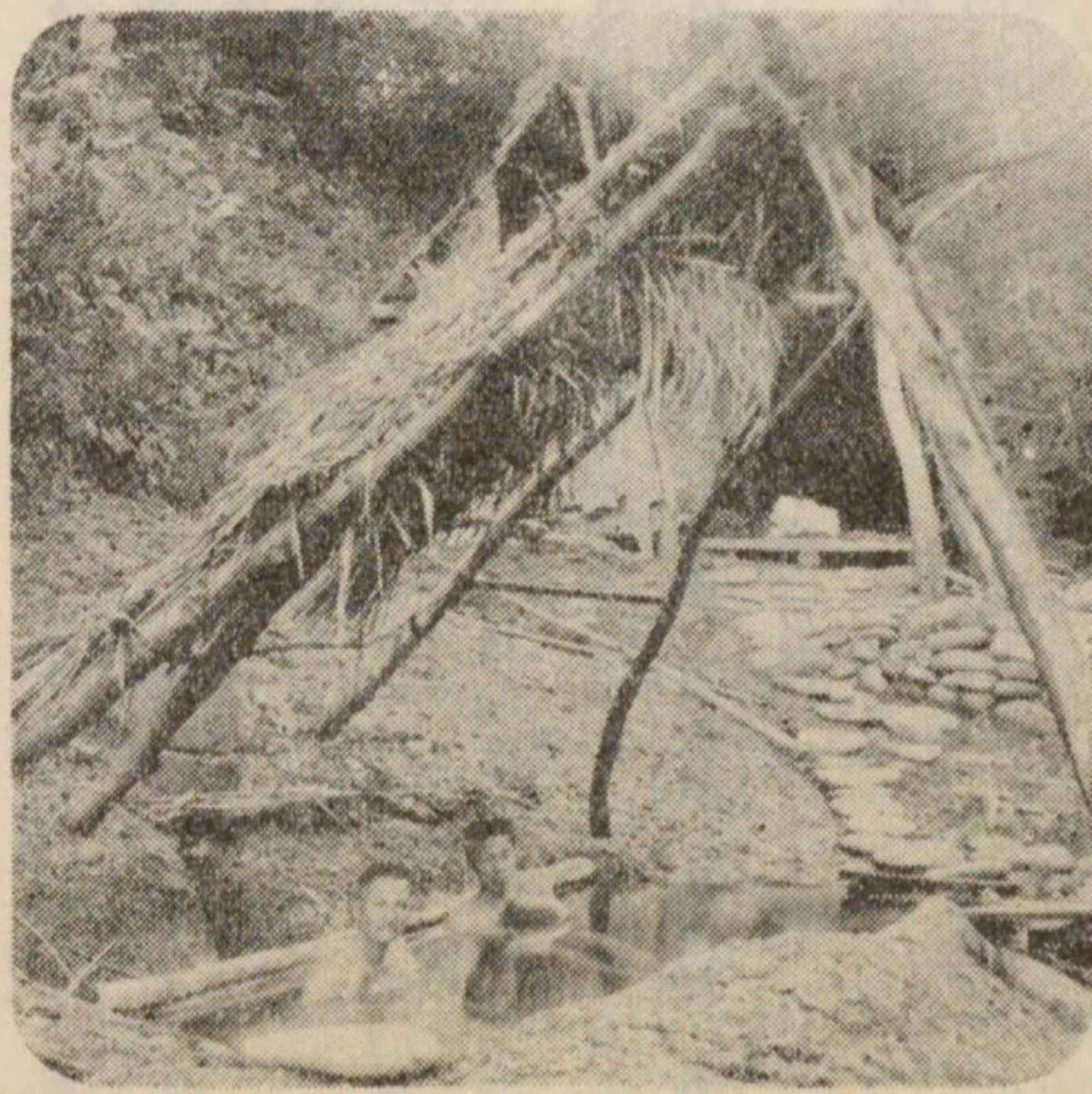
ら生れたといふから面白い。温度はや、微温だが、切傷、打身などに卓效がある。尚折から凡十二町、鳥川の支流苦水川の邊に胃腸病、痛風、脚氣に效く酸性泉があるが、たゞ休み小屋の設備があるだけだ。

羽根澤温泉

(山形縣最上郡鮭川村)

奥羽本線豊里驛より二里半、徒歩、新庄驛より三里強。途中一里は自動車の便がある。但し貸切。

場浴泉温抱石



豊里驛から一峠越せば鮭川村に出る。そこから鮭川の流に沿って派るのであるが、近頃は次第に道もよくなつて来た。温泉場は四方山に圍まれた静寂な所である。此處は明治年間に石油試掘の時噴出した新温泉で、設備の如き未だ整うては居ない。地方人士の農閑の保養所である。

泉質效能

アルカリ性泉、無色透明で、肌觸り頗る滑らかである。胃腸の諸病、慢性リウマチス、神經痛、婦人病などに效く。

旅館・經費

出羽館、加登屋、鮭川屋、松葉館、庄内館。一泊一圓より二圓五十錢、外に自炊制もある。

瀨見温泉

(山形縣最上郡西小國村瀨見)

陸羽東線瀨見驛から八町、自動車、賃二十錢。

陸羽東線の沿線にある温泉場で、此處位醇朴な地方色に富んだ所はあるまい。小國川の清流を前にして萱葺屋根が立ち並んで、昔ながらの湯治場といふ懐かしい感じがする。四季それ々の眺はあつたが、就中、紅葉の頃は、此の温泉を中心として、小國川上下流の紅葉は、遠く山形、仙臺方面より態々見物に來る程である。それから瀨見で忘れてならないものは朝市の情緒である。温泉温泉のそれよりも、更に野趣に満ちてゐる處が嬉しい。それに、最近堂々たる公衆浴場の設備も出來た。附近には龜割山觀音、山神堂、湯前神社等、何れも義經に縁ある勝地がある。小國川の鮎釣も面白い、又温泉入口の橋下には年々鮎梁が架けられ、年數十萬尾の鮎がとれる、名産松原鮎がそれだ。

温泉場に續く湯前森は天然植物園と云はれる程多種の植物を存し、卷峯山麓はスキーの好適地だ。

名物 鮎、乾ぜんまい、子持べら、山葵漬、舞茸、なめこ等。

泉質效能 湯量極めて豊富で、共同湯は、薬研湯、蒸湯、函湯、産湯壺、壽多湯、など各所に散在して

るが、泉質は石膏含有弱食鹽泉に屬し、源泉温度七〇度五、無色透明にして異臭なく、微に鹹味を有し、

弱アルカリ性反應を呈す。山形縣衛生課調査の分析表によれば、

函湯

クロールカリウム 〇、〇二九二

硫酸ナトリウム 〇、〇六七九

重炭酸カルチウム 〇、〇九一七

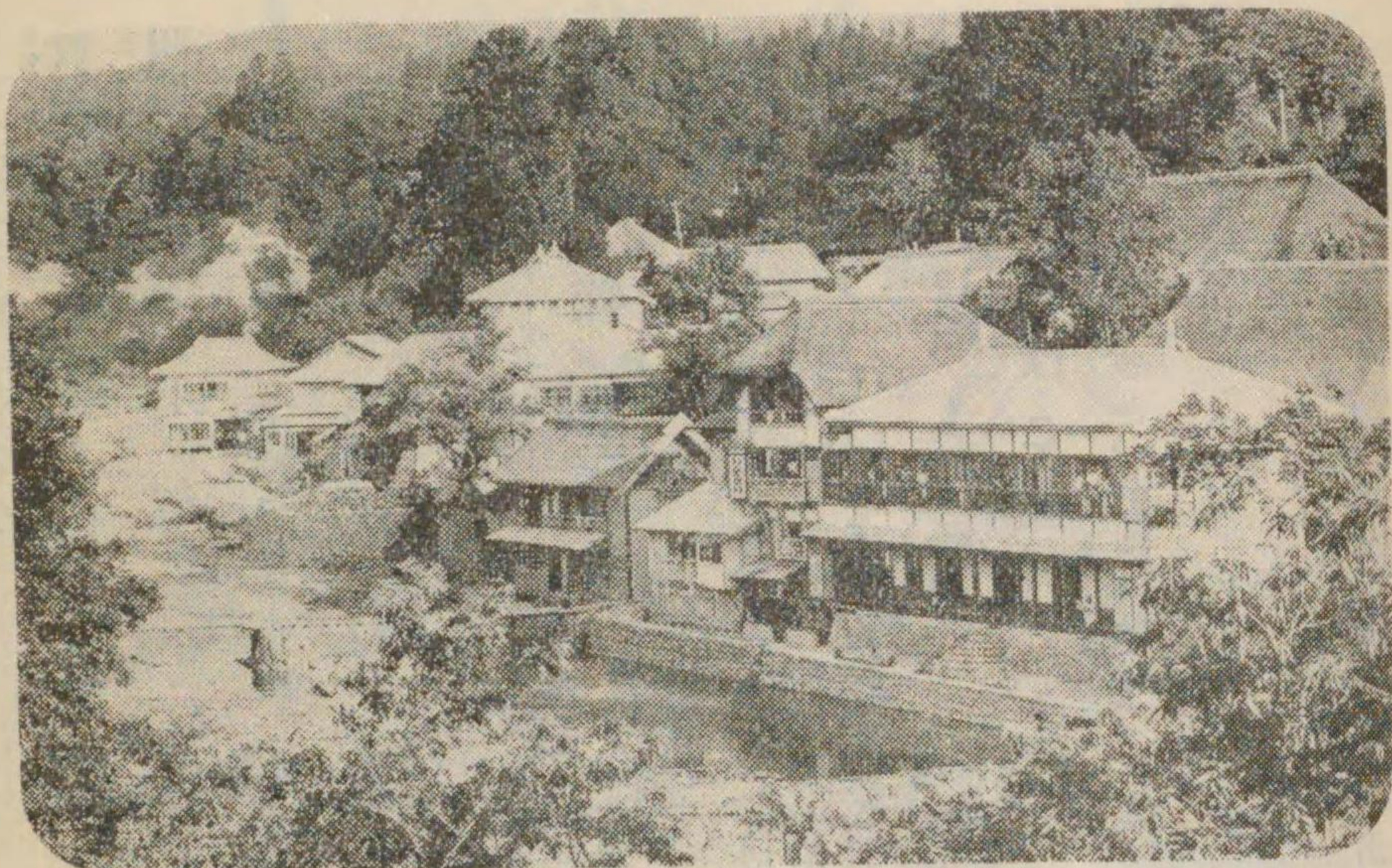
硼酸(メタ) 〇、〇一七〇

疝氣、リウマチス、痔疾、婦人病等に效く。

旅館・經費 觀松館、喜至樓、やく屋、小川屋、藤館、エビス屋、松葉屋、古木屋、板垣屋、孫兵衛、伊

藤屋、富澤屋、田中屋。宿泊料一泊一圓二十錢より三圓五十錢位まで、中食各半額。自炊、室料一日一人

二十五錢以上六十錢位まで。



赤倉温泉

赤倉温泉

(山形縣最上郡東小國村)

陸羽東線富澤驛より南二十町、夏季自動車の便がある。賃二十錢。

周圍には大明神山、大森山、靈山などの峰巒が聳え

立ち、小國川の清流に枕んで數戸の旅館が建つてゐる。

温泉は小國川の川床に湧くので、その川床を穿つた

自然のまゝの湯槽には、美しい湯が不斷に溢れ流れて

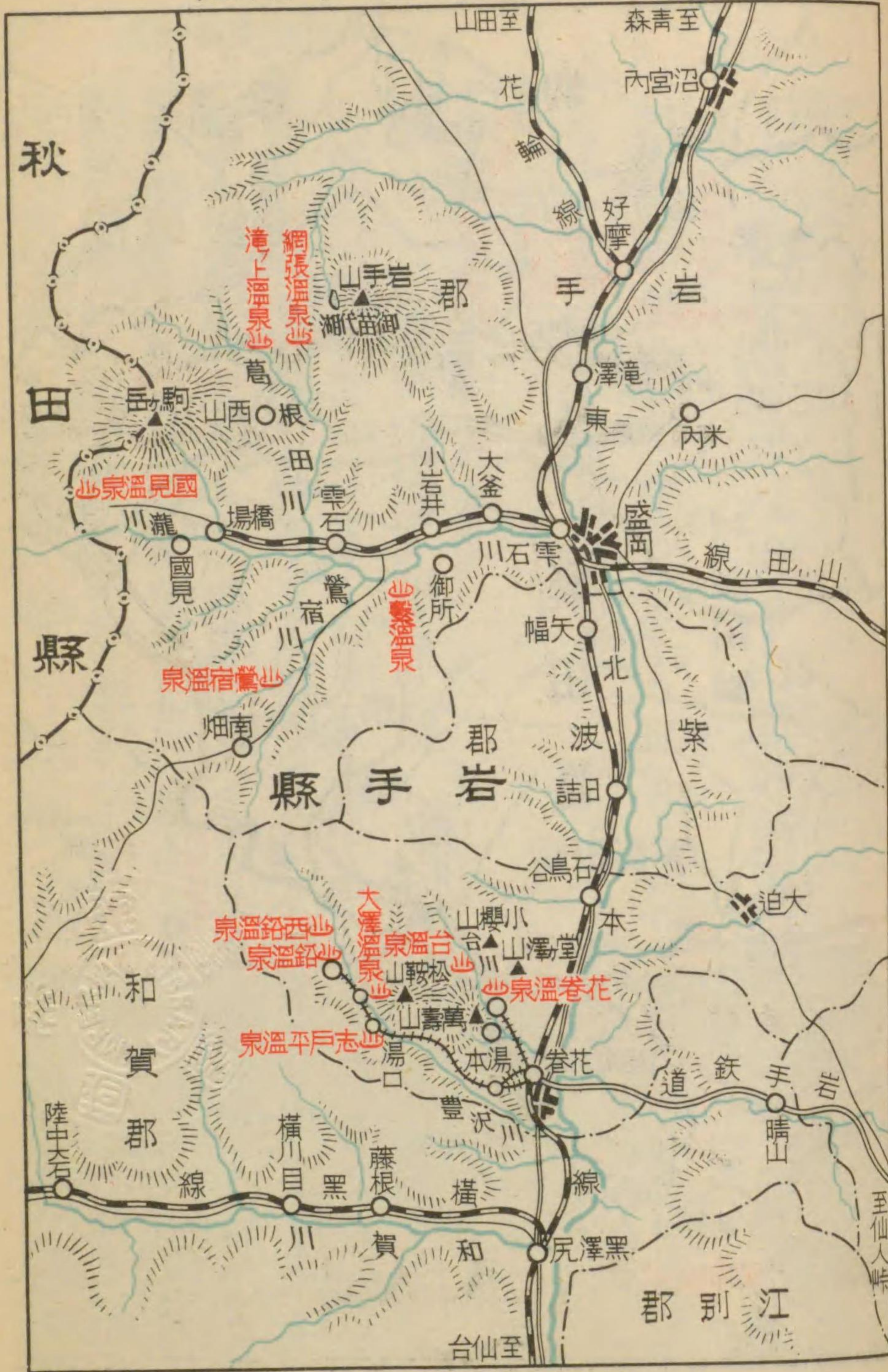
る。此温泉は清和天皇の貞觀五年に、慈覺大師が諸

國巡錫の砌に発見されたものと云ふ事だ。

附近に壽合の瀧、御鷹ヶ淵、荒澤不動の瀧、絲瀧等

の勝があり、翁山の古蹟、馬頭觀音、草分明神等の曳

麓山手岩び及近附巻花



杖地がある。温泉より約十五町にスキー場がある。面積八萬坪、周囲三里、緩急のスロープ、三段の連続スロープなど變化に富み、東北有数のスキー場と稱せられてゐる。

名物 子持べら、茸類、鮎、いはな、やまめ、鱒など。

旅館・經費 高橋屋、常盤屋、湯澤屋、山元屋、佐藤屋、鶴屋。一泊一圓二十錢より二圓五十錢位まで。

自炊は室代一日二十五錢より五六十錢まで。

日山鑛泉

山形縣最上郡東小國村にあり、赤倉より丘陵を越えて二三町の所にある。

眼の湯と謂はれ昔から眼病には頗る效があると稱されて居るが、旅館らしい旅館はなく、湯治客は、古ぼけた百姓家の榎火にくすぶつた暗い部屋の中に萬年床が敷かれ、幾人も、ごろくして居る様な所だ。泉質の分析表などはないが、眼病の外、消化器病、腺病、疥癬皮膚病などに效くといふ。

おばこ節

おばこ来るかやと、田圃のはんづれまで出て見たば、おばこ来もせず用のない煙草賣なのふれて来る。コバイテ〜。

おばこ赤だすき姉さま冠で機を織る。出来た手筒は可愛い若者さきせるなだ。コバイテ〜。

大いに氣を吐くに至つたのである。
之を別にしては、更に陸奥に入つて、淺蟲の温泉が有る。此二つが最東北地の二雄と稱すべく他
も、漸く時代に目覺め諸設備を整へてゐるから將來の發展は期して俟つべきである。

花卷温泉 (岩手縣稗貫郡湯本村)

東北本線花卷驛で花卷温泉電鐵に乗換へ、花卷温泉驛下車(盛岡、花卷温泉驛間、約一時間半、通し
切符九十錢。▼仙臺、花卷温泉驛間、約四時間半、賃二圓四十七錢)

新興の温泉花卷を訪れた蘇峰學人の東遊記に、次の様な事が書かれてある。

花卷温泉は、花卷驛から四哩餘を隔つるが、自動車でも電車でも、二十四分にて達すと云ふ。元
來は温泉場でなく、大正十二年此の地の形勝を卜し、山奥十町餘の臺温泉から、湯を導き來りて
新たに温泉場を經營した。而して先年東日大毎にて、日本八景を募集したる際に最高點を得てよ
り、其名天下に聞ゆるに至つたといふ。
海拔百四十米陸奥山脈の支脚に位し、西北は萬壽山、羽山、堂ヶ澤山、小櫻山等にて抱擁せら

れ、東南花卷方面に向け開け、北上の沃野
北上の山系、一望の中に鍾る云々。

一般に温泉地の娛樂機關と云へば、大抵程
度のきまつた者であるが、此處は實に破天荒
の大仕掛だ。遊園地としての面積が八萬坪、
その中の約六萬坪をテニスコート、大弓場、
プール、スケート場とし、スキー場をも設け、
四季それづくに浴客が保養しながら、運動が
出来る様、遺憾なき現代的設備を施してゐる。
其設計が宛然温泉の文化村といふ感じのする
所だ。そしてこの温泉は株式會社の經營だけ
に、浴客の好みに依つて、自由に選擇し
得るやう、旅舎の等級を多様にし、一日一圓
五六十錢程度の自炊専門の旅館があるかと思



ふと、宿料一泊十二圓の旅館もあると云つた具合で、何れの階級のものでも、快く保養し、氣安く來遊する事が出来るやうな制度を採つてゐる。

尚、遊園地内には貸別荘もある。之は家族連れの遊覽者、逗留者の便宜を計る目的で建てられたもので、使用料は一戸一日五圓七圓、間數によつて夫々等級がついてゐる。

この地方には民謡に合せた舞踊に『田植踊』と云ふのがあつて、毎年舊正月、村の若衆や娘達が心も空に唄ひ踊る野趣横溢のものである。これは近來、漸次衰退の傾向に陥つて居たが、温泉の勃興につれて、名物の一つとして紹介され、今では立派な郷土藝術となつて了つた。この唄は一、苗代均し、二、種蒔き、三、田打、四、苗取、五、子供手踊、六、笠踊、七、稻刈、と云ふ工合に分ち、鍬や鎌の様な農具の形をしたものを持つて、三味、太鼓、笛などに合はして踊るから、頗ぶる賑やかなものである。

泉質效能

臺温泉より鹽類泉を疏湯したので、泉質效能等すべて臺温泉に同じである。

旅館・經費

松雲閣、宿泊料五圓五十錢乃至十二圓、中食一圓四十錢乃至四圓五十錢。

千秋閣、宿泊料三圓五十錢、中食一圓。花盛館、宿泊料二圓五十錢、中食八十錢、自炊室代一日五十錢、一室貸切の場合は入浴料、薪炭及炊事場備付器具代共で、疊一疊三十五錢の割、寢具其他損料。

蓬萊館、自炊制度一日三十五錢（入浴料、薪代炊事場備付器具代を含む）、疊一疊二十四錢、寢具其他損料。

臺

温

泉

（岩手縣稗貫郡湯本村臺）

花卷温泉驛から十二町、自動車、賃三十錢。

花卷温泉驛から臺川の溪に沿うて十餘町ほど溯つた所にある。花卷温泉とは打つて變つた純然たる山の湯治場で、嶂壁相摩する溪間に、靜かに湯の香を漂はし、臺川のせゝらぎは、銀の鈴をふるやうに枕に響く。附近の光林寺は時宗遊行派に屬する古刹で、多くの寶物を藏し、見るべきものがある。其他釜ヶ淵、石割松、緒ヶ瀬の瀧などの勝地は、消閑の散策によく、釜ヶ淵では水泳や魚釣なども出来る。

こゝは温泉の湧出量の豊富なること、泉質の多様なること、は、附近數有る温泉中の第一で、花卷温泉は元々湯の氣の無い所へ、こゝから疏湯したものである。

泉質效能

泉質を異にするに従つて效能も異なつてゐる。

大湯、薬師の湯（酸性泉）

特效。眼病、花柳病、全身病、關節リウマチス、消化器病。

金の湯、雀の湯、鶴の湯、龜の湯、松の湯、瀧の湯、(食鹽硫黄泉)

特效。リウマチス、痛風、痲衝、恢復後の滲出物、神經麻痺、腦脊髓、婦人病、貧血。

戦捷の湯、新雀湯、雌雀湯、五郎湯、鷹の湯 (含硫鹽類泉)

特效。腸カタル、常習便秘、脂肪過多症、多血及逆上、肝臟肥大、神經弛緩、心臟病、消化不良。

平和の湯 (鹽類泉)

特效。リウマチス、痛風、濕疹、疥癬、ヒステリー、神經衰弱。

旅館・經費 阿部ホテル(高砂湯)、戦捷湯、金湯)、樂知館(鷹の湯)、金矢ホテル(平和の湯)、(臺湯館(新

松の湯)、蓬陽館(新鶴の湯)、金ヶ屋旅館(赤湯)、松田屋(仙齡泉)、福壽館(新雀湯)、富手旅館(大湯)、

瀧の湯(瀧の湯)、水上館(河鹿の湯)、龜屋(藥師の湯)宿泊料二圓五十錢内外、中食は大體宿泊料の半額。

自炊、席料一日一人二十五錢乃至五十錢。夜具布團、丹前類は貸貸する。

志戸平溫泉 (岩手縣稗貫郡湯口村志戸平)

花巻溫泉電鐵志戸平溫泉驛下車、賃五十六錢。

松鞍山の翠巒を負ひ、豊澤川の清流に臨んだ幽靜境である。志戸平の停留所で下車すれば、崖下の川岸に大きな旅館の屋根の棟が見える。それが志戸平溫泉旅館で、接客の設備よく行届き、砂風呂、蒸風呂、瀧湯などを設けてある。周圍の眺めは極めて佳く、溪崖に山藤がかかり、躑躅の花の咲く頃が最も見物だ。前の豊澤川では、山女やハヤなどが釣れるから、浴衣がけて綸を垂れる太公望を見受ける。尙附近には薄衣の瀧の白濛々たる偉觀が有る。此溫泉の發見は頗る古く、坂上田村麿が東征の途次、傷兵をこゝへ送つて療養させたといふ口碑が有る。藩政になつてから、領主南部侯代々來湯されたといふ。

泉質效能 無色清澄の鹽類泉で、温度は六十度内外。古から疥癬、子供の吹出物に特效ありと稱せられ、

尙慢性痛風、神經系の諸病、貧血諸病、萎黄病、腺病、潰瘍、創傷、骨瘡、膀胱カタル、慢性胃腸カタル等に效く。

旅館・經費 志戸平溫泉旅館は、旅館部と自炊部とに別れ、宿泊料(一泊二食二圓五十錢均一、中食一圓均一)自炊(一人一泊二十七錢乃至四十錢、薪代湯錢室料電燈料一切を含む)夜具一人前二十五錢以内。

湯治賄は一食二十錢で、一日三食五十錢位。

大澤 温泉

(岩手縣稗貫郡湯口村大澤)

花巻温泉電鐵花巻驛から大澤温泉驛迄、電車一時間十分位、賃六十九錢。

電車が志戸平温泉を離れると、豊澤川の溪は次第に深くなつて、山嶽左右より襲つて溪を壓殺せんばかりに迫る。電車は道窮まつて屢溪を横切りつゝ、山へ山へと登つて行くと、冷々たる嵐氣はサツと車窓に流れ込んで来る。電車の停留所から一町足らず坂を降つた處が、旅館の玄關口である。

旅館は豊澤川の溪に面し、堂々たる九棟の客舎が建ち並び、志戸平とは違ひ合名組織の經營である。溪向ふの崖下にも客舎があつて、その間に古風な橋が架つてゐたり、その橋の袂に湯瀧のある浴場があつたり、その他數ヶ所に大小の浴槽が葦布して、滾々たる湯の漲ぎり溢れるのは壯快である。浴客達は各自に思ひくゝの湯壺に浸つて、悠然と浮世を忘れ、幾日かを過すことの出来るのも、恙うした靜かな環境なればこそである。

この温泉にも志戸平と同じ様に田村磨將軍に關する口碑がある。將軍が東夷征討のとき賊の毒矢

に中つて、瘡痕容易に癒えなかつたのを、此湯に浴して全癒したといふのである。この温泉場を中心として大澤八景の勝地があり、更に一里二十町の地に、日本三清水の一に數へられる清水の觀世音がある。

泉質效能

無色清澄な鹽類泉で、泉温六十度内外。リウマチス、神経痛に特效があり、痛風、婦人諸病、便秘、皮膚病、痔疾などに效能がある。

旅館・經費

大澤温泉旅館。一泊二圓乃至二圓五十錢。自炊は室料一日一人二十五錢以上四十五錢、食費とも一圓内外で上げること出来る。

鉛 温 泉

(岩手縣稗貫郡湯口村鉛)

花巻温泉電鐵花巻驛から鉛温泉驛迄、電車約一時間半、賃八十八錢。

大澤から一里餘、志戸平や大澤とは又趣の變つたところで、豊澤川の溪流に沿つて僅かばかりの空地に、三四戸の旅舎が押合ふやうに軒を連ねてゐて、特殊の湯治場氣分を醸醸してゐる。三陸地方の漁師や農夫達が、不便な仙人峠を越えて、一日も二日もかゝつて此處へやつて来る。設備な

どは餘り整つてゐないが部屋数は頗る多く呑氣に湯治することが出来る。又リウマチスに特效有る事は、他に多く類例を見ない。

昔白猿によつて、發見されたと云ふ白猿の湯と、眼病に特效ありと云はれる目の湯の二ヶ所で、旅館には内湯の設けはないが、各旅館からは廊下傳ひに、中央の白猿の湯に通へる。

大倉山スキー場は、こゝから約五町、雪質は硬質、ジャンプ臺の設けがある。

泉質效能 無色透明の鹽類泉で、泉温五十度内外。白猿の湯は胃腸病、婦人病、痛風、リウマチスなどによく、目の湯は眼病に特效がある。

旅館・經費 藤友、藤三、藤徳、安淨寺等。一泊二圓乃至三圓。自炊は室料其の他で三十錢より七八十錢まで。

西鉛温泉 (岩手縣稗貫郡湯口村鉛)

花卷温泉電鐵の終點西鉛温泉驛下車、花卷驛から、電車一時間四十分、賃九十錢。

鉛温泉から一町、附近温泉の最奥に位し、停留所から爪先下りに豊澤川の岸へ降ると、一見古寺

のやうな鈍重な感じの三階建の旅舎が一軒、おつとりと腰を落附けたやうに建つてゐる。旅舎の部屋は寺の庫裡そのまゝで、黝すんだ太い大黒柱、都會の人々には想像のつかないほど頑丈な梁、其下に坐つてゐると、何となく重苦しい壓重を感じる程で、豊澤川の澤の音が、小夜嵐のやうに颯颯と聞えて来る。其溪に翠の裾を浸す山の深い巖積、其處には模様やうに、紅白様々の山の花が咲き亂れる。上州の法師、十和田湖近くの鳶、別府の鐵輪の熱湯などと同じ様に美しい温泉で、廣とした浴槽の底には清い礫を敷き詰め、温泉はその間から沸々湧き出て来る、夫が熱温肌に慥ひ、神身を蕩かすから、誰でも浴槽の縁を枕にして恍惚の夢を追ひたいやうな氣になるのだ。

泉質效能 清澄な弱鹽類泉でラヂウムを含み、泉温五十度内外。效能は神經痛、リウマチス、神經衰弱、婦人病、病後の恢復期。
旅館・經費 秀清館。宿料一泊二圓乃至三圓、中食半額。自炊席料二十六錢乃至五十錢位。

繋温泉 (岩手縣岩手郡御所村)

東北本線盛岡驛で橋場線に乗換へ小岩井驛下車(盛岡、小岩井間、賃十八錢)、それより南方約一里、



泉 温 繫

自動車じゆうしやの便がある、賃四十錢。▼盛岡驛もりおかえきより西三里、直通自動車、賃一圓。
 南部富士なんぶふじの稱しょうある岩手山いわてやまの麓ふもと、雫石川しづくいしやまの流れに沿そひ、盛岡もりおかから一時間じかん足らずで達たつする便利べんりな地を占しめて居るので、盛岡人士もりおかじんしの遊興ゆうきやうの場所ばしょとして、諸般しよはんの設備せつびも能く調とつて居る。
 繫つなぎと云ふ名は、昔源むかしみなもと義家よしかたが貞任さだたかを厨川くりやがはの柵さくに攻めたとき、此の温泉おんせんの南方なんほうに當る湯館山ゆのたてやまに其の本據ほんきよをおき、時々ときどき此地このちへやつて来て、戰陣せんじんの勞れを休やすめたといふ。今に『義家馬繫石よしかたうまつなぎいし』の舊跡きよせきがある。即ち義家よしかたが馬を繫つないだといふ所ところから、繫つなぎの名稱しょうが生れたのだといふ事ことになつて居る。附近ふきんには藤の花ふじはなの名所めいしよと稱しょうされる藤倉神社ふじくらじんじゃ（藤倉清水ふじくらしみずとも云ふ）がある。その他湯館山ゆのたてやま、塗澤山ぬりさわやまの岩窟がんくつなど

も、曳杖地えいじょうちとして好よいところだ。更に我國第一わがくにちだいいちと云はれる小岩井こいはるいの農場のうちやうへも程近ほどぢかい。三菱めいしの經營けいぎやうだけあつて、その規模きぼの宏大くわうだいな事は、國內第一こくないだいいちである。

名 産 木地玩具類きでわんぐるる、木杓子もくしやくし、麻等あし。
 泉質效能いんしつちゆう 硫黄泉いりやうで温度は湧出箇所ゆうしゅつかしょによつて異なるも、四十九度乃至七十八度。皮膚病ひふびやう、神經痛しんけいいつう、リウマチス、胃腸病いちやうびやうには特效がある。

旅館・經費 佐藤旅館さとうりやう、阿部旅館あべりやう、佐善旅館さぜんりやう、村上旅館むらかみりやう、菅旅館すがりやう、高橋旅館たかはしりやう、佐久旅館さくらりやう、澤口旅館等さわぐちりやうらう。其中阿部旅館あべりやう、村上旅館むらかみりやうの外は全部自炊ぜんぶじしゆのみである。宿料一泊一圓五十錢乃至三圓。中食料七十錢乃至一圓十錢。自炊による一日の滞在費たいざいひは食料共一圓内外。

網張温泉 (岩手縣岩手郡西山村)

橋場線はしばせん雫石驛しづくいし下車(盛岡、雫石間、賃二十五錢)、驛より三里半、夏季は馬車の便がある。

一名帝釋温泉めいたいしやくおんせんとも云ひ、岩手山いわてやまの西南中腹せいなんちゆうふくに當り、海拔七六〇米メートル (二、五〇〇餘尺) 眺望てうぼうは頗おそる雄大ゆうだい、西方せいほうには秋田縣界あきたけんかいの連峯聳れんほうさかえ、南方なんほう一帯いちたいは沃野萬頃よくやばんげん、小岩井農場こいはるいのうちやう、雫石しづくいし、御所村方面ごしよむらほうめんを一

眸に瞰下し、涼氣肌に滲みるので、夏季には多數の浴客がある。

此湯は温泉場の後方に聳ゆる湯の倉嶽の中腹から、二十一町も引湯したものである。湯元は非常に高温なものと、硫氣が多いのとで、時々窒息死する者があつた。その爲今では鐵網を張つて、入浴は勿論、源泉に近づく事さへ禁じたので、網張と云ふのも、そこから起つた名稱らしい。

岩手山は標高一、八〇〇餘米（凡六、〇〇〇尺）、別稱岩鷲山、霧山嶽、或ひは南部富士と言ひ、陸中岩手郡の北西方に屹立して居る。群山近く之に絡まないから、山柱高く天に朝して、雄大なる威容を碧落の上空に輝やかす。盛岡より七里強、雫石よりは三里半で網張温泉に達し、夫より山路は頗ぶる峻嶮になる、山は三區に別れて、一山の上は一山在りといふやうに、殆んど燒餅重ねになつて居るが、いづれも火口の峭壁である。最初の前山には二個の火口湖が有り、中の山には登山者が僅かに雨露を凌ぐに足る小舎を設け、最後の山頂には、食稻魂命、大己貴命、日本武尊の三座を祀る岩手山神社が有る。山には高山植物が多く、花時の爛開は天壇の花園に遊ぶが如きものがある。尚山中には大地獄、御苗代湖、御釜湖など見るべきものが多い。温泉場から頂上までは三里、歸りには瀧澤口に出る方が便利である。温泉場から一里に葛根田の玄武洞がある。葛根田川の左岸に引湯したものに、新網張温泉と云ふのがある。

泉質效能

高温の酸性硫黄泉で、胃腸病に適し、婦人病に奇效がある。

旅館・經營

薪炭費四錢。

大久保旅館一軒。宿料一圓五十錢位。自炊の設備がある。室料一日一人三十錢、寢具二十錢、

瀧の上温泉

岩手縣岩手郡栗山村にあり。網張温泉から西二里、乗物の便はない。玄武洞から緩勾配の坂道を登る事約一里、葛根田鳥越の瀧に出る。瀧は高さ約五十米、幅約十三米、瀧の上流に行き、河床を少しばかり掘ると、手に従つて温泉が湧き出る。土地の人達は土で之を四角に區切つて湯壺を造り、地獄だの極樂だのと云つて、自由に湯を浴びてゐる、温泉場は夫から僅かの上流にある。鹽類泉で温度五十度内外、胃腸病に特效がある。然し旅館といふ程のものなく、網張温泉の大久保旅館の經營で、只雨露を凌ぐだけの設備にすぎない。

鶯宿温泉

(岩手縣岩手郡御所村)

雫石から森林軌道に沿ひ縣道約三里、春から秋まではトロに便乗を乞ふことが出来る。

鶯宿川の川岸、南畑の國有林中に在る。晝夜を分たず、河鹿の聲を聞く程幽邃を極めた所である。昔傷いた一羽の鶯がこの湯に浴して、忽ち全治して飛去つたのを見、始めて温泉の有るを知り、

聽て其名としたのだと云はれてゐる。此處より産出する忍石と云ふ名石は、一種の化石で、石を割つて見ると、葱草の地上莖のやうなものが現はれる。

泉質効能 硫黄泉で温度五十度内外、外傷に特效がある。

旅館・經費 青山旅館、川口旅館の二軒、皆内湯がある。宿泊料一泊一圓二十錢から一圓五十錢。自炊制もある、室料は一日一人二十五錢。

國見溫泉 (岩手縣岩手郡御明神村國見)

橋場驛から急坂四里、秋田縣界の仙臺峠を上り、右折して湯沼を半廻した龍川山國有林中にある、眼界頗る廣濶で眺望雄大なることは、此附近に多く求められない。東南遠く盛岡の平野を俯瞰し、長蛇の如き雫石川の流が、巨川北上に合流する邊迄も遠望し得べく、雲の海の漠々たる彼方、遙かに早池峯、岩手山の峯頭の、孤島の如く浮出した景觀は、眞に天下の壯觀である、駒ヶ嶽登山は此處を足溜とするのが便利である。泉量極めて豊富で、慢性リウマチス、慢性婦人病、神経痛、濕疹、疥癬等に效く。貸間二十室を備へ、全部自炊制で、室料一日三十錢である。

田澤湖附近及び男鹿半島の諸溫泉

近來十和田湖の風景と共に世に知られるやうになつた田澤湖を中心として、十指に餘る山の溫泉場がある。何れも山國の情緒を豊かに孕んで、全く俗塵を浴びてゐない醇朴表徴で、多くは田舎の人達が米や味噌を背負つて出かけて行くところだが、抱返り溪や田澤湖の見物をした人々が、是等の山の湯を四五日位で巡つて見るのも、興味ある山の旅であり、必らず何等かの獲る處が無くばならない。

夏瀨溫泉 (秋田縣仙北郡白岩村)

奥羽本線大曲驛で生保内線に乗換へ神代驛下車(大曲、神代間、賃三十六錢)、神代驛から生保内營林署軌道のトコの便をかれれば、溫泉の手前二十五町の所まで行ける。

東北耶馬溪の稱ある抱返り溪谷の中にある溫泉場である。抱返りは雄物川の上流玉川の清瀨が、

潭となつて、溪の端まで行くと、轟然として二百尺の大懸水となつて落下し、雷撲電駛の水勢は或ひは怒り或ひは眠り、迂餘曲折して幾變轉しつゝ、絶壁削立の間を奔騰する奇勝、天下の好風景に飽満した人をも驚かせる。而して大正十年鐵道が開通するまで、此地方でさへ知られなかつた處女地である。殊に渡船場から上流一里の間は數百尺の絶壁を鑿つて道を通じ、多くの懸橋やトンネルもあり、河中には巫女石、山伏岩、善知鳥石、莫産石等の巨巖や、相澤瀧、棚掛瀧、百尋瀧、瞰下しの瀧、立巻の瀧などが連続して落下してゐる。抱返りの名稱は途中で行會うても、摺違ふことが出来ず、一人が他の一人を抱いてぐるりと方向をかへてから、やつと行違ふといふ處から起つたのだと云ふ。この溪の奥の盆地に夏瀬温泉がある。山深く溪流に枕して夏の有るを知らず、嵐氣四隣に満ちたところである。洞窟を利用した原始的な浴槽も、山奥の湯の氣分を漂はせて感興着りに湧く。この温泉場を出ると、再び深い山峽が薄り、夫を過ぎて上流から左へ入ると、間もなく刺巻驛に出られる。

泉質效能 アルカリ性の鹽類泉で無色無味、溫度三十八度内外。臍病、胃腸病、婦人病、皮膚病、眼病、リウマチスなどに效がある。

旅館・經費 北田屋一軒。一泊一圓二十錢より二圓位まで、中食五十錢乃至一圓。入込み自炊は室料一日二十錢。

田澤湖温泉

(秋田縣仙北郡生保内村下高野)

奥羽本線大曲驛にて生保内線に乗換へ、終點生保内驛下車(大曲、生保内間、賃五十七錢)、驛より一里十三町、自動車の便あり、賃五十錢。

黒湯(一名龜の湯)より三里三町、會社組織の大規模の設計の下に引湯したもので、昭和四年十一月開湯した新温泉場である。東北に標高一、六三七米(凡五、四〇〇尺)の駒ヶ嶽の秀峰を仰ぎ、附近に田澤湖の形勝を控へたる優勝な地位を占めてゐる。温泉地域は約八萬坪、普通浴場の外、野天風呂、千人風呂、瀧風呂等の設備があるが、設備完成迄には尙相當の日子を要するであらう。

泉質效能 硫黄泉で皮膚病、性病、臍病、胃腸病等に特效がある。

旅館・經費 龍仙閣一軒。宿泊料一圓五十錢より三圓五十錢迄。外に自炊者の爲に貸バラツクがある。

鶴の湯温泉

秋田縣仙北郡田澤村にあり、奥羽本線生保内驛から約五里、先達諸湯の内では最も田澤湖に寄つた處で、湯澤の溪に沿つた一村落、それがこの温泉場で、浴場は冷の湯、熱の湯の二ヶ所、他に湯瀧もある。硫黄泉で溫度は湧出口に於て六十六度内

外 眼病、リウマチス、經久梅毒、丹毒、肥胖病、婦人病などに效く。浴客の自炊家屋五棟、室料は一人一日二十五錢、三十五錢、七十五錢の三種、入浴料一人五錢。

蟹湯温泉

秋田縣仙北郡田澤村にあり、先達川支流の溪間にある淋しい温泉場で、アルカリ性芒硝泉、温度四十九度。胃腸病、切傷、疝氣などに效がある。自炊家屋六棟、湯代、室料共一日一人三十錢。

孫六温泉

秋田縣仙北郡田澤村にあり、生保内驛より東北四里半、先達川の本流に沿うたところにあつて、附近諸湯中唯一の鹽類泉、温度六十六度内外。リウマチス、脚氣、神經衰弱、胃腸病等によい。自炊家屋二棟、一人一日入浴、室料共三十錢。

黒湯温泉 (秋田縣仙北郡生保内村)

生保内驛から東北四里半、徒歩又は駄馬、賃五圓。

孫六湯から上流二町の處にあつて、此附近の温泉の内では、比較的浴客の多い湯治場氣分の漂つてゐるところだ。苦流の湯、瀧の湯、龜の湯、熱の湯などの浴場があつて泉量豊富、最近開湯した田澤湖畔の田澤湖温泉はこゝから引湯してゐるのだ。

泉質效能 旅館・經費

硫黄泉で温度七十六度、源泉二ヶ所。皮膚病、腦病、花柳病、胃腸病などによい。旅舎三戸。自炊を主とし、食料品は旅舎で販賣す。伺ひ式一日一圓五十錢程度。内湯なし。

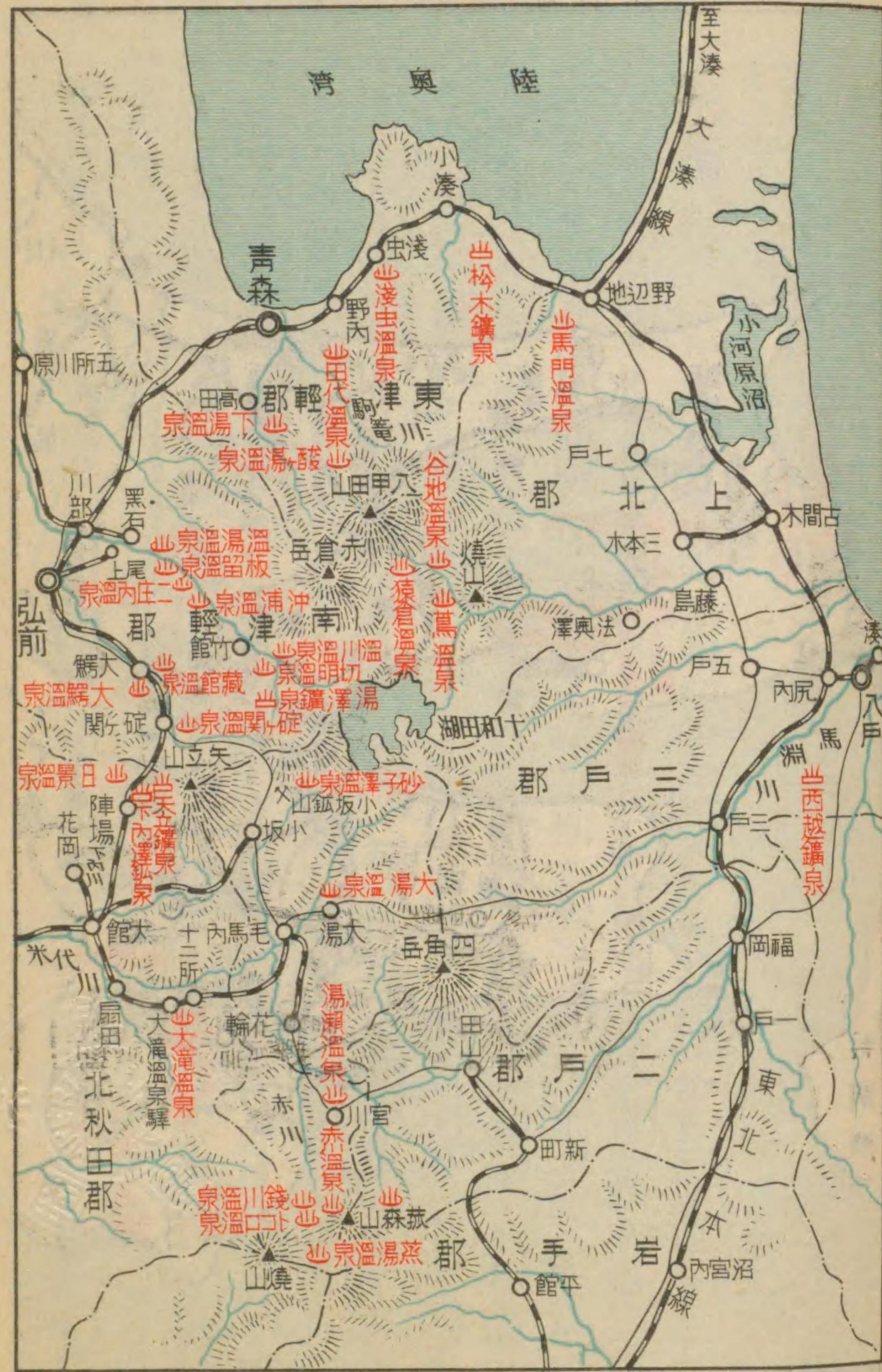
鳩の湯温泉

秋田縣仙北郡田澤村にあり、生保内驛から九里、先達から田澤の村落を経て玉川の上流に遡つた所にある。温泉場は女神男神兩嶽の北裏に當り、

溪を挟んで鳩の湯、新湯がある。硫黄泉で温度七十度内外。皮膚病、胃腸病、外傷などに良い。自炊家屋二棟、湯代室料共一人一日金十錢。

溢黒温泉

秋田縣仙北郡田澤村にあり、鹿の湯又は酢湯などとも呼ばれ、昔から毒の湯として恐れられてゐたものである。現在そこに二軒の小屋があつて、入湯に行く人の多くは梅毒、癩病患者ばかり、一般浴客は毒氣を恐れて近づかないと云ふことである。地は玉川の上流に位し、放射線を有する礦物溢黒石を産出し、今は天然記念物として濫掘を禁ぜられてゐる。こゝから焼山を越して熊澤蒸の湯へ一里半。酸性硫黄泉で温度七十一度、梅毒、癩病、皮膚病一切に效がある。



湯本温泉 (秋田縣南秋田郡北浦町)

奥羽本線追分驛から船川線に依り羽立驛下車(秋田、羽立間、賃六十四錢)、其北四里弱、自動車賃一圓。男鹿半島の北浦と戸賀との間にある賑かな温泉場で、半島の勝を探りながら、地方色の濃い温泉気分を味ふのも興味がある。そこから十五町乃至二十町の處に一の目湯、二の目湯などと云ふ火口湖がある。奥羽地方屈指の名作本山の薬師堂まで二里、頂上からは日本海の雄大な眺望が得られる。

泉質效能 炭酸カルシウム泉で、温度三十二度強。神経衰弱、リウマチス、婦人病、眼病に效がある。

旅館・經費 暢神館、大淵館の二戸。一泊一圓半から二圓半まで、自炊専門の貸間もある。

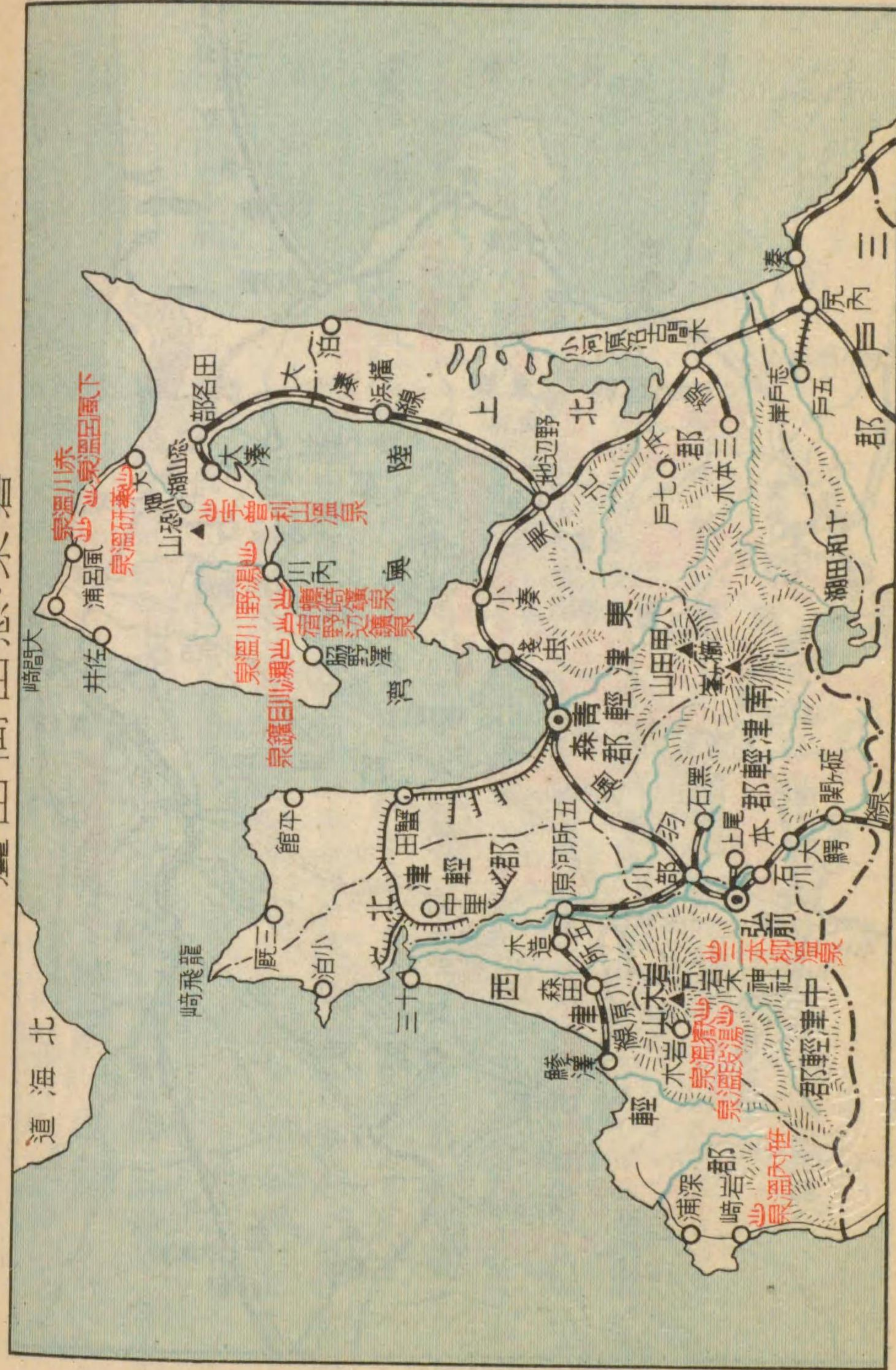
養命鑛泉 秋田縣由利郡松ヶ崎村薬師澤にあり、羽後岩谷驛より十五町、羽後龜田驛より二里。鹽類泉で浴用加熱。胃腸病、リウマチスに效く。旅舎養命館。

白狐鑛泉 一泊一圓五十錢、別に自炊者の爲めに貸間の便がある。秋田縣北秋田郡龜田町泉田にあり、龜田驛から約一里餘、自動車、賃四十錢。白狐の靈験によつて發見したと傳ふ。鹽類泉で、婦人病、リウマチスに效く。丸半旅館一戸。一泊一圓二十錢以上、自炊の便あり、一日五十錢位で滞在出来る。

東北唯一にして、日本無双の神秘境、古來殆んど俗塵を止めず、脂粉の氣などは藥にしたくもなかつた清淨無垢の靈域は、青森秋田兩縣の間に介在する十和田湖である。八甲田山高く天表の北に秀でて、近く蜿蜒たる山嶽を引繞らし、東西一〇 軒(約二里半)、南北八 軒(約二里)、其形は稍方形に近く、其南岸に中山、御倉の半島が突出し、島端八雲崎と中山崎とで、懐深く藍膏を擁へ込む爲に、其處に三箇の大きな灣入を作り、東湖、中湖、西湖の三灣を醸し、中湖の正面は渺茫たる北湖の大水で、其中間の最も深き所は三四八 米(約一、一五〇 尺)、全國湖沼中の第十一位である。此湖水の成因に就いては、學界にも二説あり、一は太古濛濛の頃桶狀の陥没に因つて生じたといふのと、他は水蒸氣其他の瓦斯爆發の爲に生じたのだといふのである。爆發説によれば、中湖邊を噴火孔とする火山が生じ、其活動全く閉止してから、火口と窪地とに水を湛へて、十和田湖が生じたのである。

湖水の附近は殆んど原生林で、古蒼蒼蔚神祕の氣を封じて居るから、一見暗いやうな感じはする

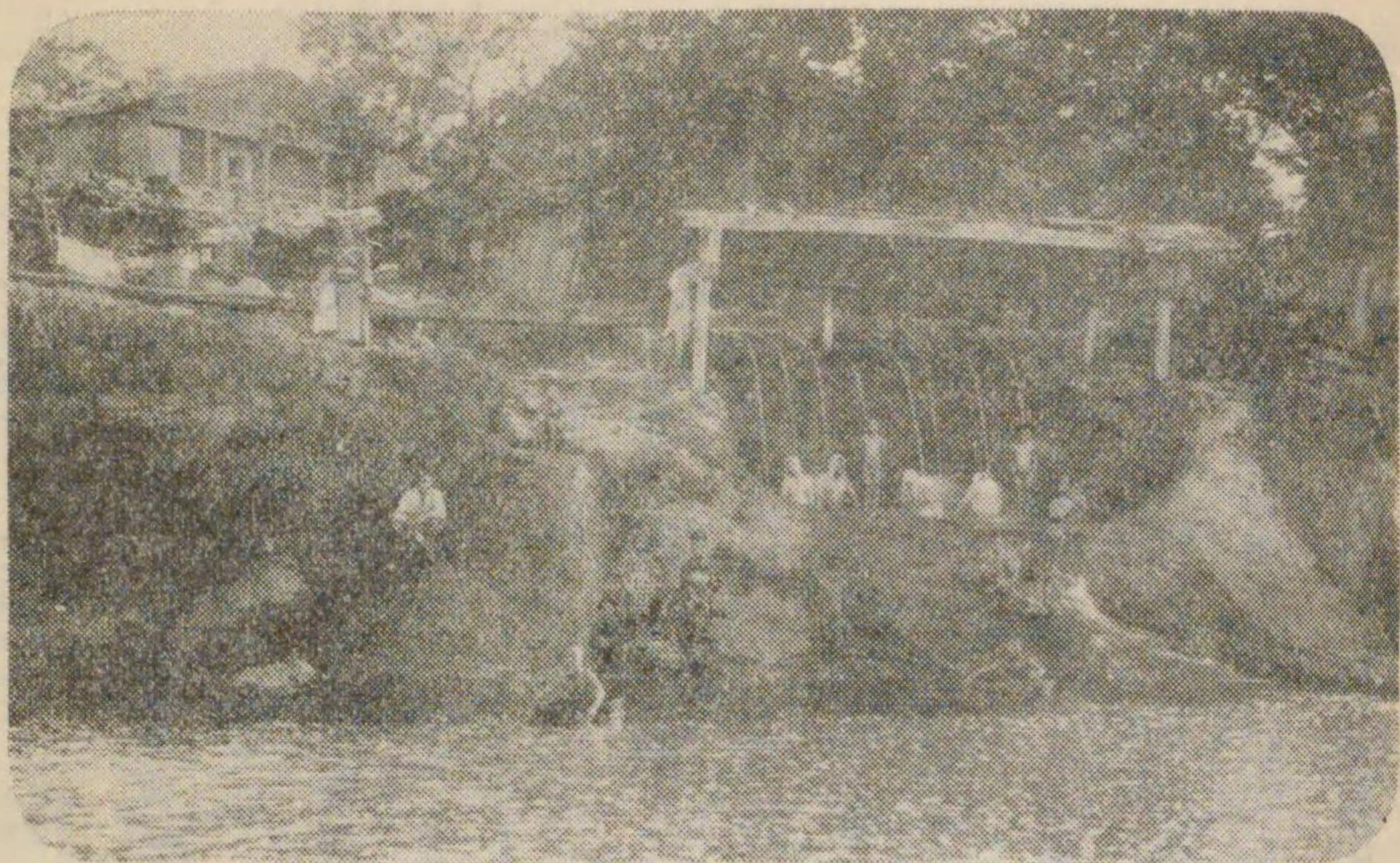
十和田湖を中心として



が、風光の美に至つては、東北稀に見る雄偉の絶景である。此湖水を中心として温泉は各所に湧出し、秋田縣に在つては大湯、大瀧、砂子澤、湯瀬、赤川、蒸の湯、日景、矢立、赤湯、青森縣に在つては碓ヶ關、大鰐、温川、沖の浦、葛等數里を隔て、此湖水を遠巻にして居るのである。往時は交通極めて不便、九十九折の峠道とは言ひながら、茅茨深く封じて、道らしいものは無く、湖水は又蒼黝で、陰森なる鬼氣人を拒んで通さなかつたが、近時は古間木、三本木間九哩餘に十和田鐵道を敷設し、自動車は各方面より通じるから、五月より十一月迄の遊覽季節には、觀光の客陸續として絶えない。

此湖水の爲に、附近の温泉は點睛されて居るので、殊に葛温泉の如きは、湖水無しでは生きては行かれぬのだ。

花時に、新緑に、水光に、月明に、紅葉に、變化百出の美觀を味ふべく、十和田湖は奥の寶庫である。之に通ずる道は、奥入瀨口、三戸口、毛馬内口、小坂口、石黒口、八甲田越の六路で、奥入瀨を普通遊覽の表口とすれば、毛馬内は其裏口で、湖畔の旅館は子の口、休屋、生出の三箇所に在る。



大瀧温泉の瀧

大瀧温泉

(秋田縣北秋田郡十二所村)

奥羽本線大館驛から分岐する秋田鐵道大瀧温泉驛下車(大館驛、大瀧温泉驛間三十六分、賃四十二錢)、それより温泉迄三町。

旅館は米代川に面して建てられて居る。川の向ふは田圃、それから餘り高くない丘陵性の山、河畔の宿のおつとりした靜かな感じは捨て難い奥羽氣分がある。湧出口は縣道から二間ほど入つた所で、平地を三尺ほど掘つたところから旺んに噴出してゐる。又川岸の崖を削つて自然の湯壺をつくり、それに簡單な數條の湯瀧が設けられて居る等、如何にも鄙びた地方色を現實に示したところで、地方相應に遊蕩的の湯場氣分も漲

つてゐる。温泉場から一町ほどの處に千人風呂がある。

泉質效能

アルカリ性鹽類泉で無色透明、温度六十度。神経痛、リウマチス、婦人病に特效あり、消化器病、其他病後の静養などによい。

旅館・經費

花岡屋、前田館、藤島館、奈良館、山波館等。宿泊料一泊一圓八十錢より三圓まで、晝食料その半額、他に自炊制度もある。各旅館には内湯がある。

大湯温泉

(秋田縣鹿角郡大湯町)

大館から分岐する秋田鐵道に依り毛馬内驛下車(大館、毛馬内間、一時間餘、賃八十二錢)、驛より毛馬内町を経て二里。自動車五十錢。

こゝは十和田湖の咽喉を扼してゐる温泉場で、小坂からも二里、一時鑛山の好況時代には、可なり賑ひを呈したが、最近は十和田湖歸りの旅客や、鑛山の人々の遊びに来る位の處で、昔日の賑はなし。但夏季には各旅館共狹隘を感じる程旅客が入り込むといふ。

上の湯、下の湯、荒瀨の湯、河原の湯の四ヶ所に分れ、入口の河原の湯、下の湯邊りから出口の荒瀨の湯の邊りまでは、半道も隔つて居て、其間に上の湯がある。是等湯元は近くて二二三町、遠くは十町餘りも隔て、其所に別々に一つの聚落をなし、各湯共に數軒の旅館があつて、何れも内湯の設備があり、周圍の風光などもそれ〴〵趣を異にしてゐる。大湯の街を出はなれようとする處にある岩の湯は、川岸の岩盤を穿つて湯壺を造つた珍らしいものだ。附近には南部家の忠臣相馬大作の潜伏してゐた跡や、鹿倉公園などの散策地がある。

こゝから十和田湖畔の發荷まで四里二十二町、十和田湖の勝を探らうとする者は、湖畔に一泊して、翌日湖上の見物をなし、奥入瀨口の方へ出て行くのが最も興味ある順路である。奥入瀨の溪を下つて、焼山から葛温泉へ入つて行くのもよい。湖上の遊覽ボートは宿で世話してくれる。十和田湖畔の旅館は發荷に和井内ホテルの出張所、一の宮館、安野旅館支店、世界公園館、子の口に子の口館などがある。

名物

大湯焼、樺梓、十和田鱒の燻製等。

泉質效能

硫黄泉で、荒瀨の湯、上の湯、下の湯、河原の湯の四ヶ所に分れてゐる。湧出量は可なり豊富で、何處の宿の浴槽にも清泉が溢れてゐる。主として慢性胃腸病、皮膚病、婦人病、リウマチス、神経痛、氣管支諸病等に效く。

旅館・經費 大湯ホテル、龜屋、千葉旅館、丸井旅館、秋本館、諏訪屋、高島屋、岩の湯などで、一泊一圓五十錢乃至三圓位まで、各旅館の内湯の外、公設の共同浴場は、下の湯、上の湯、河原の湯の三箇所にある。又自宅に浴槽を有し、間貸をしてゐる客舎三十餘戸、室料一日五六十錢見當。浴槽を有せずして間貸をするものは到る所に散在し、俗に温泉客舎と云つてゐる。

砂子澤湯泉

(秋田縣鹿角郡小坂町砂子澤)

奥羽本線大館驛から分岐する小坂鐵道の終點小坂驛下車、此の間一時間半、賃五十錢。小坂驛から温泉まで約一里。自動車、馬車等の便がある。

地方的の温泉場で、現時の温泉場としては、設備が甚だ整つてゐない爲、大團體の宿泊には適さない。併し近くに小坂鑛山を控へて居るので相當の賑ひを見せてゐる。

こゝから一里十町奥の湯の岱には噴泉塔がある。石灰華塔とも云ひ、温泉の中に含有する炭酸石灰が、温泉と共に地表に噴出し、噴出口の周圍に堆積して、圓錐形の石灰柱を形成せるもので、噴泉塔は全部で八箇、大きさは三尺から八尺、それが列をなしてゐるから頗る見事である。その中でも

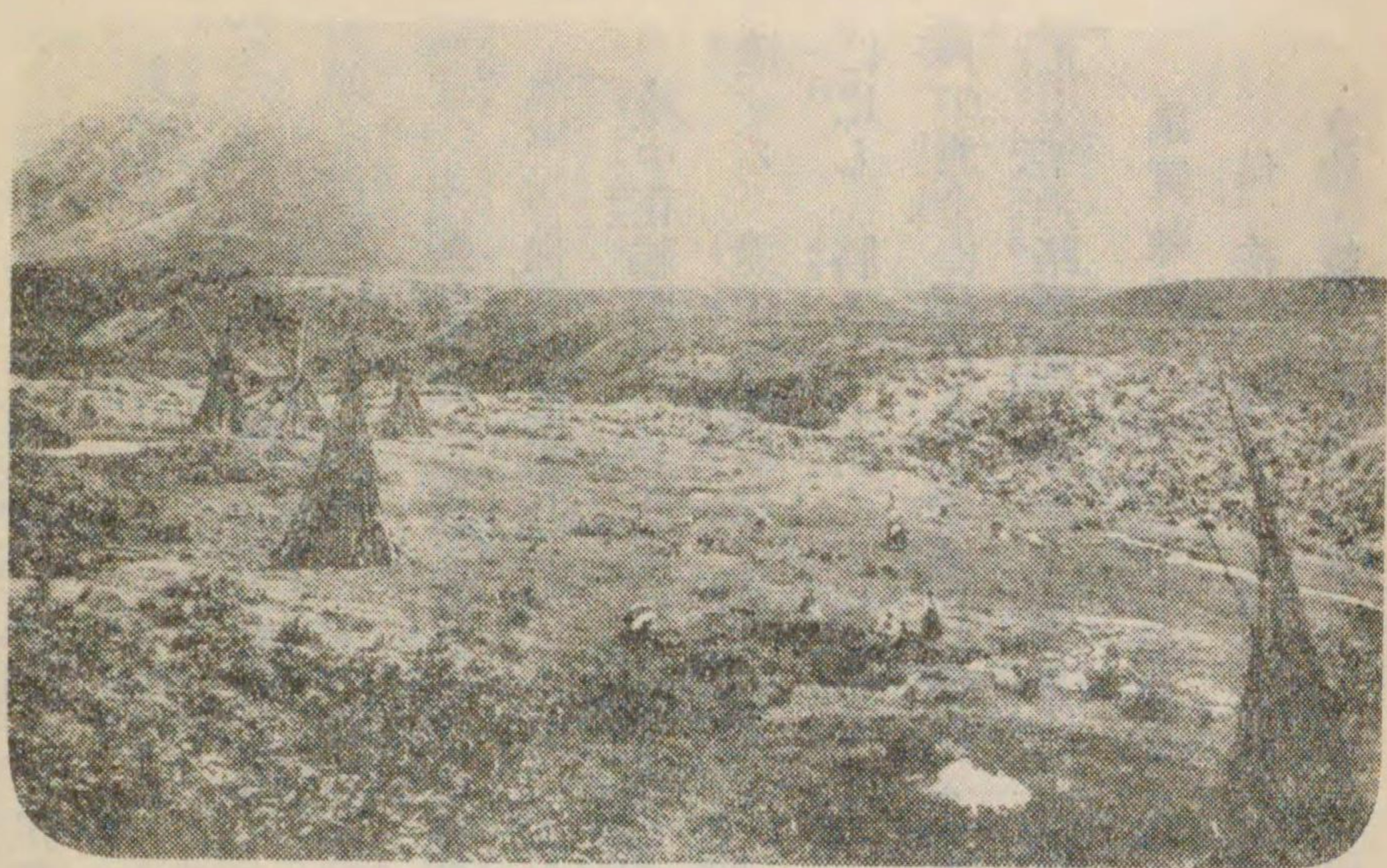
第二號塔が最も大きく、噴出口徑一尺七寸、深さ二十尺、是等噴泉塔の凡ては、内務省の天念記念物に指定されてゐる。

噴泉塔と砂子澤温泉は成分も效能も同じであるが、噴泉塔は入浴が出来ないから、見物の歸りにはこゝへ泊るのが便利である。

こゝまで入つて來た人は、小坂町から鉛山峠を越えて、十和田に出るがよい、即ち十和田五道の五坂口で鉛山峠から十和田湖を下瞰した風色は、湖畔第一の景と云はれ、態々登つて來る人もある。

泉質效能 アルカリ性食鹽泉で、皮膚病、切傷、リウマチス、脚氣、痔疾、くさがさ、婦人病、胃腸病、疝氣、火傷等に效がある。

旅館・經費 本田旅館一軒。日歸の客の入浴及び室代は



砂子澤噴泉塔

一人一日三十錢。普通の旅客は宿屋組合の規定により相談すること。

湯瀨温泉

(秋田縣鹿角郡宮川村)

奥羽本線大館驛より分岐する秋田鐵道の終點陸中花輪驛下車、それから約二里二十町。自動車一日四回往復、賃一圓。

陸中花輪町から岩手縣へ通ずる縣道を、米代川に沿つて溯ること二里二十町で、この温泉場に達する。途中の峽谷には奇石亂立し、地藏岩、劔ヶ岩、姫小松岩、傘松などの奇景多く、抱返溪に比して勝るとも劣らぬ溪谷美である。温泉場附近の溪はその中でも最も優れた所であらう。五六戸の旅舎は何れもこの溪に枕み、泉源は五ヶ所、上の湯、中の湯、下の湯、川原の湯、それから大正十年道路改修工事のとき發見された鹿の湯で、何れも溪崖より湧出してゐる。

泉質效能

無色透明の硫黄泉、溫度六十度乃至七十一度。胃腸病、皮膚病、脚氣、外傷等に特效があり、尙、梅毒、痔疾、リウマチスなどにも效がある。

旅館・經費

阿部、關、高見屋、田中屋、下の湯其他數軒。一泊一圓五十錢から二圓半位。中食料五十錢

乃至八十錢、他に、貸室専門の客舎四五戸。自炊は一日一圓五十錢以下で滞在出来る。

赤川温泉

秋田縣鹿角郡宮川村谷内にあり、陸中花輪驛より二里二十四町、谷内まで自動車賃八十錢、それより温泉まで徒歩。附近には八幡平の焼山、五所崖、曾利瀧等の勝地がある。硫黄泉で神經痛、胃腸病、皮膚病等に效く。阿部氏經營の自炊貸室あり、費一日七八十錢、食料品等は賣店があつて不自由はない。

蒸の湯温泉

(秋田縣鹿角郡宮川村)

赤川温泉から東南へ一里、赤川の上流に當る海拔一、〇九〇米(凡三、六〇〇尺)の地で、森山の中腹に在る。旅舎の周圍三四町四方の地面は、到る處から湯氣を噴き上げてゐる程で、泉量は頗る豊富であるが、こゝでは身體を湯氣に蒸させるのが特色で、蒸の湯と云ふ名稱もそれから起つたものである。

旅館と云つても名のみで、純然たる山小屋式、床もなければ疊も無い、地面へ蕙が敷いてあるばかりだから、浴客は其上に寝起きする。其蕙の下からは常に蒸氣が噴出してゐるのだから、丁度朝

鮮の温突の様な工合にぬくぬくと暖く、夜晝蒸され通しに蒸されてる譯である。又晝は屋外の地上へ蒸を敷いて、上から日光を浴びながら、下からは湯氣に蒸され、少し汗ばんで来ると温泉に飛び込む、即ち蒸氣浴と日光浴と温泉浴との三方療法で、これが肺病や神経痛などには、絶大な效能があると言はれ、夏になると遠く北海道邊から浴客が押し寄せて来て、十棟に餘る湯小屋に數百人の客が押し合つてると云ふ有様である。但冬期は雪の爲に小屋を閉ぢる。こゝから焼山を越え、約二里半位で、澁黒温泉(鹿の湯)へ出ることが出来る。この焼山越えは頗る興味のある山旅だが、必ず案内人を要す。

泉質效能

泉質は鹽類泉で温度は七十七八度の高温である。

蒸氣浴は特に婦人病、神経痛、リウマチス、疝氣、呼吸器病などによい。

旅館・經費

新館と稱すべきものなく、阿部由五郎氏經營の數十個の小屋あり、之れを借り受けて各自自炊す、器具損料一日十五錢、賣店等の設備もあり、日用品等に不便はない。特に依頼すれば食事を供す(一日三食一圓二十錢位。

蒸の湯の外同村内には、

- ▽又一温泉 熊澤國有林内。

- ▽錢川温泉 同上同村役場より四里二十町。
 - ▽新湯 同後生崖同村役場より五里二十五町。
 - ▽シバリ温泉 同切留平同村役場より四里。
 - ▽トコロ温泉 同上同村役場より四里三十四町。
- があつて、泉質は何れも硫黄泉で、皮膚病、リウマチス、痔疾、婦人病等に良い。
- 旅舎と稱すべき程のものなく、蒸の湯と同じく、土間造りの小屋を設備して貸與する。器具損料一日十五錢。

日景温泉 (秋田縣北秋田郡矢立村)

奥羽本線陣場驛から約十五町、驛前には温泉行馬車がある。

陣場驛の前には日景温泉の案内所があつて、浴客や荷物の世話をして呉れる。坦々たる國道を下内川の流に沿うて青森方面に進むと、七八町で鐵橋がある。此橋から數歩、國道に別れて五六町北へ入ると、杉檜などの鬱葱たる山林があつて、日景温泉の浴舎はその中に構へられる。有名な矢

立の高嶺を背景として、附近は日本三大森林の一なる下内澤の國有林である。

此の温泉は日景辨吉翁が發見開拓したもので、明治二十三年磐梯山破裂の時から湧き出したものだと言ふことだ。

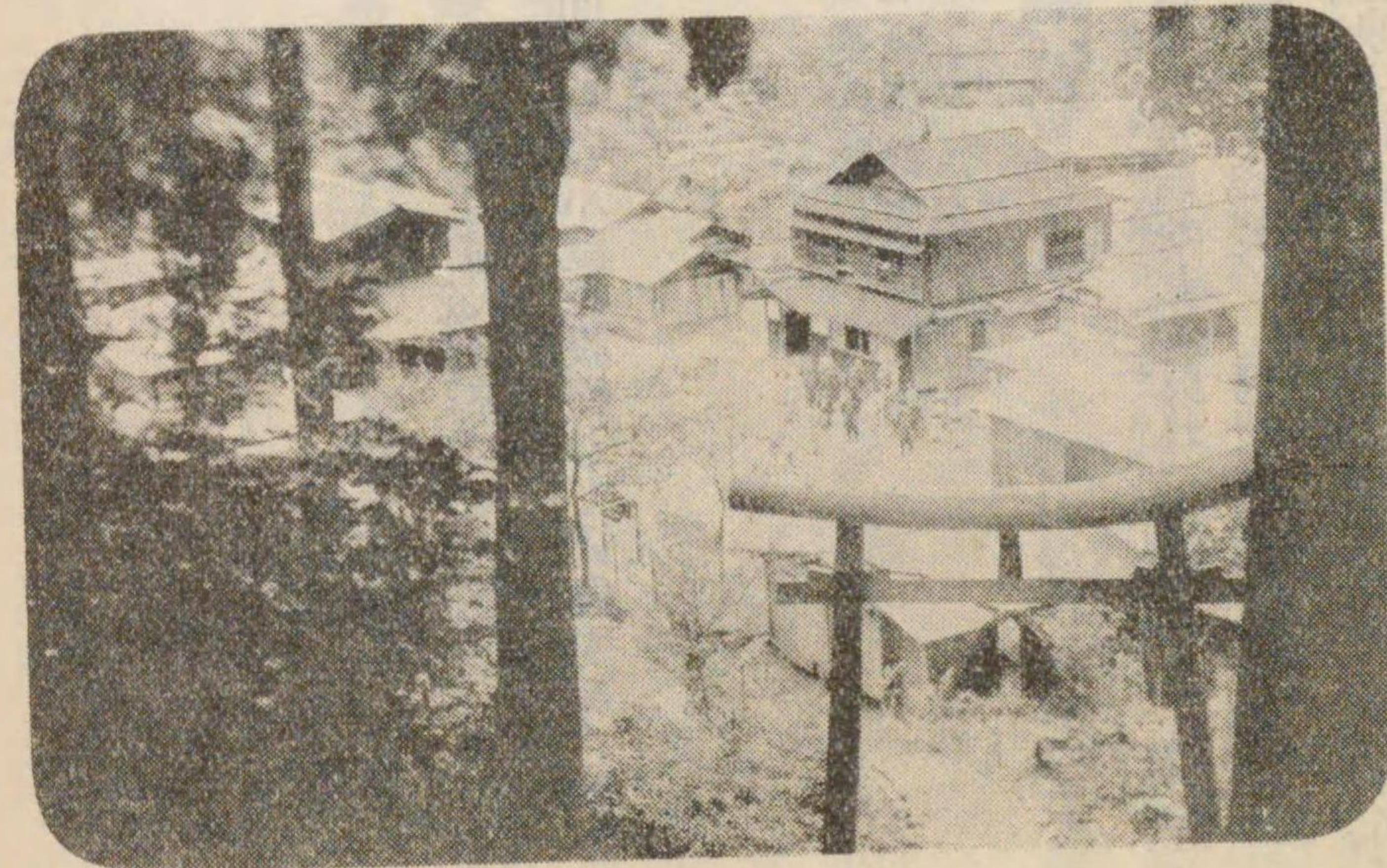
湯は頗る微温いが、強い酸性泉で、這入るとピリピリと肌にも浸みる、餘り長く這入つてゐると、亞硫酸瓦斯の中毒などを起す人もあるので、浴場には監視人を置き、種々入浴上の注意を與へてゐる。草津や那須の湯などより餘程強いから、頑固な皮膚病や梅毒などには、非常に效力があると云はれてゐる。

泉質效能

鹽類性硫酸泉で温度三十八度弱、梅毒、疥病、濕疹、潰瘍などには特に效能がある。

旅館・經費

日景家の獨立經營で、旅館二棟、客舎五棟、



日景温泉

設備もよく整ひ、旅館は宏壯で清楚な建築、一日三食付並等二圓八十錢、上等三圓五十錢、客舎は四疊半六疊八疊等百室近く、室代は特等室一日一人七十錢より三等室四十錢まで、自炊道具を設備し、食器等全部無料貸與する、夜具類は貸貸にし、食料品は賣店がある。

矢立鑛泉

(秋田縣北秋田郡矢立村赤湯)

奥羽本線陣場驛から十六町、同驛から専用馬車(二十五錢)に乗れば二十分で達する。

近年まで赤湯温泉と稱したのを、矢立温泉と改稱したもので、温泉場は陣場驛より國道を矢立峠の頂上まで登りつめた所にある、海拔二二〇米(凡七六〇尺)。附近は鬱密たる國有林によつて圍繞され、頗る幽邃の地である。俗界を超脱して、大自然に親み、靜かに病痾を癒し、心身の強健を圖るには、好箇の所である。

名産名物

矢立炭酸水、矢立鑛泉サイダー、赤湯煎餅。

泉質效能

含鐵炭酸泉で、浴用加熱。慢性胃腸病、内臓疾患、婦人病、リウマチス、痔疾等に效く。

旅館・經費

安楽旅館。客室五十五、浴客の大部は自炊、一日席料湯錢共一人三十五錢乃至五十錢、自炊

用諸道具は無料貸與、薪も無料提供、宿にて賄の場合は、宿泊料とも一日三食一圓八十錢より三圓迄。

下内澤温泉

(秋田縣北秋田郡矢立村下内澤)

陣場驛から日景温泉への途中、下内橋で馬車を捨て、五六町歩めば、此温泉場である。

浴舎は山に凭り溪に枕んで構へられ、嵐氣磅礴たる温泉場で、日景温泉の浴客が、ぶらく入りに出かけて行くところである。經營者は日景と同じく、浴場は二ヶ所で、湯灌の設備もある、賣店には酒、ビール、サイダー、罐詰、菓子類迄販賣し、バラック建の休憩所もある。毎年四月に開き十二月に閉ぢるといふ。

泉質效能 『色の白くなる温泉』として有名である。硼酸を多量に含有する弱アルカリ泉で、温度三十二度。眼病、脳神経衰弱、リウマチス、胃腸病に卓效がある。

碓ヶ關温泉

(青森縣南津輕郡碓ヶ關村)

奥羽本線碓ヶ關驛下車(青森、碓ヶ關間、賃九十錢)、驛から東南七町、自動車、賃十錢。

碓ヶ關驛から東南七八町、平川の上流に臨み、山河の景致に富む。此地は戸數五百を越え、人口三千五百、旅館客舎數戸を數へ、共同浴場等もある。

此の温泉は大罇、藏館に比して頗る閑靜な所であるから、療養を目的とする浴客には歓迎される。岩風呂のやうな檜風呂の、原始的な落ちついた感じは、この上なく珍しい。熱の湯、冷の湯の二つがあるが、唯温度の差ばかりで、泉質は同一である。

泉質效能 弱鹽類泉で、熱の湯六十度、冷の湯五十八度、消化器病、婦人病、呼吸器等によい。
旅館・經費 葛原旅館、柴田旅館。一泊二圓五十錢より四圓、自炊専門の客舎四戸、室料四五十錢位。

湯澤鑛泉

青森縣南津輕郡碓ヶ關村にあり、碓ヶ關温泉から一里二十町、自動車、賃五十錢。この温泉は温度が低いので火熱を加へて浴用に當てゝゐる。硫化水素臭ある硫黄泉で、眼病に特效がある。その他、脚氣、リウマチス、痔疾、痲病、梅毒にも效能がある。旅舎は秩父旅館一戸。宿泊料は一泊一圓三十錢、自炊は一日總費用八十錢内外。

大鰐温泉

(青森縣南津輕郡大鰐村)

奥羽本線大鰐驛下車(青森、大鰐間、賃七十八錢。弘前、大鰐間、賃十九錢)、驛から五町、自動車の便がある。

西に茶臼山を負ひ、南に阿闍羅山聳立し、北は平川を挟んで、左岸に大鰐温泉、右岸に藏館温泉が在る。戸數千三百、人口六千四百有餘、旅館や客舎が楡比し、縣下諸温泉中最も殷賑を極めてる。附近一帶は林檎の産地として知られ、阿闍羅附近は有數のスキー場として名がある。温泉の濫觴は詳でないが、慶長年間の發見だといふ。現在は旅館客舎五十以上、何れも内湯を設けて居る。其大半は曾て祝融の災に罹り新築したもので、構造の清新と設備の完全とは、殊に客を喜ばしめる。町營の共同浴場は五ヶ所で、誰でも隨時入浴が出来る設備になつてゐる。大鰐、藏館を通じて、平川の北岸大日堂の以北を除けば、到る所地下數尺を掘れば温泉が湧出する。従つて戸々の飲料水は町外數町の所に求めてゐる。此所は弘前人士の遊樂の地として、脂粉の香を漂はせる所だ。各旅館では自炊客の爲に貸室を設けてゐる。温泉背後の茶臼山は遊園地で、櫻

の名所として知られ、山腹に羽黒神社の小祠がある。

大鰐温泉から西北一里の大佛ヶ鼻城趾は、今では石川町の公園となつてゐる。

名物 林檎、あけび、蔓細工。

泉質效能 兩温泉とも鹽類泉で無色透明、ラヂウム・エマナチオンの含有多く、溫度六十度内外。リウマチス、脚氣、婦人病、腺病、皮膚病などに效あり。

こゝには左の共同浴場の設備がある。

△青柳の湯—俗稱を川原の湯。青柳橋畔後藤館の向ひにある。當地に於ける代表的温泉で、梅毒、皮膚病等に效く。

△松香の湯—俗稱を熱の湯、加賀助旅館の前方にあり。脚氣、リウマチス等に良い。

△山吹の湯—俗稱を四分六分の湯。效能前同様。

△若松の湯—俗稱を橋端の湯。效能前同様。

△黄金の湯—後藤館の所有で、當温泉中湧出量の最も豊富なところである。

旅館・經費 加賀助、後藤、大鰐ホテル、一二三館、金森館、其他十數戸。宿泊料一泊二圓五十錢より五圓位まで、晝食は普通一圓八十錢、自炊あり。自炊専門の客舎數戸。

藏館温泉

(青森縣南津輕郡藏館村藏館)

交通は大鰐温泉に同じ。

藏館温泉は大鰐の北、平川の沿岸で、戸數三百、人口二千有餘、地の利を得て居るため多數の浴客を吸集してゐる。此の温泉の發見に就いては、大日堂縁起に従へば、建久年間僧圓智なる者東國巡錫の砌、此地に來つて足を止め、一夜夢の告によつて發見したと傳へてゐる。旅館、客舎等大鰐と同じく、内湯もあり共同浴場も設けてある。

大日堂は藏館の西端にあり、僧圓智の開基で、堂前の老木萩桂は周圍二丈と稱し、圓智の移植したものと云ひ傳へ、名所の一つとなつてゐる。

泉質效能

石膏含有弱食鹽泉で、溫度五十八度乃至七十二度、ラヂウム・エマナチオンを含み、リウマチス、胃腸病、脚氣、婦人病、腺病等に特效がある。

旅館・經費

仙遊館、小林旅館、山二旅館。一泊二圓乃至三圓、外に自炊専門の客舎も數戸ある。

温湯温泉

(青森縣南津輕郡山形村温湯)

奥羽本線川部驛で黒石線に乗換へ、終點黒石驛下車(弘前、黒石間、賃二十二錢)。それより東方二里餘、自動車賃四十錢

地は淺瀬石川に枕み、湯は淺瀬石川の川原に湧出するのを、共同浴場に引いたものである。湧出量は餘り豊富でなく、浴場は一ヶ所あるばかり、浴槽は男女各一個と公衆浴槽とあつて、設備は完全である。温湯の稱呼は寛永年間花山院忠長の命名したものと傳へられてゐる。

附近に楓樹を以て名高い中野の名勝がある、享保年間藩主津輕侯が楓樹を移植したのだといふ。又糸瀧の瀑布も有名だ。

泉質效能

弱食鹽泉で、三、六〇マツへの放射能を有し、脚氣、リウマチス、神経痛、胃腸病に特效がある。

旅館・經費

古澤館一戸。一泊二圓乃至三圓位。他に自炊専門の客舎七戸、室料一日五六十錢見當。

板留温泉

(青森縣南津輕郡山形村板留)

温泉より十五町、黒石驛から自動車の便がある。

浅瀬石川の上流、周圍は山麓を繞らし、風光幽邃の所に在る。傳ふる處によれば、花山院忠長の發見したもので、初め板を以て浴槽を圍つたことから、板留といふ名を附したものだ。湯量も大して豊富ではない。湯壺の位置は斷崖の中途にあり、工事困難のため、従來は其設備不完全であつたが、大正八年之に大改修を施したので、非常に便利となつた。客舎十數戸及三ヶ所の共同浴場がある。

泉質效能 上の湯は石膏性苦味泉で、温度五十六度より五十九度。眼病に卓效がある外、痔疾、胃腸病、婦人病等に效く。

旅館・經費 紅葉館一軒、客舎八戸。費用温泉に同じ。

二庄内温泉

青森縣南津輕郡山形村二庄内にあり、板留温泉から南約二十町の處にある。極めて原始的の共同浴場が一ヶ所、客舎も數戸あるが、其地方農民の安

息所に過ぎない。泉質單純泉で温度六十三度、ラヂウム・エマナチオン二、一〇〇マツヘを示してゐる。

沖浦温泉

青森縣南津輕郡山形村沖浦にあり、二庄内温泉を距ること約十二町、浅瀬石川の流域に在つて、温泉は河の兩岸に湧出し、浴場二ヶ所を設けてあるが、客舎の設備等は極めて不完全である。泉質效能等すべて温泉に同じ。

温泉

(青森縣南津輕郡竹館村温泉)

黒石驛より七里十八町、温泉温泉迄は自動車の便がある(賃四十錢)、それから先は貸切自動車。

浅瀬石川の水源地で、河底から湧出する熱泉のため、河水が微温となる爲、此の名稱があるのだ。海拔四二〇米(凡一、三九〇尺)の高地で、人烟遠く離れ、全く幽邃靜寂の別天地、十和田湖畔瀧の澤迄は一里で達することが出来る。

名物 椎茸、木通、山葵。

泉質效能 鹽類泉で温度六十六度。胃腸病、痛風、リウマチス、婦人生殖器病等に效がある。

旅館・經費

一圓乃至二圓、自炊制あり、室料は各人の任意。

切明温泉

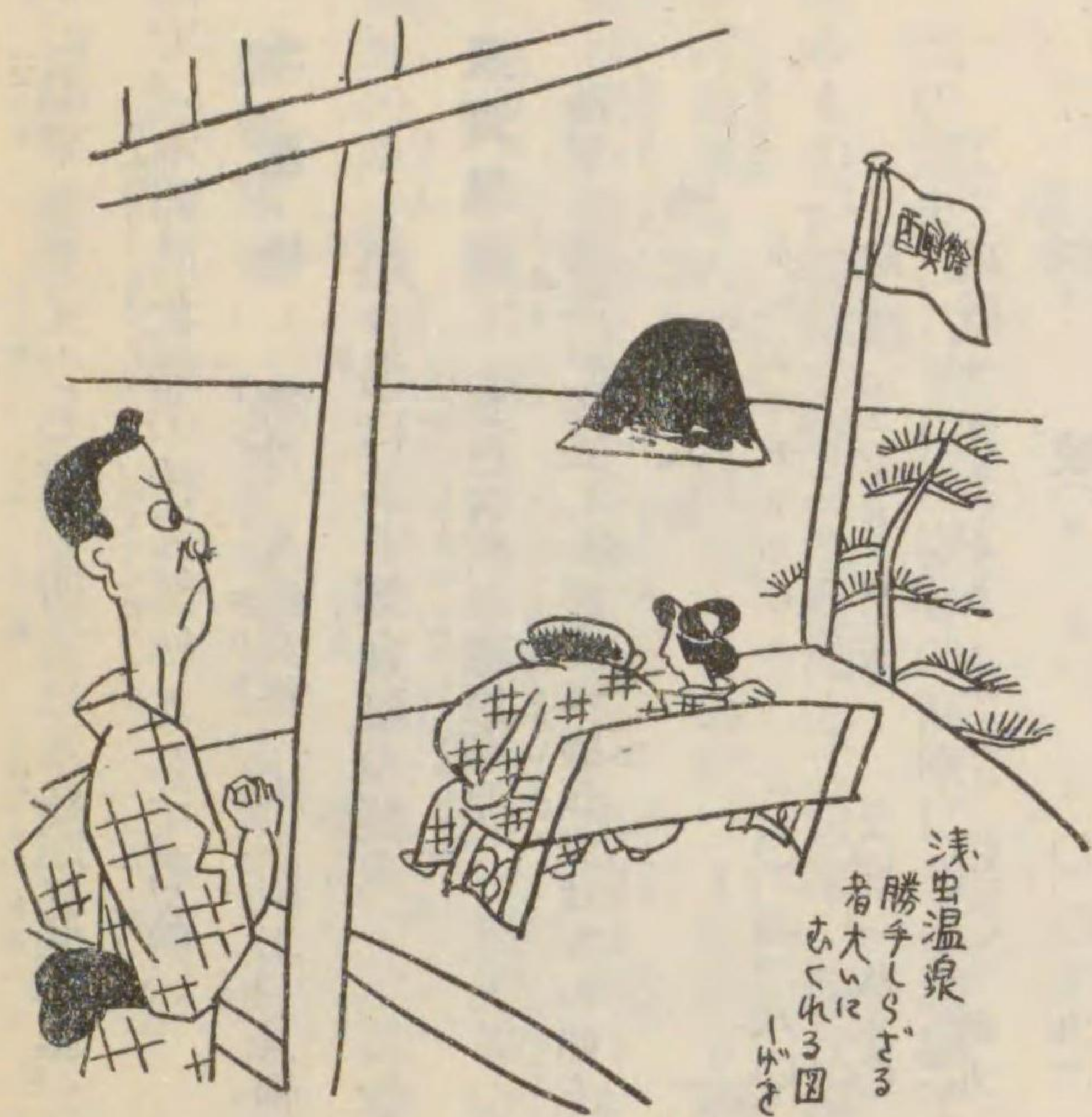
青森縣南津輕郡竹館村切明にあり、此の温泉は沖浦温泉より約三里半、淺瀨石川に臨み、風景の見るべきものがあるが、交通不便のため、附近の人士の保養場たるに過ぎない。泉質効能、沖浦温泉に同じ。

淺蟲温泉

(青森縣東津輕郡野内村淺蟲)

東北本線淺蟲驛下車(青森、淺蟲間、三十分、賃二十五錢)、驛から半町、青森から直通自動車あり、賃五十錢。

此の温泉は内地から北海道、北海道から内地へ旅する人々の一泊して、船車の勞れを醫するに頗る都合のよい處である。町全體に流れてゐる濃厚な溫柔氣分は、一見遊樂地と云ふ感じを抱かせる。地形は三方崗陵に圍まれながら海に面してゐるので、東北の熱海と稱せられてゐる。驛前から海岸通りや裏通りには二層三層の温泉宿や、カフェーや、小料理店や、土産物屋などが櫛比し、旅館は何れも料理屋を兼業してゐる。海上指呼の間に湯の島、鷗島、裸島などの繪のやうな風光が浮



んで、杳か空と水との境には大濠、恐山のある下北半島が薄く霞んで見える。旅館の露臺に佇んで、穩かに脚下に寄せる波の音に聴き入るとき、青森市街の燈火が水の彼方に明滅して、感傷的な氣持に人を惹き入れる。藍碧の重々しい海光もこゝならでは見られまい。

この温泉は、温度高く、昔は布を織る麻を蒸してゐたので、麻蒸と呼んだといふ。それが何時しか淺蟲と書くやうになつたのだ。泉量頗る豊富で、旅館は何れも内湯を有つてゐる。此所も旅館の他に客舎といふものがある。自炊用の器具なども設備してある。又飯や副食物などの賄の依頼に應ずる家が二三十軒もあるから、長い湯治客には非常に便利である。

附近の散策地と云へば、背後の丘上の遊園地やパノラマ臺、半島の先端にある東北大學臨海實驗所の附屬水族館などもあるが、灣内の島々を廻る遊覽船もあつて、一日二圓五十錢位で小舟を雇ふ

事が出来る。又少し遠い所では小湊の北三里、椿山まで舟で出掛けるのも好い。山は全山悉く椿樹で、本邦最北端の椿天然林として名高い。

土産物 雲丹、久慈良餅、木工細工、貝細工など。

熱き湯にふと知合ひぬ都人

泉質效能 無色透明の弱鹽類泉

陸軍々醫部の調査した裸湯の鹽類表は左の如くである。

温度五十八度

クロールナトリウム	〇、三二八〇	硫酸カリウム	〇、〇一八二
硫酸ナトリウム	〇、一八六〇	硫酸カルチウム	〇、六二五〇
硫酸マグネシウム	〇、〇一八九	重炭酸マグネシウム	〇、〇〇七〇
硅酸(メタ)	〇、〇七九二		

胃腸病、神経系統諸病、婦人病などに效く。

旅館・經費 東奥館、南部屋、仙波館、清遊館。以上を代表的旅館として、他に初音館、勝見屋、椿館、丸山旅館、淺蟲館、北見館、湯乃島館、松泉閣、昭和館等何れも内湯あり。他に自炊専門の客舎約二十戸、一流旅館は一泊三圓乃至四圓、他は普通二圓五十錢見當、自炊客舎は室料一日五十錢より七八十錢位。

田代温泉

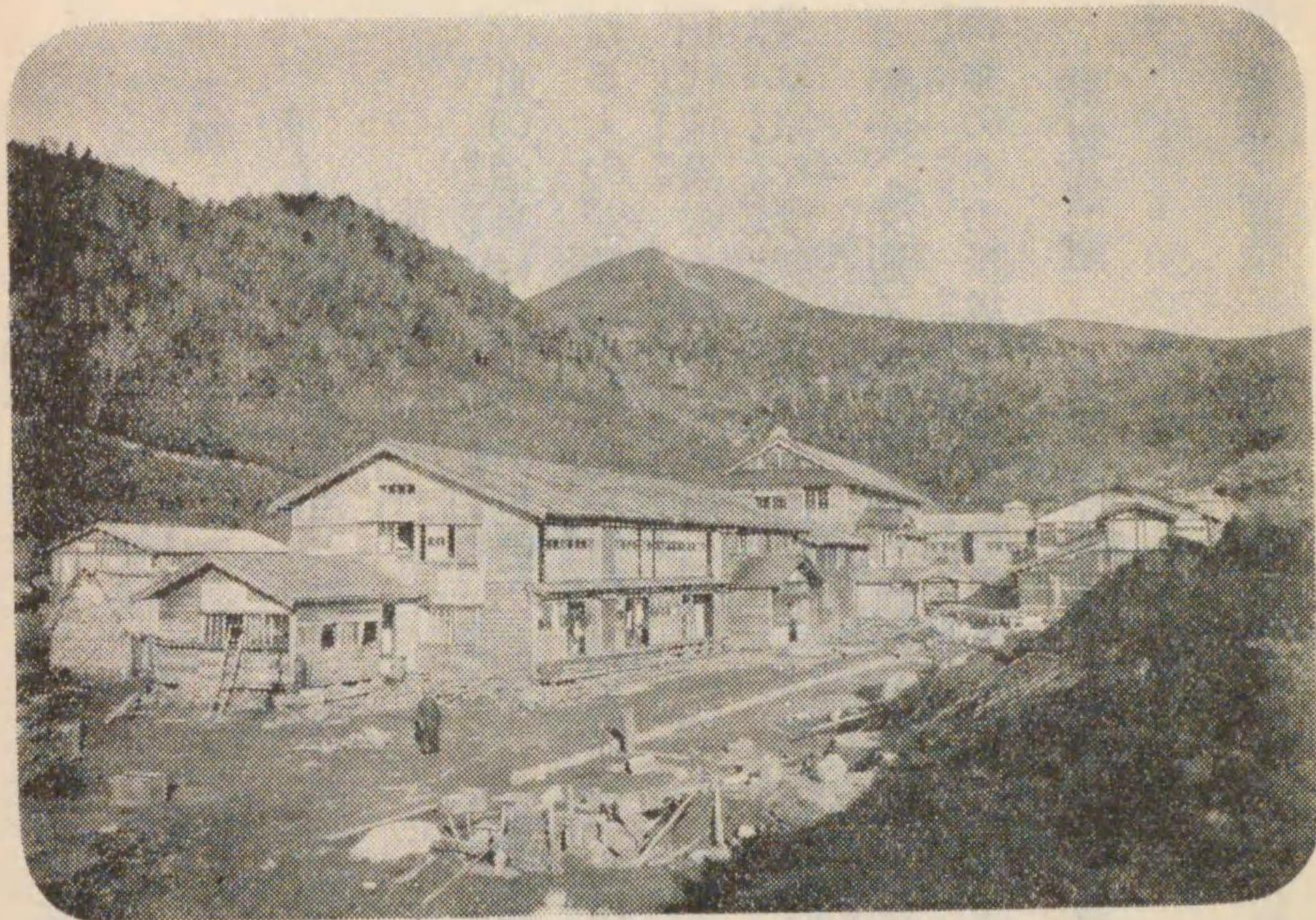
(青森縣東津輕郡濱館村駒込)

青森縣から東南約六里、横内村まで二里の間は自動車の便がある、賃五十錢。それより四里駄馬又は徒歩。

此の温泉は八甲田山裾野の高原にある湯場で、駒込川の上流に枕み、昔造道村の人、太田藤助なるものが狩獵の際之を發見して以來、藤代湯と稱したが、近傍一帶田代と稱して居るので、専ら田代温泉なる稱呼を慣用したのだ。十町許り隔て、元湯、新湯がある。溪流に沿ひ山を繞らし、水聲は淙々琴瑟を彈ずる趣がある。浴槽は何れも二ヶ所で、元湯のは一を産人湯といひ、一を鶴の湯といふ。交通不便と浴客小數のため、旅館等の設備は十分でない。元湯から西方三十町は、青森五聯隊の勇士が雪中行軍の際遭難した所で、此處には記念碑が立てられてある。

泉質效能 芒硝性苦味泉で温度三十七度乃至六十度で、リウマチス、濕疹、皮膚病、婦人生殖器病等に效く。

旅館・經費 元湯温泉旅館、新湯温泉旅館の二軒。一泊一圓二十錢より一圓八十錢、自炊制もある。十二



酸ケ湯温泉

月より翌年三月末までは営業休止。

酸ケ湯温泉

(青森縣津輕郡荒川村荒川)

青森縣から南七里半、六月より十月下旬まで
自動車(賃二圓五十錢)の便がある。約一時
間半。

温泉場は八甲田山の主峯酸ケ湯嶽(大嶽)の西
南山腹にある。傳説によると往古荒川村の獵夫が
一頭の鹿を逸し、之が踪跡を求めた所、此地に蹲
踞して傷を治しつゝあるを認め、始めて温泉ある
を發見した、始めは鹿の湯と稱したのを、何時し
か酸ケ湯に轉訛したのだと云はれてゐる。記録に

よると貞享元年といふ歴史を持つて居るが、明治元年に十四ヶ條の御條目が定められ、毎年役人
が出張の下に、或時期のみ湯治が出来た様になつて居た。明治二十八年に郡場博士の先代が、此
所に關係を持つ様になつてから、始めて家を建築し、遂に今日の如き客舎、浴室等の設備を見る
に至つたのである。温泉場は熱の湯、冷の湯、新湯に分れてゐる。
酸ケ湯嶽は此所より東北方約半里、海拔約一、六〇〇米(凡五、三〇〇尺)多數の高山植物を
産するので有名である。殊に東北大學附屬の高山植物研究所並に植物園も出來、隨意見學を許し
てゐる。近來登山者非常に多く、殊に毛無岱の秋色は十和田湖の紅葉と共に天下一と云はれて
ゐる。

泉質效能

熱の湯、冷の湯共に酸性硫酸泉で、成分も效能も殆んど一致して居る。梅毒性潰瘍、疹癬、
慢性皮膚病、婦人生殖器病、リウマチス、外傷等に良い。新湯は苦味泉で、温度六十度。效能は淺蟲温泉
に同じである。

旅館・經費

酸ケ湯旅館一軒、客舎六棟、便に五百人を收容することが出来る。一泊一圓五十錢から三
圓、自炊によれば一日室料三十錢から八十錢、其他は賃貸し。

下
湯

青森縣東津輕郡荒川村霜湯にあり、青森市の南約五里の所にある。高田を
經て荒川を遡れば此所に到る。嘗て浴場の設備はあつたが、毎年夏季降

雨等の爲め荒川が氾濫して漸次破壊され、殆んど荒廢に歸して了つた。最近これを引揚して浴場を作る計畫があるといふ事だ。

松ノ木鑛泉

病等に效く。

青森縣東津輕郡東平内村松ノ木にあり、小湊驛から國道を東へ十數町、濱子から更に南へ約一里の所に在る。單純泉で客舎一戸。リウマチス、婦人

猿倉溫泉

(青森縣上北郡法奥澤村)

酸ケ湯より東南約一里を隔つる八甲田山彙中にある、山毛櫸の林に圍まれ、溪流に枕んだ靜寂な湯場である。旅館は一戸だが、此山中には珍らしい程大きな建物で、浴場も廣く、湯瀧なども設けてる。泉源は周圍二十間程の湯沼で、濛々たる湯烟をあけて盛んに噴き上げてる。

泉質效能

硫黄泉で温度七十三度。皮膚病、リウマチス、胃腸病、性病などに效がある。

旅館・經費

猿倉旅館一戸。三十室を有し、一泊一圓二十錢より二圓まで。自炊によれば一日一圓以下で滞在出来る。

谷地溫泉

(青森縣上北郡法奥澤村法量)

此溫泉も八甲田山彙中の溫泉場で法量部落を距る西方約一里十町、縣道に沿うた處にある。元來本溫泉は西北高田大嶽の南麓に湧出したものを引揚したものである。

バラック式の小屋が數棟、之れが浴客を收容する唯一の家屋である。小屋主は一日に一度各小屋を巡つて小屋代を集めてる。浴客は各自に米、味噌から寢具、茶碗までも背負つて來なければならぬ。

泉質效能

無色透明の單純泉で、婦人病殊に冷え症には卓效があるといはれてゐる。

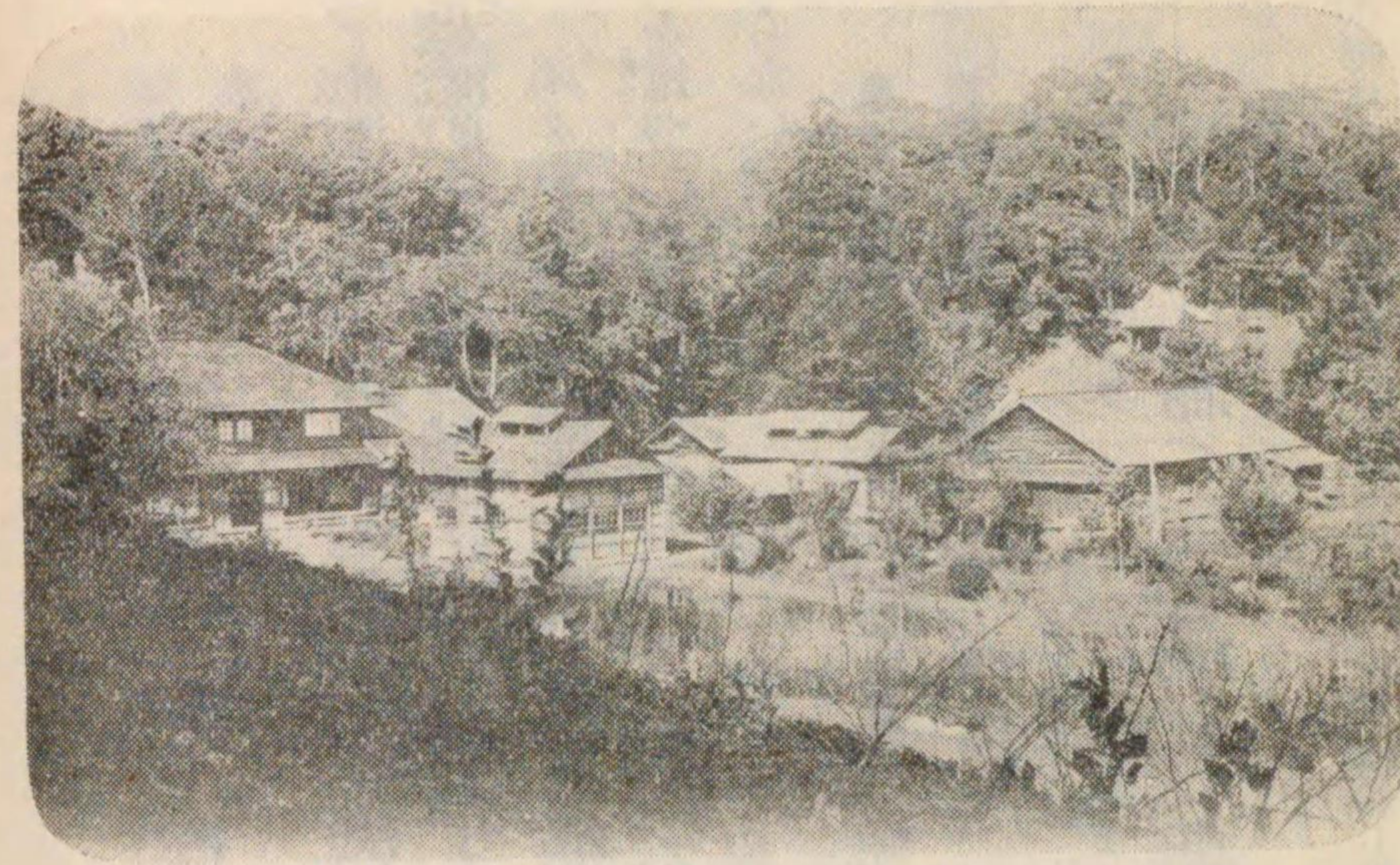
旅館・經費

泉館。一種の湯小屋で、自炊専門、一日小屋代五十錢。

蔦溫泉

(青森縣上北郡法奥澤村)

谷地溫泉から二里、徒歩。別途—東北本線古間木驛で和田鐵道に乗換へ、終點三本木驛下車。それよ



葛温泉

り焼山迄五里半(古間木、三本木間約四十分、賃四十六錢)自動車、一圓二十錢。焼山から温泉まで約三十町、徒歩、又は駄馬。

温泉の一里手前の仙人橋の袂まで来ると、それから先は何百年來斧鉞を入れたことのない山毛櫨の原生林その中をとほく歩いて行く氣持は、何とも云へない静さだ、道がや、降り勾配になつた頃、山毛櫨の大木の間からチラと山湖の眞蒼な湖面が見える。温泉はその湖から四五町の所にある。この温泉の旅館は大きな二階建と、それに接して平家の自炊客を收容する客舎とから成る。その中央が大浴場、その隣にも小さな浴場が二ヶ所、それと湯瀧が一ヶ所。この温泉の勝れてゐる點は、清麗玉の如く美しい其泉質にあるのだ。あの宏大な浴槽に満々とあふれてゐる透明な湯は、見

ただけでも胸が開ける程すがすがしい。岩手の西鉛温泉、群馬の法師温泉、別府鐵輪温泉の熱の湯ぐらゐるが、この温泉に比ぶべきものであらう。旅館の部屋などもよく掃除がゆきとゞいてゐる。

この温泉が今日世に知られるやうになつたのは、故大町桂月氏がこの附近の風景を世に紹介した爲で、附近には桂月翁の墓もある。

温泉場は八甲田山と十和田湖との中心地で、この大風景地帯を探勝するには、最も好い足溜である。附近には葛沼、月沼、太田沼、長沼、赤沼など十數箇の湖沼があるから、一日沼巡りをするのも面白い。又附近二里以内の處に二十餘の瀧があるが、其内松見瀧、裏見瀧など最も大きく、其他今まで餘りに知られなかつた奥入瀬川上流の操檜なども見るべきものである。

名産と云ふほどのものはないが、こゝでは金魚の料理を食べさせる。日本で金魚を食用に飼育してゐるのは、恐らく此地だけであらう。

泉質效能 無色透明の單純泉で、溫度四十八度。腦病、神經衰弱、外傷、リウマチス、濕疹、胃腸病、腺病などに特效がある。

旅館・經費 葛温泉旅館一軒。宿泊料一泊一圓八十錢乃至三圓。中食八十錢乃至一圓五十錢。自炊(席料、電燈料、薪代共)一人一日三十錢乃至五十錢、夜具布團一組十五錢乃至二十錢、尙、日用品一切はこの旅館内で賣つてゐる。

馬門温泉

(青森縣上北郡野邊地町馬門)

東北本線野邊地驛下車、驛より西方一里半。自動車、賃一圓五十錢。狩場澤驛よりは一里、徒歩。

野邊地町より國道を西行すること一里で、馬門の村落に達し、それより西南方十數町の山間部に在る。四圍に翠巒を繞らし、東北部に幅狭き一路を餘すばかり、此地方人士の保養所である。温泉の起源は詳でないが、往時は村營であつたが、文政年間に私營に移り、以て今日に至つてゐる。

泉質效能 石膏性苦味泉で、温度三十八度。冬季は加熱を要する。眼病、婦人病、リウマチス、神經痛等に效く。

旅館・經費 田中屋旅館。一泊一圓八十錢より二圓。百五十人を收容する設備がある。自炊は一日一圓内外で滞在が出来る、自炊道具は無料で貸與する。

西越鑛泉

青森縣三戸郡野澤村西越にあり、東北本線三戸驛から約四里半、北に八甲田山を負うた曠漠たる村有原野の中にある。冷泉で浴用加熱。胃腸病、皮膚病、婦人病、リウマチスに效く。旅館と稱する程のものなく、自炊客舎あるのみ。

岩木・恐山兩山麓の諸温泉

嶽温泉

(青森縣中津輕郡岩木村常盤野)

奥羽本線弘前驛下車(青森、弘前間約一時間賃六十錢)、驛から五里餘。自動車、賃二圓。

岩木山の南麓にあり、附近一帶は莊嚴なる潤葉樹林で、標高四八〇米(凡一、五八〇尺)を示してゐる。戸數約二十、悉く旅舎客舎ばかりが、軒を並べて圓陣を作り、中央に浴舎を設けて共に使用してゐる。泉源は浴場から登攀すること約十町ばかり離れた山腹の湯澤にあるが、延寶八年百澤村の長五郎といふ人が之を開き、始めは泉源附近に浴舎を設けたのを、寛政八年に木樋を以て山麓に導いたものである。未だ電燈の設備はなく、自炊用の日用品は販賣してゐる。

岩木山は一に津輕富士と呼び、鳥海火山帯なる岩木火山群の主峯で、群峯を抽いて聳立し、同温泉場から約二時間で頂上に達することが出来る。海拔一、六〇〇米(凡五、三〇〇尺)で八甲

田山と共に縣下の名山である。

昔此山に女人の登山が禁ぜられてゐた頃には、婦人はこの嶽温泉場まで来て、復かに山頂の神を拜んだものである。頂上への道程は約一里、百澤口から登つて此處へ降り、疲れを休めて歸る人が多い。こゝで湯垢離を取つて山へ登る人も近年多くなつたと云ふ。岩木山のお山詣りは津輕二奇風の一つに數へられ、男子十五歳に達すると必ず一度は山へ登らせる習慣がある。陰曆八月朔日より同十五日までの登山期は賽者踵を接し、白衣に白鉢巻のお山詣りが山麓に殺到する者、日に何千と云ふ數に達すると云ふ。登山前は精進潔齋して心身を清め六根清淨を唱へて登るが、下山の時は三味線太鼓で降りて來たものだとも云ふ。

温泉場の東 百澤には國幣小社岩木神社がある。光仁天皇の寶龜年間の創建にかゝり、社殿は實に壯麗を極め奥日光の稱もある。

名産 竹細工、湯の花、木化石。

泉質效能 鹽類含有酸性硫酸黃泉で、溫度八十三度。内務省東京衛生試験所の分析表によれば、鹽類表は左の如くである。

クローリウム	〇、四六五〇	クローリウム	〇、一五三〇
硫酸カルチウム	〇、〇二五〇	遊離硫酸	〇、九五六四
硼酸(メタ)	〇、〇五六一		

外傷 リウマチス、濕疹、婦人生殖器病、梅毒、疥癬等に效く。

旅館・經費 湯ノ澤旅館、靜養館、常盤館、岩木館、富士見館、田澤、西澤、其他五戸。宿泊料一圓五十錢より二圓。外に自炊制あり、貸室八疊一週間三圓五十錢より四圓五十錢。湯錢一人一週間十錢。燈火料一夜五錢。貸寢具上一夜二十錢より四十錢。自炊一日の食費五十錢見當。

湯段温泉 (青森縣中津輕郡岩木村常盤野)

嶽温泉より西南十五町、臨時荷馬車の往復あり。

地勢は略々嶽と同様であるが、温泉場の位置が低い爲、嶽の如く晴れくした氣分に乏しい。三亭保年間越後の人柴田長兵衛此地に温泉の湧出を發見して、始めて浴舎を設けたと云はれてゐる。客舎六戸浴槽二個、一を熱の湯、一を冷の湯というて居るが、泉質にも效能にも大差はない。

泉質效能 アルカリ性弱食鹽泉で、温度三十九度乃至四十度。外傷、リウマチス、慢性濕疹、生殖器慢性諸病、腺病質、皮膚病等に卓効がある。

旅館・經費

柴田、古訓、外四戸。一泊一圓五十錢より二圓、貸出其他自炊制は略嶽と同じである。

三本柳温泉

青森縣中津輕郡岩木村三本柳にあり、岩木山麓の裾野にある温泉場で、弘前驛より三里半、浴舎は田圃の中に建てられてゐる。泉質鹽類泉で温度四十三度。リウマチス、神経痛、婦人病等に效く。旅館一軒一泊一圓八十錢より三圓、自炊制もある。

笹内温泉

(青森縣西津輕郡岩崎村笹内)

奥羽本線川部驛から五所川原線に乗換へ終點陸奥赤石驛下車、それより岩崎村まで自動車、その先は笹内川に沿うて約一里徒歩。

此温泉は西部唯一の温泉で、浴場は新湯、奥の湯で、奥の湯は新湯より十數町上流にある。孰れも溪谷の間に在つて、朝には溪流に綸を垂れ、夕には岩に咽ぶ水聲、風に戦ぐ林響を聞くといふ

詩的な保養地である。奥の湯新湯とも、泉質效能も殆んど同じで、僅に新湯は奥の湯より食鹽分が少いだけだ。

泉質效能

アルカリ性食鹽泉、温度は新湯三十七度、奥の湯五十八度。效能は外傷性障害、リウマチス、

神経痛、婦人生殖器諸病、腺病質、皮膚病によい。

旅館・經費

新湯旅館、奥湯旅館、各一戸。一泊一圓五十錢より三圓、自炊制もある。

喜良市鑛泉

青森縣北津輕郡喜良市村にあり、喜良市村落より東方一里、五六百年を経たと傳ふる地藏尊の堂がある、鑛泉は其の堂下より湧出してゐる。湯守をおき、客舎五六軒有つて宿泊に充てるやうに仕組まれて居る。浴用加熱。婦人病、神経衰弱、特に皮膚病に效ありといふ。一泊三食付一圓、自炊二十五錢 見當。

下風呂温泉

(青森縣下北郡風間浦村下風呂)

東北本線野邊地驛で、大湊線に乗換へ田名部驛下車(野邊地、田名部間、約一時間半、賃八十五錢)、驛から八里、自動車一日四回、賃二圓五十錢。冬季間は馬楯一日一回、賃三圓。

田名部から自動車で二里も馳つたと思ふと、忽ち太平洋の波打際に出で、水天髣髴として際涯を知らぬ雄大な風景を浴びながら、軒低き漁師町を過ぎて下風呂へ着く、温泉場は丘の麓のや、小高い地帯で、洋館ペンキ塗の共同浴場を圍んで、四五軒の旅館が軒を並べてゐる。こゝが大湯である。

そこから一町ほど行つた處にも亦一つの浴場があつて、二三軒の旅館がその周圍に並んでゐるのを新湯と呼んでゐる。丘の中段の稻荷神社の境内から眺める太平洋の雄大さは、天下一品の賞詞を吝まない。其渺茫たる夜の海に出る烏賊釣舟の篝火は天上の星の波に墜ちたやうで、燦爛目を眩ませる。

誰しも此の下風呂温泉は、磯の香深い漁村の鄙びた僻邑のやうに思ふが、どうして電燈あり、電話あり、洋式の高等湯がある等、文化的設備の整頓して居るのに驚かされる位である。蓋し之は北海道の文化の感化を受けつゝある關係が、一大素因を成して居るのだ。下風呂は函館や室蘭方面から、毎日汽船の便もあつて、湯治客も本島人よりは寧ろ北海道の人が多いと云ふのだから、土俗が北海道化したので、別府が大阪化したのと同じ徑路である。今でこそ自動車もあり、汽車もあつて、此處から青森方面へ行くのが容易になつたが、昔は青森に行くより、船で函館へ行つた方が早

くもあり、且便利でもあつたから、青森縣でありながら、實は北海道の延長とも謂ふべき土地である。

浴場は二ヶ所、大湯、新湯に分れ、何れも共同浴場になつてゐる。旅館客舎數十、四季を通じて浴客は絶えない。泉質は一種の硫黄泉である。湯治の徒然に鯛、鱸などの大物や、小魚の磯釣、或は小舟に乗つて數町の沖合で烏賊を釣るのも面白い。

名物名産

烏賊、鮑、鯛、フノリ、海苔、昆布等の海藻類、湯の花羊羹等。

泉質效能

鹽類性硫黄泉で、溫度六十度乃至七十度、大湯と新湯に別れ、大湯には上等湯の設けがある。創傷及び打撲傷、其他皮膚病、リウマチス、婦人病に特效がある。

旅館・經費

丸木、森脇、角長、角谷、丸十、葛西等何れも内湯は無い。宿泊料は特等より四等迄に分れ一圓三十錢より三圓五十錢まで。自炊は一夜室料七十錢、木賃宿だけに限る。(夜具蒲團二枚貸與) 其の他自辨。

赤川温泉

青森縣下北郡風間浦村赤川にあり、田名部町の西北約五里赤川に到り、更に川を溯ること約二十町の處にある、温泉の起因に就ては不明だが、百年も以前から、附近の漁民が梅毒に效があるとて、入浴し來つたものだ。客舎一戸浴槽一個ある

も、交通の便を缺くため浴客稀で、殆んど荒廢に歸せんとしてゐる。食鹽泉で效能温湯温泉と同じである。

薬研温泉 (青森縣下北郡大畑村)

田名部驛から下風呂温泉への途中、大畑までは自動車の便があり(賃一圓七十錢)、そこから二里の間は營林署用のトロツコ式電車に便乗すれば、約一時間で温泉に至る。

朝比奈嶽の北麓、大畑川の上流にある。山水明媚殊に晩秋の紅葉は觀賞に値する。大畑から薬研温泉まで二里の間は、恐山中から木材を運ぶ營林署用のトロツコ式電車があつて、營林署に頼むと、無料で便乗させてくれる。電車を降りて一町ほど川岸の方へ歩いて行くと、其處に寂しい一軒の宿がある。それから一町ほど上手に、又一軒ひつそりとして、夏などは唯蟬の聲が聞えるばかり、至つて静かな淋しい温泉場である。

浴槽は崖を斜に川岸に下り立つたところにあつて、岩と岩とが薬研の形に開き、その底から湧き上つてゐる。薬研温泉と云ふのは、この湯壺の形から來た名稱であらう。

泉質效能

單純泉で温度四十八度、温泉の清麗なる點に於て傑出してゐる。脂肪過多、腦病、腺病、婦人病などによい。

旅館・經費

古畑旅館、楨旅館の二軒。宿泊料一泊一圓五十錢、湯錢五錢、自炊は一圓八十錢内外。

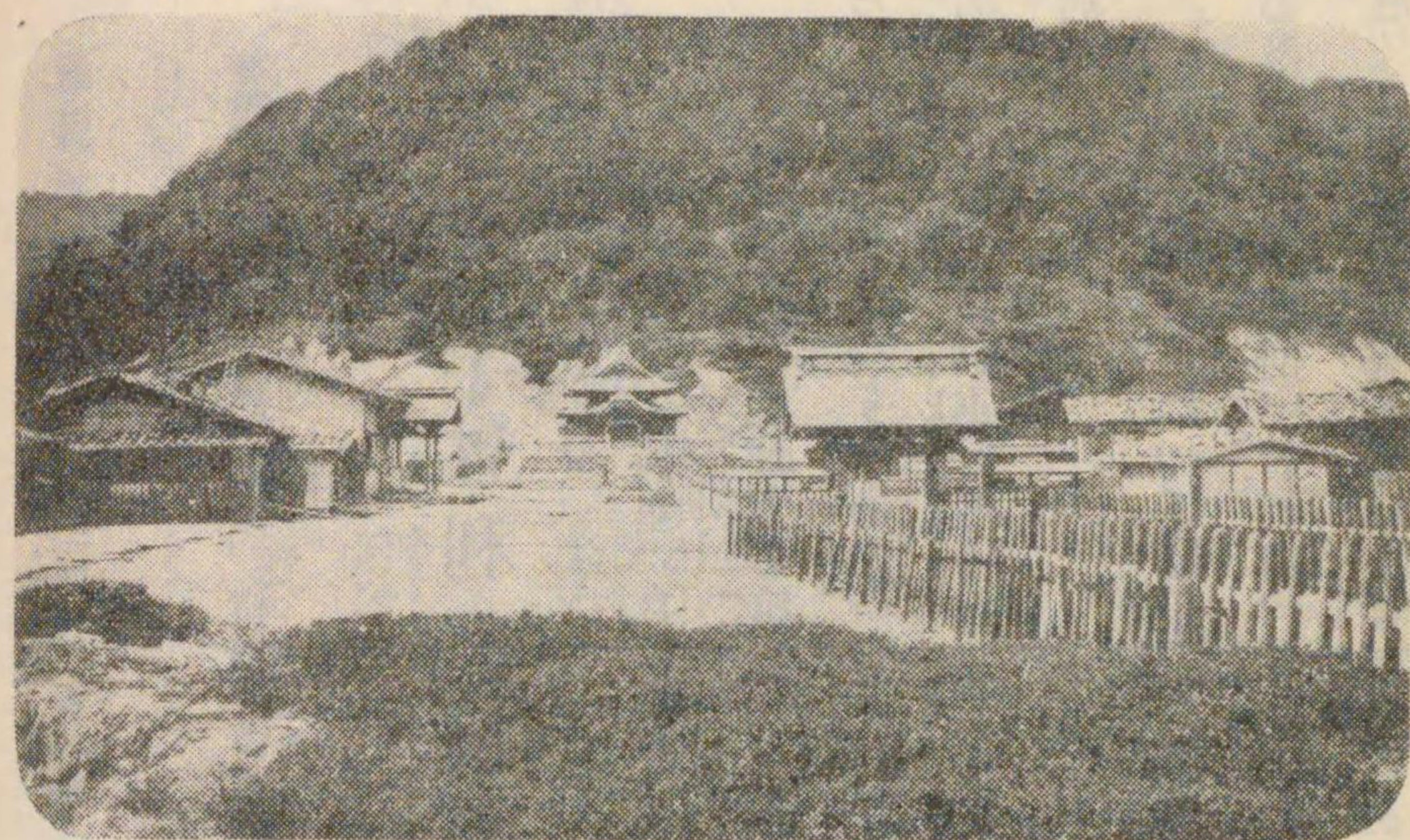
宇曾利山温泉

(青森縣下北郡田名部町恐山)

田名部驛から四里、自動車がある。賃二圓三十錢、午前一回、午後一回。

此温泉は恐山中地藏堂の境内にある。世の多くの人々は恐山の靈場なることを知つて、温泉地なることを知らぬやうである。登山口は大畑口、田名部口、大湊口、川内口の四道あるが、今では田名部口に登山自動車運轉して居る。絶頂宇曾利湖畔には恐山ホテルが出来、登山者の便を圖つて居る。

此の温泉の發見は一千餘年前貞觀年中慈覺大師が宇曾利の靈場を開いた時からだと傳へられてゐる。恐山は別稱宇曾利山、奥羽火山帶斗南半島の主峯で、海拔八〇〇米(二、六四〇尺)硫氣を吐く舊火孔の宇曾利湖はその頂にある。昔から恐山へ行けば死んだ人の聲が聞けると云はれる程



泉温山利曾宇

の神秘境で、山中には、佛説の地獄、極樂に擬した劍の山、血の池、賽の河原、六道の辻、修羅道、極樂濱、鹽屋地獄、八萬地獄など無氣味の名の附いた所が澤山ある。

温泉は湯壺が五ヶ所あつて、古瀧の湯、冷の湯、薬師湯、花染の湯、新瀧の湯、其外天然に湧出するもの數十を數へ、四邊爲めに濛々として白煙を揚げてゐる。

泉質效能 何れも鹽類含有酸性硫黄泉で、温度七十四度乃至七十八度。梅毒性頑固の潰瘍、疥癬、慢性皮膚病、婦人生殖器病、腺病等に效がある。

旅館・經費 湯治客は寺院の客坊に宿つて賄つて貰ふことが出来る。一泊一圓五十錢、又自炊するものは寺務所から寢具器具など借受ける便宜もある。室代一日十五錢、一日一圓位で滞在出来る。
恐山ホテル、一泊二圓乃至三圓、自炊はない。

湯ノ川温泉

(青森縣下北郡川内町湯ノ川)

大湊線の終點大湊驛から川内町まで五里、自動車がある。賃一圓五十錢、それから四里徒歩。又大湊より汽船便によることも出来る、隔日出帆、賃八十錢、冬季は馬櫓の便がある。

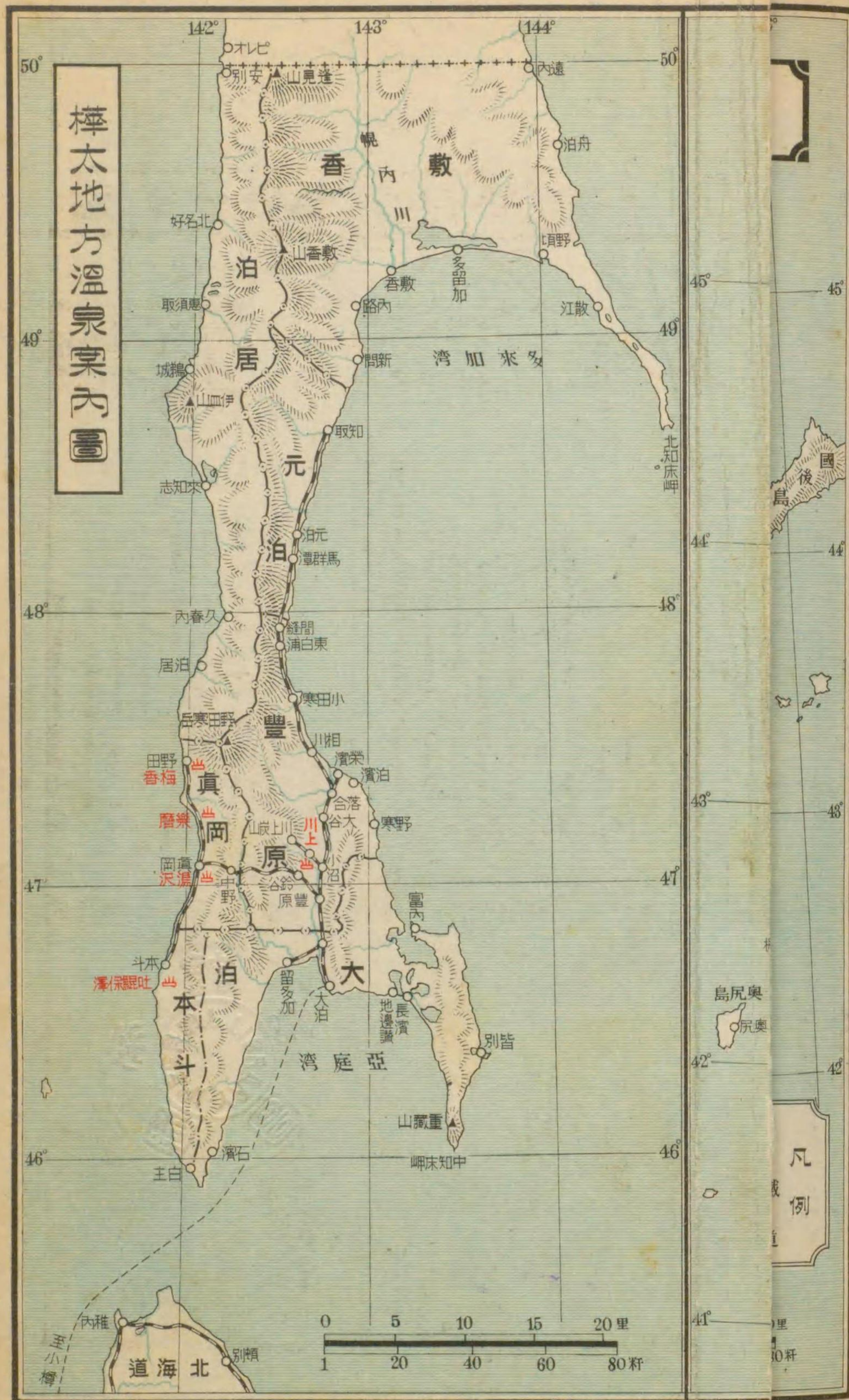
川内町から川内川を四里遡つた山間の温泉場で共同浴場に、瀧の湯、松の湯、梅の湯がある。

泉質效能 泉質は三湯とも單純泉で温度三十八度内外。特に婦人病、リウマチスに效がある。その他腦病、一般虛弱者によい。

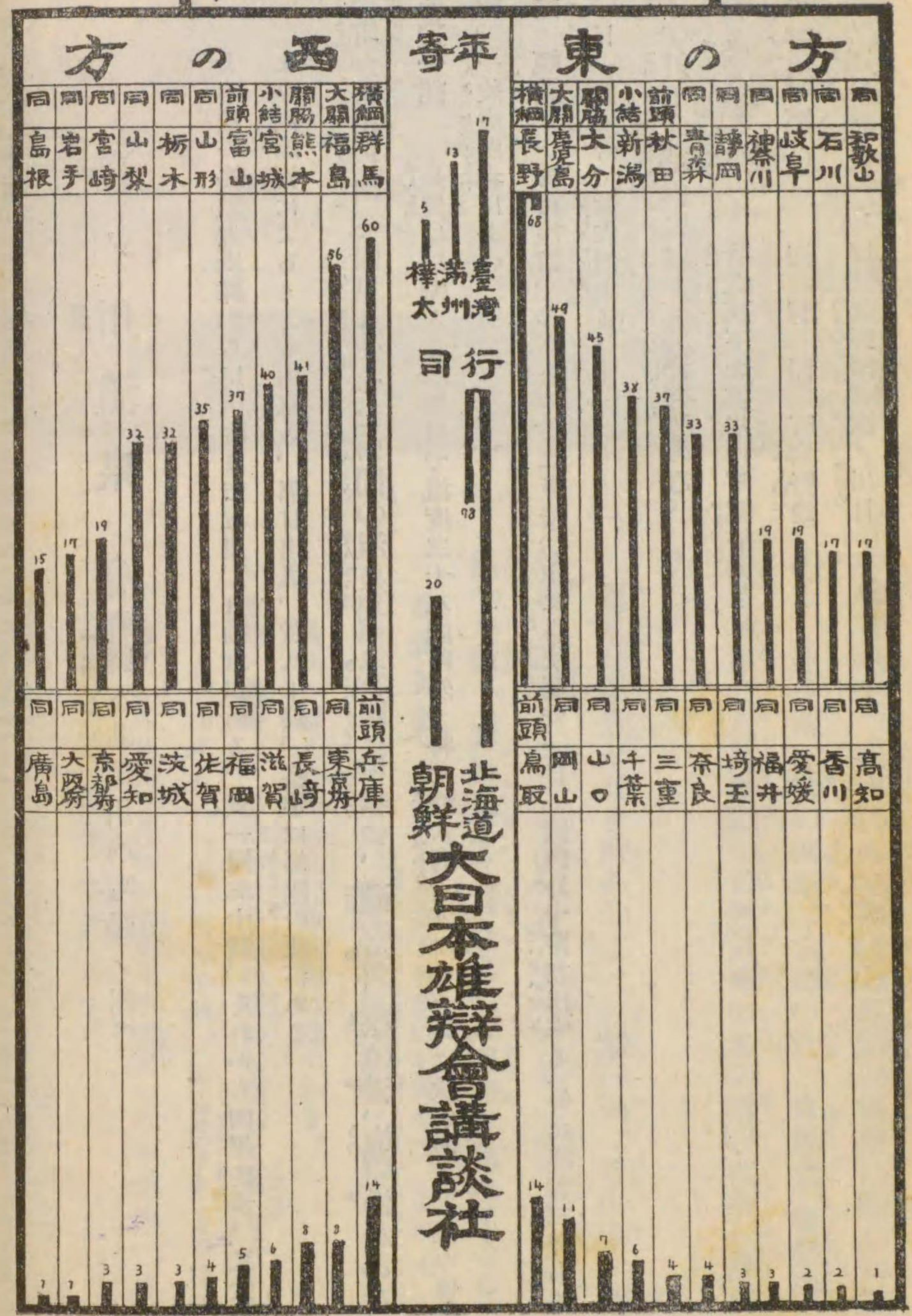
旅館・經費 岡村旅館、寺島旅館の二戸で、主に自炊制で一日一圓内外で滞在出来る。外に客舎三軒ある、一日一圓内外で滞在出来る。

以上の外下北郡内には左の温泉がある。

- 蠣崎温泉 青森縣下北郡川内町蠣崎
- 宿野邊温泉 同郡同町宿野邊
- 瀨ノ川目温泉 同郡脇野澤村瀨ノ川目



附番別縣府數泉温



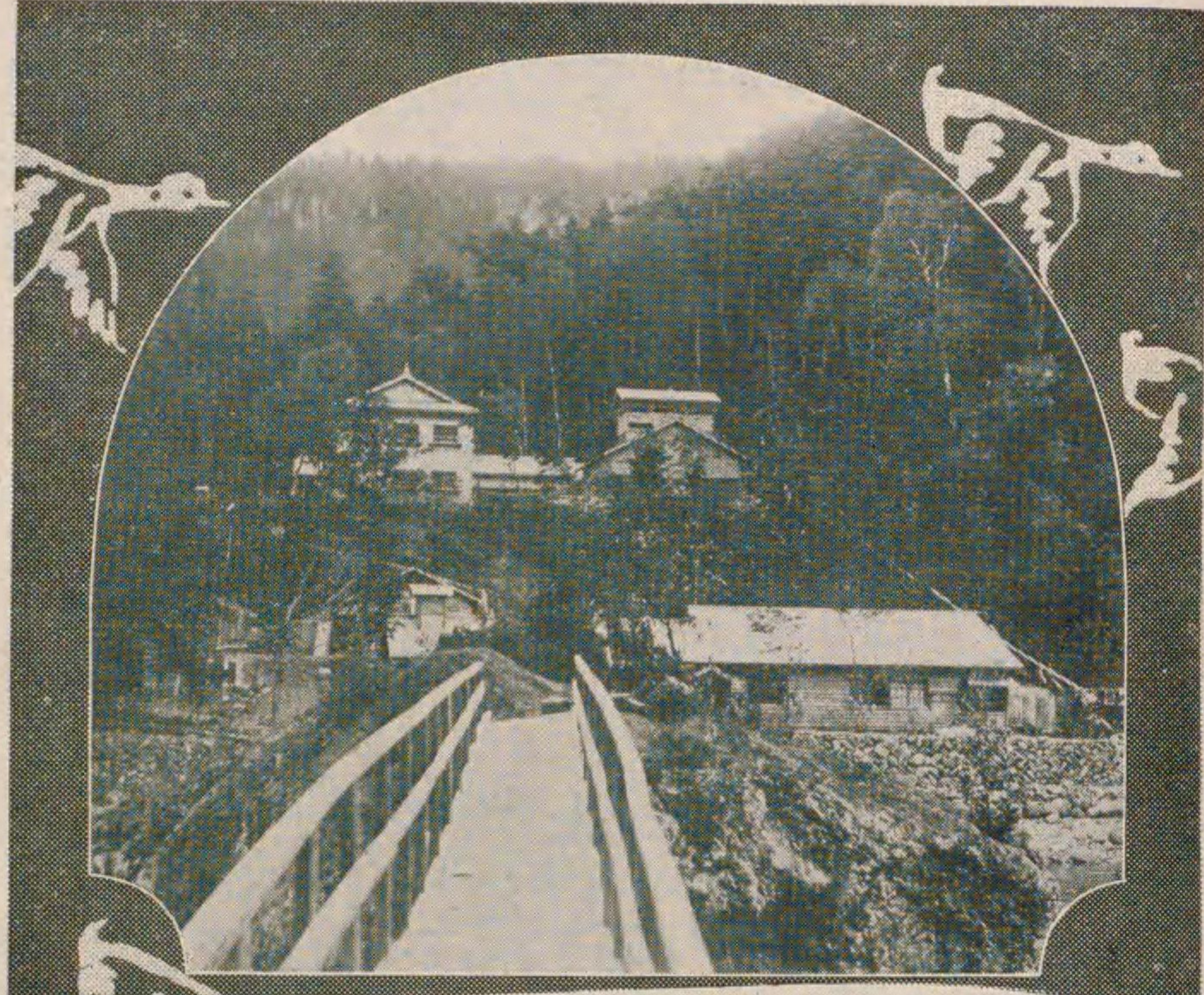
【北海道・樺太地方】



登別温泉

湯ノ川温泉

屏雲峽温泉



吹上温泉



定山溪温泉



洞爺湖温泉



居る位、中にも函館の如きは、内地二流の都市をして後に瞠若たらしむるものがある。従つて、温泉地の設備等に於ても頗る整頓し、しかも一面殖民地らしく、大胆に遊樂氣分を發揮してゐる湯ノ川、根崎の如きものがある。

又、氣候は割に温暖で、青森邊と大差はなく、夏は元より涼しい。そして、積雪量も一尺五寸を越すことは稀だから、昔のやうに蝦夷地などとビクビクする必要はないのだ。
山地には御料林、國有林多く、その規模の大なることに於ては、流石に北海道だと感嘆せしむべく、針葉樹林が美事に繁茂してゐるから、風景その他に於ても内地と格段の相違を見出せない處も多い。だから本當に北海道らしい特色のある湯場といふと、遙かに奥地に入らねば發見する事が出来ぬのだ。

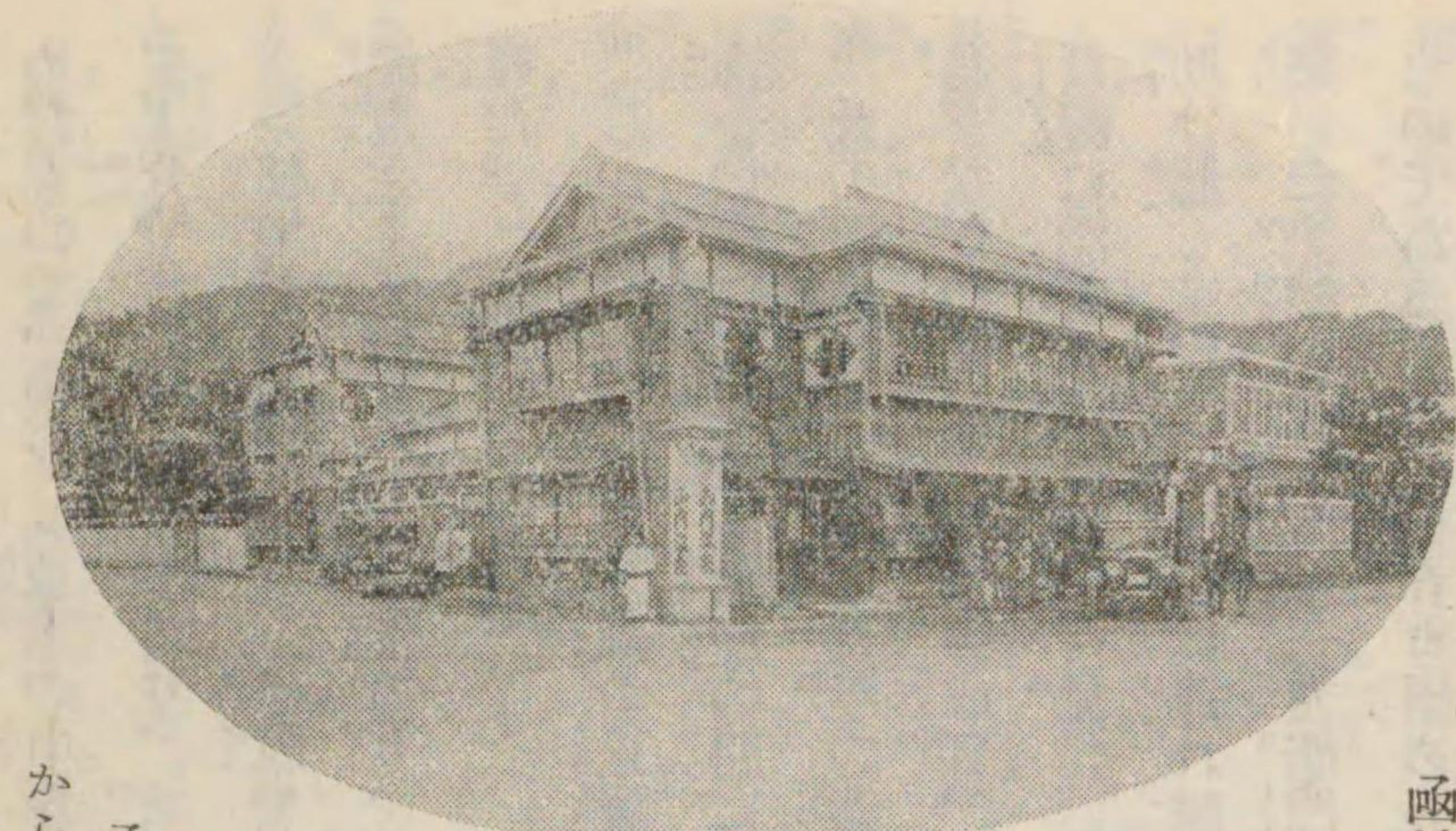
山ノ内温泉 (函館市谷地頭町)

函館驛前から市内電車谷地頭行に乗り終點下車。それより約一町。
臥牛山(函館山)の東麓にあり、津輕海峡に面して眺望開豁、設備はよく整つてゐる。

函館公園、八幡宮、それに土方歳三等佐幕黨の志士の記念碑等も近くにあるので、四時遊覽の客を断たない。津輕の海を前にし、懸崖深く碧潭を抱く立待岬迄は、温泉から僅かに七町、岬頭には歌人石川啄木の墓がある。

泉質效能 含鐵食鹽泉で温度三六度、加熱浴用に供す。特效は痛風、リウマチス、婦人病等で、その他腺病、胃腸カタルにもよい。
旅館・經費 山内温泉旅館一戸。宿料一泊、本館三圓、別館五圓、特別室七圓。

湯ノ川温泉 (北海道龜田郡湯川村)



山ノ内温泉

函館驛前から湯川電車に依り終點湯川驛下車、三十分、賃十四錢。▼函館驛から自動車に依れば、二十錢。貸切二圓。

絃歌さんごめく賑かな湯の町情調に憧れて、函館に上陸した程の人は、必ず一度は湯ノ川を訪れ

ることを忘れない。然し此華やかな温泉場も、大正二年、函館から電車の通ずる前迄は、閑寂を極めたもので、ボブラ並木の中を、ガタ馬車が走つて居て、入浴客も多くはなかつた。それが、電車二十分で行けるやうになり、次いで自動車道路が完成すると、沿道には、文化村、平和村等のモダン住宅が、幾つとなく建設され、温泉地域一帯は、忽ちにして繁華な市街地となつてしまつた。温泉プールあり、大湯瀧あり、浴場の大部分は、料亭を兼ね、遊樂的設備の完備を競うて居る有様だ。

しかも、地は北に三森の丘陵を負ひ、前は松倉川の清流を隔て、根崎温泉に對し、土地は高燥、遙かに津輕の連嶺を雲煙の間に望むといふのだから、温泉地としては、申し分のない形勝である。此の温泉は今から七百年の昔、附近一帯がアイヌの勢力範圍内だつた時分には、荒涼たる海邊に過ぎなかつたが、初秋の或日、此村の酋長が何心なく海邊を歩いてゐて、計らずも異装な人間が波打際に漂着してゐるのを見た。未だ胸には温い鼓動が残つてゐる。これを見た酋長は直ぐに其男を助け起して、己が住居に連れ歸つたが、この異形な男こそ、誰あらう、後に龜田郡に志苔の城砦を築いた津輕の武士小林三左衛門である。此時酋長には十八になる娘があつて、枕も上らぬ大病だつたのである。神の使者と崇められる三左衛門は、娘の病を全快さすべく、酋長から切に頼まれた、

然し彼に醫藥の心得あるわけではない。何か旨い思案もがなと、ぶら／＼濱邊を歩いてゐると、偶然にも草蔭に湧く温泉を發見した。三左衛門は天の與へと喜んで、早速それを汲みとつて娘に飲ませ、且、入浴させたところが、不思議にも娘の病は薄紙を剥ぐやうに日一日と快方に向ひ、一ヶ月と立たぬ中に全快した。以來、温泉は村の救命湯として、カムイ大神の下されたものと、彼等の仲間に信ぜられたと云ふ。勿論、三左衛門は、神の使者として益々崇められたに相違ない。後、承應三年には、松前家の千勝丸が當地に藥師堂を建立したことは、記録にも残つてゐる位、この湯ノ川温泉は、内地人の關する限に於ては、全道最古の温泉場といつてもよい。その發見傳説に少彦名命や、弘法大師を持つてくる代りに、カムイの大神と漂流者を結び着けたのも面白いではないか。又、この附近には鈴蘭が多い。初夏の頃は山谷到る處に馥郁たる芳香を放つて、可愛い鐘形の花を咲かせるので、函館あたりから摘草に来る人で大變賑ふ。夏は松倉川、汐止川を遡れば香魚、山女等の釣れる場所もあり、土用に入れば一帯の海岸では昆布狩が始まる。この花折昆布は、廣巾と香味のよいので賞美される。

維新史に名高い五稜郭は、函館から沿道を少く左に入つたあたりにあつて、今は公園のやうになつてゐるが、當時幕軍は之に據り、湯ノ川温泉を占領して、傷病兵の療養所としたのだ。



鈴蘭採取

トラピストの女子修道院「天使園」は温泉の東二十町、上湯川村の風景明媚の丘上にある。寺院は、明治二十三年の創建にかゝり、白衣の尼僧が修道に精進し、禁慾生活を厳守してゐる。

湯ノ川温泉の濃厚な脂粉の香から離れて、鈴蘭の咲く野をさまよふ時、修道院の鐘の音を耳にして、一種云ひ知れぬ感慨に打たれる人もあらう。

その他、志苔館趾、湯倉神社、妙應寺を訪ねるもよい。

名物土産物 トラピストのバター、烏賊の鹽辛、昆布、湯川團子、湯川焼(陶器)、アイヌ人形。

泉質效能 無色透明の含鹽アルカリ泉にして、泉源温度六十五度以上、ラヂウム・エマナチオンの放射能一三・二マツ、含有成分左の如し。

クロールナトリウム 六一九八八
炭酸ナトリウム 〇・六二三七

ヒドロ磷酸アルミニウム 〇・六五六九
重炭酸マグネシウム 〇・一二四二
珪酸 〇・四四一〇
胃腸病、神経痛、リウマチス等に特效あり、子宮病、膀胱カタル、腎臓炎等にもよい。
旅館・經費 福井館、福住、小林亭、兼樂園、芳名館、若松旅館、一力、加嶋屋、湯川ホテル、かめや、みどり亭、富久屋、竹乃屋、藤の湯、住の湯、天旅館、昭和温泉、まつ屋、大湯等、設備よく、多くは、貸席、料亭を兼ねてゐる。宿泊料は一等旅館一泊四圓乃至六圓、二等旅館は二圓乃至三圓、三等旅館は一圓三十錢乃至二圓。自炊制によれば入湯料共一日一圓内外、伺ひ制によれば一日一圓半見當。

根崎温泉 (北海道龜田郡根崎村)

前記湯川驛より南へ五町、徒歩。▼函館驛から自動車、賃往復三十錢。▼函館驛前及び函館棧橋より貸切自動車、賃二圓五十錢。

松倉川を挟んで湯ノ川温泉と相對してゐる、その氣分と情調とは、兩温泉の間に殆んど區別を認め、めることは出来ない。こゝも同じく函館人士の遊樂地である。明治の末葉、はじめて泉源を開鑿し

た頃は、一面茫茫たる沙濱で、完全な道路とてもない邊鄙の漁村に過ぎなかつた。
兎も角温泉宿らしいものが出来たのは明治四十一年のこと、その後湯ノ川と共に急激な発展を遂げたもので、湧出量極めて豊富、一日數萬石、公衆浴場四個所にあり、宏壯な旅館の櫛比する中に料亭、藝妓置屋等も介在して、日夜、絃歌の聲に賑つてゐる。

この邊一帶は、古來「宇賀の浦曲」と呼ばれた形勝の地で、右方には、白砂長汀長く連り、函館山、立待岬の翠綠も眼近に望まれる。殊に夏秋の交、烏賊釣船の漁火點々、沖合に花と散る夜の壯觀は、筑紫の不知火に似て更に壯大な眺である。

海岸一帶は海水浴場として亦好適、沖合には温泉の湧出個所あつて、波の穏かな日には白泡の渦を見る事が出来る。

トラピスト修道院は、東北一里、日持上人の遺蹟石崎の妙應寺、連理木のある白木神社等も曳杖地として恰好の位置にあり、更に日浦海岸、釜谷富士、川汲峠あたり迄景勝の地を訪ねてみるのも面白からう。

附近鈴蘭多く、尙、鴨、鴨等の狩獵地として知られてゐる。名物は湯ノ川温泉の項参照。

泉質效能 泉質は含鹽アルカリ泉で泉源温度六十四度、一日の湧出量五萬數千石、湯ノ川にも數千石宛

輸湯してゐる。従つて含有成分效能等は湯ノ川と大差なく、特效としては、胃腸病、呼吸器病、子宮病等が擧げられてゐる。

旅館・經費 大瀧、ニコ、常盤木、鶴屋、大正館、龜井、山形屋、金松亭、錦水、あづま、竹茂登等は料理兼業、天の瀧、根崎館は旅館專業である。宿料一泊二圓半乃至五圓。旅館專業の家には自炊制あり、一日一圓内外、他に何制もある。

川汲温泉 (北海道茅部郡尾札部村川汲)

湯ノ川温泉から自動車で一時間三十分(毎日四往復)。又、函館、川汲間海路五十哩汽船の便もある。
▼大沼公園から鹿部に至り、そこから自動車でも行ける。

川汲峠の峻坂を、半里程下ると、潺湲たる川汲川の溪流に沿うて、靜かな山ふところに湯煙を立て、ゐるのが川汲温泉だ。

昔、白尻村の資産家に使はれてゐたアイヌが、雪中、鹿を逐つてこの山に到り、白皚々たる中にそこだけ土肌を現し、湯煙を立て、ゐる、其處に白鶴が悠々と隻脚を浸してゐるといふやうな型の如き物語があつて、こゝも一名鶴の湯と云ふ。

山間ながら清楚な浴舎もあり、四季の眺にも富んだところで、鮭、山女、岩魚等が食膳に上る。函館戦争当時、幕軍の依將榎本武揚が、ここに滞在したことがあるさうで、近頃まで川汲嶺の頂上には、木製の砲架なども残つてゐたといふ。

泉質效能 泉温四十七度のラヂウム泉で、慢性リウマチス、神経麻痺諸症、中風等に特效があり、肋膜炎、婦人病、火傷等にもよい。

旅館・経費 山中旅館。内湯なし、一泊一圓半乃至二圓半、自炊、伺ひ制によれば一日一圓見當。

知内温泉 (北海道上磯郡知内村湯ノ里)

函館本線五稜郭驛から上磯線に依り上磯驛下車。それより自動車二時間半、賃三圓。冬季は函館から定期船で木古内に至り、そこから馬橋で温泉まで行く方がよい。

千軒嶽の山麓盆地の中央にあり、清冽な湯の川の流に沿うた閑靜な湯場である。

寶治年間より湯守があつて、湯治する者多かつたと云はれてゐるのだから、北海道としては相當古い歴史を持つた温泉だ。往時千軒嶽からは砂金を産し、荒木大學等が幕命に依つてこの地に渡り

採取事業を起したといふ記録がある、その當時は人家稠密して戸數千戸に達したといふのだから、浴舎も相當にあつたものであらう。今は自動車も通じ、附近には、キャンピング、スキーの好適地もある。土用丑の日の盆踊、山女料理といったものが、この名物である。

泉質效能 無色透明の鹽類泉で、泉温五十二度。リウマチス、神経痛、胃腸病、子宮病に特效がある。

旅館・経費 知内旅館、姫ノ湯旅館の二戸。内湯あり、一泊一圓半。自炊は間代入浴料で一日三十錢。

熊の湯 (北海道龜田郡七飯村峠下村)

函館より自動車、賃七十錢。別途、函館本線本郷驛から一里十町、自動車(貸切)賃三圓。馬車、賃一圓五十錢。

本郷驛から、平坦な國道を暫く行くと、道は段々上り勾配になる。其登り切つた處は大石山の腹で、熊の湯は、その下四丈程の谷底にある。

アイヌ居住時代、熊が傷を癒しに來た處だとも云ひ、明治の中葉、獵夫某が、手負ひの熊を追ひ込んで來て、偶然に温泉の湧出を知つたのだとも云ふ。當時は、この邊は熊笹生ひ繁る深山で、僅

かに樵夫獵師等の通ふ小徑が久根別川の岸近く通じてゐるのみだつた。然し今は周圍は盡く開け、國道沿ひに人家も建連り、熊などは出て來さうもない。又、國道からは、駒ヶ嶽の雄姿を正面に仰ぎ、大沼公園、尊榮沼あたりの勝景を眼下に俯瞰し、一幅の畫圖を見るやうだ。近くの久根別川の岩魚、山女、沼で獲れる鮎と鯉はこゝで自慢のものである。

泉質效能

鹽類性硫黄泉で、泉温十五度、浴用加熱。慢性リウマチス、産脚氣、脂肪過多症、婦人病、花柳病等に效がある。骨折にもよい。

旅館・經費

熊の湯温泉旅館一戸。宿泊料一泊一圓五十五錢乃至二圓。自炊は入浴料共一日八十錢。

大沼電鐵附近の温泉

大沼公園は、大沼、小沼、尊榮沼の三湖と附近一帯の地を抱擁するのだ。北海道三景の隨一で、先年爆發した駒ヶ嶽は雄大な裾野を曳いて、高く湖北の碧落に聳えてゐる。

大沼と小沼とは瓢形を成して連り、周回八里二十町、尊榮沼は周回二里、いづれも大小幾十の島嶼を抱き、其島嶼も湖岸も、鬱蒼たる潤葉樹林に蔽はれてゐるので、紅葉の頃は殊に美しい。大沼驛は同公園内にあつて、函館驛より一時間、賃四十五錢、大沼電鐵は、こゝから分岐して鹿部に通ずる。留の湯、鹿部温泉は、大沼電鐵沿道にあり、磯谷、大舟下、大舟上、川波の諸温泉には、鹿部から自動車に通じてゐる。

留の湯 (北海道龜田郡七飯村大沼)

函館本線大沼驛にて大沼電鐵に乗換へ、留の澤驛下車、賃二十三錢。他に大沼より自動車の便もある、賃二十五錢。

字銚子口にある、明治三年、久保田某の發見したもので、先年駒ヶ嶽爆發の災禍を被る迄は、浴舎も二戸あつたが、共に倒壊して、一戸は未だ復興してゐない。附近は、人家稀疎、寂寥の地ではあるが風景佳く、大沼驛から留の湯に行く間には、大沼に浮ぶ大小の島嶼や、鋭角天を突いて長く緩かに尾根を曳く駒ヶ嶽の雄姿など、次々に眺められる。夏は避暑地として好適、大沼探勝者の根據地としても知られてゐる。

泉質效能 鹽類泉で温度は稍低温。切傷、皮膚病、リウマチス等に效く。
旅館・經費 久保田一戸。一泊一圓半程度だが、他に自炊制もある。

鹿部温泉 (北海道茅部郡鹿部村)

大沼電鐵の終點鹿部驛下車、又は大沼驛から直通自動車もある。電車、賃六十五錢。自動車、賃六十錢。

鹿部は駒ヶ嶽の東麓にあり、太平洋に面した半農半漁の村落である。其處には古くから鹿の湯、鶴の湯、龜の湯等の浴場があつて、優秀な泉質と、本道稀なる間歇泉を擁して、一部の人の間に知られてゐた。

それが昭和四年六月、駒ヶ嶽の爆發に際して、鹿部村は殆んど致命的な大被害を受けたが、世の同情を集むると共に、この隠れたる温泉の名も漸く世人の知る處となつたのは、塞翁が馬といふべきだ。

現在は浴場五ヶ所、いづれも海岸近くにある。鹿の湯は今から三百年の昔、岩手邊の漁夫が昆布

採取に來た折に、傷ける鹿を茅原の中に追込み、偶然に發見したものだといふ。浴舎は太平洋の荒海に枕んでゐるので、湯に浸りながら、打寄せる波濤の音を聴き、さし昇る旭日を拜むことが出来る。鶴の湯は本道に僅か二つを數へる間歇泉で、噴騰すること二十餘尺、豪壯な偉觀である。龜の湯、獅子の湯、大沼電鐵浴場等は近時の新設、又は復興したものであるが、湧出量はいづれも豊かに、その上眺望のよい好位置を占めてゐる。それに此處では新鮮な魚類が安價に食膳に上るといふ特色を有つてゐるし、就中蛸、海參、昆布は名物と謳はれてゐる。

駒ヶ嶽山頂へは鹿部から僅か二時間の行程、高さ百尺餘の三味線瀧は十八町程である。

泉質效能 濃厚な鹽類泉で温度八〇度乃至一〇七度。腺病、貧血諸症、婦人病、リウマチスには特效あり、胃腸病、皮膚病にもよい。

旅館・經費 鶴の湯、龜遊館(龜の湯)、獅子の湯、鹿の湯、大沼電鐵直營の五旅館あり、いづれも内湯完備、宿料一泊一圓二十錢乃至二圓。自炊制に依れば一日七十錢乃至一圓見當である。

磯谷温泉 (北海道茅部郡白尻村磯谷)

鹿部から二里半、自動車、賃八十錢。

磯谷海岸の往來を去ること十六町、磯谷川に枕み、泣面山の翠緑を負うた幽邃境で、春先、櫻や木瓜の花咲く頃、秋老けて山葡萄が累累と實り、板谷楓が、二月の花よりも紅にもみぢする頃は、錦繡世界のやうに美しい寰境である。

名物 野生の山葵に椎茸。

泉質效能 アルカリ性硫酸黄泉で、温度八十度。リウマチス、皮膚病、濕疹等に特效がある。

旅館・經費 磯谷温泉旅館、内湯あり、宿泊料一泊一圓八十錢。入湯賄一泊三食付一圓半。自炊は食料の外間代、電燈料を含み一日二十錢。

大舟下温泉

(北海道茅部郡白尻村大舟)

大舟上温泉

鹿部から四里、自動車、賃一圓三十錢。

磯谷海岸から約十町、大舟川に沿うて、大舟下温泉、その上流八町程の處に大舟上温泉がある。

山郷の湯場で、自然の風光に恵まれてゐる以外、別に特色といつてはなく、泉質效能等は略磯谷温泉に同じ。

旅館・經費 二本柳旅館(大舟下)、岩見旅館(大舟上)各一戸。宿泊料一泊三食付一圓半見當。

駒の湯

(北海道茅部郡森町宿野邊村)

函館本線駒ヶ嶽驛の東九町、徒歩。

駒ヶ嶽の西麓にあつて、國道に沿うてゐるから往復には利便が多い。

先年駒ヶ嶽爆發當時は可也の損害を受けたが、間もなく復舊して、登山者の足溜場となつてゐる。そこから登山口迄約半里、山頂はそれより一里半ばかりである。

泉質效能 鐵鑛泉で、温度十五度、浴用加熱。リウマチス、神經痛、胃腸病、痔疾に特效がある。

旅館・經費 光明館一戸。一泊一圓半、三食付二圓。自炊によれば一日七十五錢位、入浴料は一回五錢。

駒ヶ嶽 昭和四年六月十六日の大爆發は世人の記憶に新な所である。九天を貫く大音響と共に山麓一帯に燒石を飛ばし火山灰を降らし、樹木は悉く枝を折り、樹皮を剥ぎ、一葉を残すものがなかつた。被害

の面積一萬七千三百餘町歩に及んだと云ふ。殊に鹿部村の如きは、降石の厚さ一米に及び、遠く惠山岬を

超えて太平洋上に迄熱灰を飛ばした。家屋の倒潰するもの亦頗る多かつた。その割に人畜の死傷の少かつたのは一奇である。

山は標高一、一四〇米(約三、七六〇尺)、噴火灣の南、大沼の北岸に峙ち、中腹迄は緩傾斜を成してゐるが中腹以上は急に峻険を加へ、山頂は尖鋭、刃峯の如く、駒ヶ嶽、馬の背連峯、砂原嶽等に分れ、その雋鋭颯爽たる景觀は内地には多く求められない感じである。其氣高い品位と風格とに富む山の麓には、明媚なる大沼湖が横はることに於て、山水の風景價値を數倍するのである。

この山あつて、この湖あり、彼此相映つて、北匪稀有の大風景を現出するのだ。登山口は、大沼口、駒ヶ嶽口、鹿部温泉口等がある。いづれよりするもよいが、左の行程を採るのを順路とされてゐる。

駒ヶ嶽登山順路。駒ヶ嶽口。駒ヶ嶽驛―駒の湯―焼山―頂上(行程三里二十町)

大沼口。大沼驛より地獄灣、千鳥の淵まで二路あり、大沼―瓢箪灣(二十一町)―銚子の口(二十三町)―千鳥の淵(半里)か、大沼からセバット、大沼養狐場を経て、千鳥の淵に至る一里半の路をとり、それより山頂迄一里十町。

濁川温泉

(北海道茅部郡森町上濁川)

函館本線石倉驛の東南二里十町、徒歩。駄馬、賃一圓。馬車の便もある。

往古、噴火山の破壊時代に大爆發をした跡の盆地にあつて、一眸曠漠たる高原である。

沿道は、濁川の溪流に沿ひ、錦織成す紅葉の紅を越して、噴煙夢より白き駒ヶ嶽、後方羊蹄山を左右に眺められる。

泉質效能 鹽分を含有する硫黄泉で、溫度七十七度。皮膚病、リウマチス、婦人病、胃腸病等によい。

旅館・經費 神泉館、山下瀧の湯、菊の湯の三戸あつて、いづれも内湯。宿泊料一泊一圓三十錢、三食付

一圓七十錢。自炊は一日七十錢内外であがる。入浴料金五錢。

銀婚湯温泉

(北海道茅部郡落部村二股)

函館本線落部驛の西二里半、馬車、賃五十錢。函館、落部間、賃一圓五錢。

驛前から、村道沿ひに圓太郎馬車が走つてゐるのは、北海道らしい情調である。

温泉のあるのは、落部川上流、二股河岸の中洲で、四面綠濃き山々に圍まれながら、さゝやかな浴舎が一戸、溪流に沿うて建つ、近く天狗山の絶壁に對し、非常に深い山中のやうな感じのする處である。

此湯は大正十四年、先帝銀婚式當日發掘湧出したもので、記念の爲に銀婚湯と稱へたのだ。尤も以前から此地に温泉湧出の事あり、アイヌが河畔の岩盤を穿つて、浴槽を設けてゐた時代もあつた。附近山間には、車瀧、白糸の瀧、岩田堤、谷別峽谷等幽邃の境多く、豪宕なる水勢と、怪奇なる岩容と、巨大なる樹影の醸し出す一種の神秘的感じは、人をして坐ろに敬虔の念を起さしめる。下流親子岩あたりで、鱒、岩魚、山女等が釣れる。

泉質效能 硫黄泉で、泉温七十度。神経衰弱、ヒステリー、貧血、胃腸病等に效く。
旅館・經費 銀婚湯旅館、一泊三食付二圓乃至三圓半。自炊貸間は一日五十錢乃至七十錢。

山越温泉 (北海道山越郡八雲町山越内)

函館本線山越驛から三町。(函館、山越間、賃一圓十九錢)

酒谷山麓一帯の蒼翠を負ひ、噴火灣に面し、左に後方羊蹄山、右に駒ヶ嶽の靈峯を仰ぐ。驛に近接してゐるので、四圍はあまり閑靜とは云へぬが、眺望美に富んだ所だ。朝夕鮮魚を食膳に上せる事の出来るのが嬉しい。名物には温泉煎餅がある。

泉質效能 鹽類冷泉で、浴用加熱。神經痛、リウマチス、皮膚病に特效がある。
旅館・經費 山越温泉旅館(今一)は驛から三町、山越温泉(田村屋)は同八町の處にある。宿泊料一泊一圓三十錢乃至三圓。

二股ラヂオ温泉 (北海道山越郡長萬部村上長萬部)

函館本線二股驛の西方二里八町(函館、二股間、約四時間、賃一圓七十九錢)、駄馬、賃一圓三十錢。

長萬部川の上流二里、鬱葱たる原始林に圍まれた溪間の別天地で、丈餘もある虎杖の白い花が雪のやうに咲き匂ふ。此處は我邦でも最も特色のある温泉場で、浴舎は放射性石灰華の段丘上にあり、この石灰華層の龜裂から三十八度乃至四十九度の温泉が湧出する。湯は外氣に觸れて沈澱結晶して幅二町ばかりの溪谷を埋め、長さは五町餘に及び、堆積して小丘状を爲し、全容積約三十萬立方坪の巨量となつてゐる。地質時代の石灰華は別として、かく大きな石灰華の沈澱は本邦未だ他にその類例を見ない珍奇なもの、しかもこの石灰華が顯著な放射能あることを地質學の權威水博士によつて證明された。



二股奥温泉

だから、こゝではオゾンに富んだ空気の中に、絶えずエマナチオンが放射されてるわけで、温浴と共に、この清澄な空気を吸入することは、醫藥以上の卓効があるといふ譯だ。従つて、此地は純然たる療養温泉で、浴舎の設備等は申分なく、醫局には常時醫師が控へてゐて、浴客の相談相手となつてくれる。唯、山間のことゝて、交通の便が悪く、二股驛から二里餘りの道に徒歩四時間を要する。それでも醫者に見放された重病者なども、盛んにやつて來る位だといふ。

泉質效能

石灰質放射泉で、外科一切、結核性諸病、慢性リウマチス、胃腸病、皮膚病等に卓効がある。

旅館・經費

温泉場は十五棟より成り、新舊兩館の外、自炊館もある。宿泊料は三食付一日二圓以上七圓、自炊の場合は一日五十錢、他に入浴料として一日五十錢を要す。

蝦夷富士及び樽前山を繞る諸温泉

新見温泉

(北海道磯谷郡南尻別村)

函館本線越驛の北二里二十四町。自動車、賃六十錢、馬車五十錢。

海拔五五五米(凡一、八〇〇尺)尻別川の支流目國內川の上流溪谷にあつて、紅葉の美しい温泉場である。

筍、山獨活などが名物なのを見ても、山間の情趣豊かな様が想像出来る。

泉量は一日七千石、プールもあり、數條の湯瀧もある。寒中游泳も出来る上に、附近にはスキーの好スロープもある。浴舎は防寒設備がよく整つてゐるから、冬季でも寒さに苦しむ様なことはない。

目國內川の山女、岩魚は却々美味だ。

泉質效能

鐵、及び鹽類泉で温度四十二度。筋骨痛、坐骨神經痛等に效く。

旅館・經費

新見旅館一戸だが五百人位は泊れる。一泊一圓八十錢乃至二圓半。間貸を主にしてゐるが、これは夜具一組十錢以上、間代入浴料で五十錢、自炊器具無料。

昆布七湯

函館から約六時間、小樽、札幌から三四時間、昆布驛で降りると、東方、蝦夷富士(後方羊蹄山)一、八九三米(凡六、二五〇尺)の秀峰に對して、ニセコアンヌプリ一、三〇九米(凡四、三三〇尺)千歳富士(チセヌプリ)一、一三五米(三、七五〇尺)の二峰は魏峨として北方の空高く聳えてゐる。この二峰は、中腹に茫漠たる大高原を擁し、山麓遠く尻別川を抱く大平野となつて開けてゐる。所謂昆布七湯とは、この中腹、海拔五〇〇米以上の高原地帯に散在する成田、黒澤、湯本、青山、宮川、紅葉谷、仁世古の七温泉の總稱で、昆布驛から車馬を通ずる位の、軽い意味合からさう總稱されるので、別に七湯間に關係や連絡があるといふわけではない。道は概ね緩傾斜をなし、歩行に左したる困難を感じず、正面に蝦夷富士の雄姿を仰ぐ高原行は甚だ快適である。是等の諸温泉は、舊土人の間に古くから利用されてゐたものらしいが、温泉場として經營される

やうになつたのは、極めて近年のことだ。泉量は非常に豊富で、浴舎の多くは溪流に枕み、四圍は峯巒重疊、烟霞翠影を罩むる幽邃境で、殊に晩春の候、櫻、躑躅が一齊に咲き始る時や、秋の紅葉の頃には、思ひ切つて素晴らしい眺めを呈する。従つて浴客は年々増加の傾向にある。冬季は積雪丈餘に達し、雪質は所謂ドライ・パウダー(乾粉)で、握つても雪球にならない。蓋し近時、好スキー地として著聞する所以である。

函館、昆布間、約六時間、賃二圓四十二錢。
小樽、昆布間、約三時間半、賃一圓二十九錢。

成田温泉

黒澤温泉

(北海道磯谷郡南尻別村湯山別)

昆布驛の北一里、馬車、馬樞の便あり、賃五十錢。自動車、賃六十五錢。

此兩温泉は昆布七湯中、最も驛に近接し、交通の便はよいが、設備が十分に整つてゐるとは云へない。閑靜な湯治場で、自炊客を主としてゐる。浴客は附近溪流で釣りあけた岩魚や、山女などを

料理して食ふのである。

泉質は兩温泉共、鹽類泉で、温度四十二度。關節炎、リウマチス、婦人病に效く。旅館は成田屋(成田)、保樂園(黒澤)の各一戸づつ。自炊なら一日六七十錢見當で滞在出来る。一泊一圓半乃至二圓半程度の旅籠宿もある。

湯本温泉

(北海道磯谷郡南尻別村湯山別)

昆布驛より二里二十町、途中成田温泉まで自動車、その先、徒歩。

もと馬場温泉と云つた處だ。

泉源は舊噴火口の跡で、方四町程の溪谷隨處に大小無數の穴があつて、間歇的に熱湯を噴いてゐる。先年、秩父宮殿下御巡覽の光榮に浴した所だが、濛々たる噴煙は、昆布驛の邊からさへ望見し得るのだから、物凄い偉觀だ。

泉量頗る豊富で、泉質も鹽類泉、單純泉、硫黄泉等に分れ、鶴の湯は皮膚病、花柳病によく、龜の湯は腦神經系統の諸病、關節リウマチスに特效がある。旅舎は軍司旅館一戸だが、宿泊料は、

實費主義だから割に低廉、自炊も出来る。

ここから西十町餘不動瀧に遊ぶもよい。

青山温泉

(北海道磯谷郡南尻別村ニセコアン別)

宮川温泉

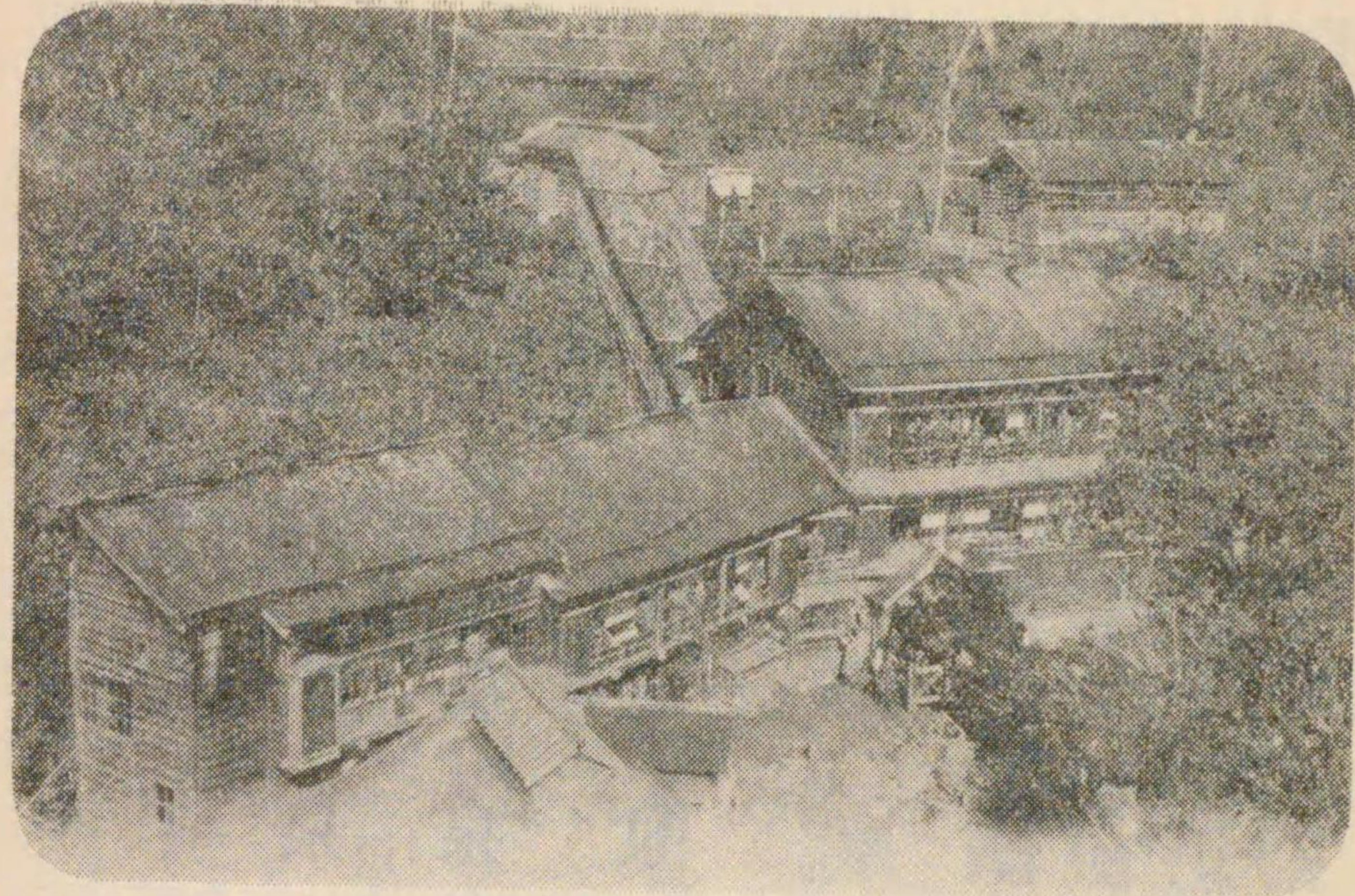
紅葉谷温泉

(北海道虻田郡狩太村ニセコアン別)

三温泉は鼎座の位置にあり、いづれも昆布驛の北東約一里三十町、馬車、馬棧、賃五十錢。自動車、賃七十錢。

ニセコアンヌプリの中腹にあつて膽振、後志の國境を成すニセコアン別川に枕み、三温泉は各數町を隔てて、鼎座、眞を談ずるが如き觀を呈してゐる。諸設備の整つてゐることは七湯中隨一といつてもよい。紅葉谷温泉には疾く業に絃歌を聞くやうになつた。

この附近には青雲臺、常春瀧、夫婦岩、八見瀧等の景勝あり、見晴臺に登れば、蝦夷富士を右に



青山温泉

岩雄登嶺山、藻岩山等の連峯を直前に望んで頗る
爽快又、東洋サンモリツツと稱される狩太藻岩ス
ロープがある。冬季はスキーヤーで賑ふのだが、各
旅館には乾燥室の設備あり、合宿にも差支ない。

泉質效能

青山温泉と、宮川温泉は、食鹽炭酸泉
で、泉温四十四度。脚氣、胃腸病、リウマチス、神經
系統疾患、腺病等に特效がある。

紅葉谷温泉には、泉温四十六度の硫黄泉と、鐵鑛泉
の二種あり。リウマチス、神經痛、婦人病、花柳病等
に效く。

旅館・經費

青山には不老閣、宮川には紅葉館、紅葉
谷には向瀧館あり。一泊一圓八十錢乃至三圓、中食七
十錢乃至一圓半。自炊は一日七十錢乃至一圓見當。
尙、滞在客、スキー團體は一日三食付一圓半見當で泊
れる。

仁世古温泉

(北海道虻田郡狩太村ニセコアン別)

青山温泉の北一里、昆布驛又は俱知安驛より、各三里、馬車、馬樺の便あり。

ニセコアンヌプリ北麓の幽邃境で、泉量の豊富なことは驚くばかりである。

避暑地として好適、且、山麓一帯は好スロープを爲してゐるから、冬季はスキーを飛ばして、一

氣俱知安町に到るのも面白い。

食鹽炭酸泉で、腦神經衰弱、皮膚病には特效がある。旅館は井上一戸。宿泊料一泊一圓半乃至三
圓。自炊貸間もある。

俱知安温泉

(北海道虻田郡俱知安町岩尾別)

函館本線俱知安驛より十二町(函館、俱知安間、賃二圓六十六錢)、夏季は自動車の便がある。

尻別川の清流に枕み、南東蝦夷富士に對して眺望雄大、近くに競馬場などもある。

仁世古、岩尾別の二温泉は西方約二里の地點にあり、沿道は好スロープを爲してゐるので、冬季はスキーヤーで賑ふ。

泉質效能 炭酸泉で温度十七度、浴用加熱。神経痛、リウマチス、貧血症、胃腸病、婦人病に特效がある。

旅館・經費 東館。一泊三食付一圓二十錢乃至三圓、自炊なら一日五十錢。

岩尾別温泉 (北海道虻田郡倶知安町岩尾別)

倶知安驛の西方二里十八町、不定期ながら馬車、自動車の便あり、温泉の手前約半里の地點迄行く。岩雄登鑛山の東二十町、硫黄山の中腹にあり、交通は稍不便だが、南東に蝦夷富士の聳ゆるあつて、眺望開濶、満山錦繡を装ふ頃は美觀極りない。

泉質效能 鐵鑛泉で温度四十四度。貧血、リウマチス、婦人病、創傷等に效く。
旅館・經費 岩尾別温泉。一泊三食付一圓二十錢乃至二圓半。自炊は一日五十錢見當。

山田温泉 (北海道虻田郡倶知安町岩尾別)

函館本線比羅夫驛の西北三十町、臨時に雇入れなければ車馬の便はない。

ニセコアンヌプリの中腹で、海拔六〇〇米餘(約二、〇〇〇尺)三面鬱蒼たる原始林に圍まれ、僅かに開けた東の方には碧落高く蝦夷富士がそ、り立つてゐる。又、蜿蜒長蛇の如く、山麓原野を曲流する尻別の流を瞰下することも出来る。近傍にはスキー場もある。

奇巖削立する半月湖までは、こゝから一里半、蝦夷富士登山者の爲めに、湖畔の登山事務所で強力の世話をして呉れる。

泉質效能 泉温四十五度の硫黄泉で、皮膚病、花柳病、腦病等に特效がある。
旅館・經費 山田温泉旅館。一泊三食付一圓半乃至二圓。自炊による滞在費一日四十錢見當。

川上温泉 (北海道虻田郡東倶知安村川上)

函館本線俱知安驛から分岐する京極線に依り、京極驛で膽振鐵道に乗換へ、川上温泉驛下車(俱知安、川上間、賃三十六錢)、驛より僅か一町。

秀麗な蝦夷富士の山容を真西に仰ぎ、尻別川の清流は、浴舎の窓下を流れてゐる。別に特色のある温泉場ではないが、釣でも楽しみながら香氣に湯治するには手頃な所だ。

泉質效能 泉温三十七度のカルシウム泉で浴用加熱。外傷、リウマチス、濕疹、婦人病等に效く。
旅館・經費 東明館。内湯あり一泊三食付一圓半乃至三圓。自炊なら室代湯錢共一日五十錢。

及川温泉 (北海道虻田郡留壽都村登延頃)

膽振鐵道終點喜茂別驛より約一里半、自動車の便がある。

小盆地の中央にあつて、四圍は悉く千古斧鉞を入れざる大森林である。

昔阿部比羅夫が、山麓に政廳を置いたと云はれる尻別嶽一、〇〇〇米餘、(凡三、三〇〇尺)は、温泉場から北一里弱の地に聳え、洞爺湖畔までは南四里。

泉質效能 泉温二十九度の炭酸泉で浴用加熱。腦神經衰弱、リウマチス、動脈硬化症、痔疾等によい。

旅館・經費 及川温泉旅館。内湯あり、宿泊料一泊一圓八十錢、滞在客は一日三食付一圓五十錢。自炊滞在費一日一圓三十錢位。(食料共)

雷電温泉 (北海道岩内郡島野村雷電)

函館本線小澤驛で岩内線に乗換へ終點岩内驛下車(小樽、岩内間、賃一圓一錢)、それより温泉迄陸路三里、途中一里の所迄自動車の便あり。岩内港より汽船によるも良い。

雷電峠の北麓、岩内、磯谷の郡界に立ち、歴史的に有名な刀掛岬(雷電岬)にも遠くない。その邊は鯨、鮑、鱒等の漁場として知られた處、海岸の風光頗る豪壯、斷崖絶壁の下には萬丈の怒濤が渦巻いてゐる。

忍路高島及びもないが

せめて歌棄磯谷まで (追分節)

と歌はれる磯谷海岸は、雷電の西南二里の處にある。

名物 山葵、こくわ。

泉質效能 泉温四十五度乃至七十度の硫黄泉で、婦人病、リウマチス、皮膚病に特效がある。
旅館・經費 朝日館。内湯あり、宿泊料三食付二圓半。自炊滞在費一日五十錢、伺ひ制もある。

輕川鑛泉 (北海道札幌郡手稻村輕川)

函館本線輕川驛より十八町、自動車の便がある。三人乗一圓。▼札幌市からも自動車の便があり、五人乗一臺五圓。

手稻山麓の溪間、翠巒重疊たる中に瀟洒な浴舎が建つてゐる。背後の小丘に登れば、そこからは、石狩、天鹽の山々が手に取るやうに眺められる。附近一帯は、鈴蘭の野生地として知られたものが、遊覽者の濫獲に逢つて殆んど根絶し、今は安平方面から移植した僅かばかりの鈴蘭が、可憐な香を放つてゐるばかりだ。

臨濟宗の本山向嶽寺の禪道場は裏山にあり、更に四五町登れば北海道養狐會社の手稻養狐場がある。カナダやアメリカ産の白狐や黒狐など飼養されてゐる。尙、手稻山には無電局(陸軍)及スキー場がある。

泉質效能 日に依つて色を變へる含鹽炭酸泉で、一日の湧出量六千石、低温なので加熱浴用。リウマチ

ス、神経痛、胃腸病、婦人病等に效く。

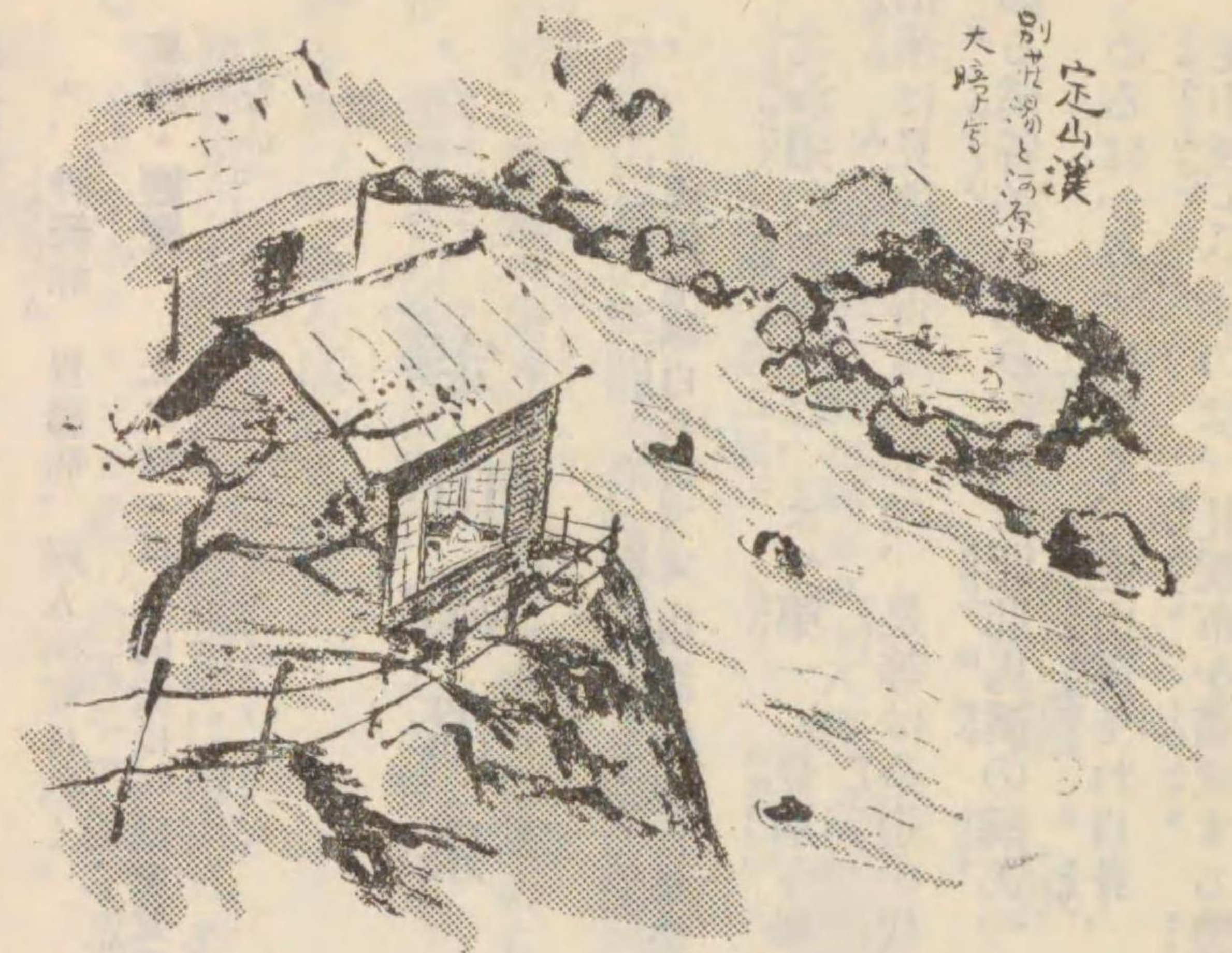
旅館・經費 光風館一戸。同館は料理を兼業してゐる。一泊三圓乃至五圓、中食一圓乃至二圓。自炊制はない。

定山溪温泉 (北海道札幌郡豊平村定山溪)

函館本線白石驛で定山溪鐵道に乗換へ、終點定山溪驛下車(白石、定山溪間、賃七十五錢)。

北海道の温泉では、まづ第一に登別が擧げられる、次に函館附近の湯ノ川、根崎、札幌附近の定山溪は見逃し得ないもの、是等は全道の代表的温泉だと云はれてゐる。中でも、定山溪に至つては、頗る溪谷美に富み、夙に北耶馬溪の稱あつた程で、その有名になつたのは札幌といふ大都市を控へてゐるばかりではなく、定山溪それ自身、有名になるべき資格を充分に具備する爲めである。

定山溪といふのは、札幌市を貫流する豊平川の上流七里の溪間を云ふので、そこに行くには前記白石驛で乗換へるのだが、時間に餘裕のある人は、札幌驛で下車、市内遊覽の上、東郊豊平驛から



定山溪の電車に乗つてもよい。車窓から曠茫たる石狩平原を眺めつゝ、石切山の下に出る。千古斧鉞を加へない鬱葱たる御料林と、大學林の中に入る頃から、沿道豊平川の流は、彌々溪流の風趣を帯び、奔湍となり、瀑布となり、深淵となつて變幻極りなく、未だ温泉に到らざるに、既に深山幽谷の感を深からしめる。

湯街のある所は、海拔一、〇〇〇尺の山峽で、原始林に蔽はれた層層は、犇々と兩崖に迫つてゐる。電車の終點から僅かに二町、宏壯なる浴舎や、瀟洒な料亭等の建物は、流れを挟んで相對し、夜圓かならざるに水に映える赤い灯の色も煌けく媚めかしい。

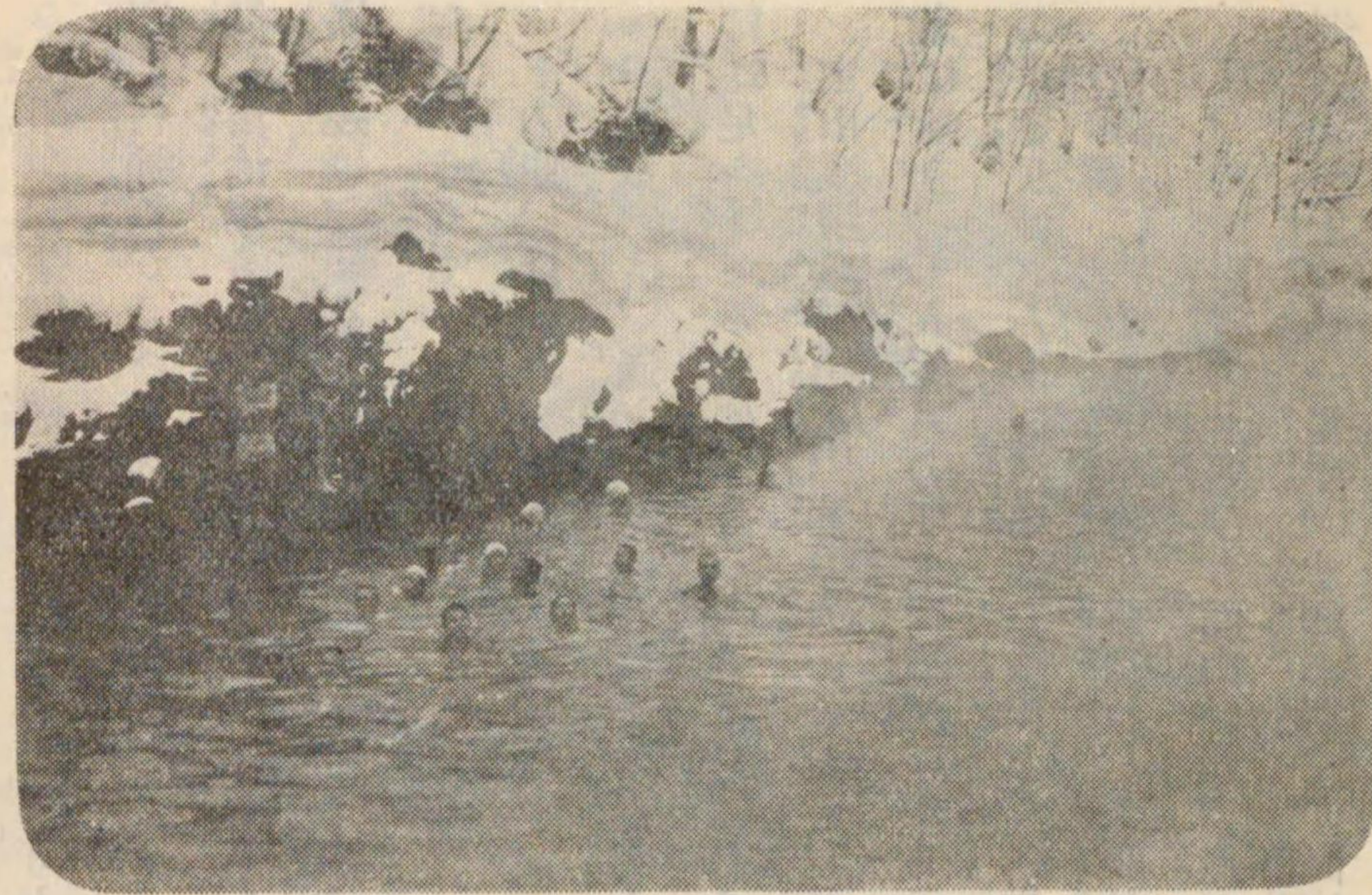
こ、を定山溪と呼ぶのは、慶應二年頃、定山とい

ふ法印が、茅屋を構へて、はじめ湯守となつたのを記念するものだといふ。明治四年、開拓使判官岩村通俊がこゝに来て仔犬を拾つた。よく見たら、それが狼の仔だつたといふやうな話もある。然も湯治場らしい趣を具備するやうになつたのは、近く大正七年頃からのことで、爾來、急速な發展を遂げ、現在では旅館の設備の如き莫大の資本を投じ、内地一流旅館に伍しても少しも遜色を見ないやうなものがある。

その他、貸別荘、娯樂場の設備等、いづれも近代的温泉の特色を備へてゐるが、特に公園まで拵へてあるのは、過ぎたるは及ばざるが如しではないか。既に定山溪其者が自然の大公園だから、更に蛇足を添へる必要は有るまいと思はれる。

定山溪温泉の湧出量の多いことも、又特色の一つで、旅館は勿論、料理屋でも内湯を疏かない家は無く、千人風呂の如きは隨所にあるので、更に珍しともされぬのだが、冬季積雪多く、豊平川の水量が減じると、河中から噴出しつゝ、有る熱泉の爲に、水流全體が適度の湯加減となるから、是に北海道に於て寒中水泳が行はれ、大小無數の河童連中は冬季でも平氣で遊ぎまはれるわけだ。

又、錦橋附近の舟遊びも面白いが、奥の定山溪、則ち豊平峽の勝を探ることを忘れてはならぬ。温泉場の上流約一里半、水頗る清く、斷崖最も深き處に、白龍天に躍るが如き瀑布あり、深潭井の



圖の泳海中寒川平豊

如き底無谷あり、大爺松、傘松等、數里に互つて盡くるを知らない。そこには炭酸泉の湧出もあつて、人の來り飲むを待つてゐる。

中山驛は温泉の西北約四里、石狩、膽振、後志三國の國境の分水嶺で、蝦夷富士、樽前山を眼下に見、有珠、石狩、夕張の山々を雲際に望み、眺望の雄大殆んど極まる。

但し、此途中には北海道名物の熊なども往々出没するから、充分注意しなくてはならない。

名物土産物

舞茸、椎茸、鯉料理、胡桃餅。

泉質・效能

無色透明の鹽類を含む單純泉で、泉源の温度は八十四度、冷却して浴用に供す。慢性リウマチスに特效があり、肋膜炎、神経系統の諸病、婦人病、慢性皮膚病等にも效く。

尙、昭和元年温泉湯元町に創設されたラヂオカルク温泉は、腦神経系統、ヒステリー、リウマチス、骨折等に效く。

旅館・經費 定山園、元湯ホテル、鹿の湯クラブ、ラヂオカルク、翠明館、鐵道ホテル、高山旅館等あり、宿泊料一泊二圓乃至六圓。自炊貸間のある旅館では、室代一日一疊十錢の割、寢具一組三十錢乃至五十錢。定食は一食五十錢より。

藻岩温泉

(北海道札幌郡山鼻村)

札幌温泉

(同 藻岩村)

札幌驛から一里餘、山麓まで、電車自動車の便がある。

藻岩山は海拔五四三米(凡一、七九〇尺)札幌人士の常に遊びに行く處で、全山を蔽ふ自然の美林は、天然記念物として保護されてゐる。

山頂は展望開豁、新緑と紅葉との候には全山或は緑に或は紅に、春秋に於て全く概觀の趣きを變へる。冬はスキー場として知られて來た。藻岩温泉は藻岩山の登山口に當り、湯治場と云ふより

も、遊覽地的要素を多分に持つてゐる。

札幌温泉は、同山中腹の地に位し、札幌市を瞰下す。

浴室二個、外に薬湯と稱するものもある。屋外には子供の遊び場、温室等もあり、湯治場といった氣分の少ない處である。

泉質效能 いづれも冷鉱泉で、浴用加熱。貧血、腺病、子宮病等に效く。

旅館・經費 藻岩温泉旅館、札幌温泉旅館部。宿泊料一泊三圓内外、札幌温泉は貸間を主としてゐる。室料四疊半一日一圓半、十八疊五圓。

地藏鑛泉

小樽市の近郊鹽谷村に湧出するもので、さ、やかながら山屋といふ鑛泉旅館もある。然しそこでは、浴用としてよりも、薬用に供する目的で、鑛泉を賣出す方が主であるらしい。

幾春別温泉

(北海道空知郡幾春別炭山)

函館本線岩見澤驛で幌内線に乗換へ、幾春別驛で下車、驛から徒歩約十町。

幾春別川に沿ひたる紅葉の名所。川岸に湧出する冷泉を導き、加熱して浴用とする。浴舎は料亭を兼ね、設備も可なり整つて居る。

泉質效能 鹽類泉で浴用加熱。皮膚病に特效あり、胃腸病、神経痛、婦人病等にもよい。
旅館・經費 神泉閣。一泊二圓見當。自炊制もある。

洞爺湖温泉

(北海道虻田郡虻田村)

函館本線長萬部驛で長輪線に乗換へ、虻田驛に至り、更に洞爺湖電鐵に乗換へ終點洞爺湖驛下車(函館、虻田間、賃二圓二十二錢。虻田、洞爺湖間、賃四十錢。)
虻田から温泉迄直通自動車もある。賃五十錢。

車窓からは噴火灣の青波が眺められる。海を隔てた彼方には駒ヶ嶽が巍然と聳え、有珠嶽の赫い山骨がまざくと現はれて、往時の噴火の物凄さを思はせてゐる。電車が見晴まで登ると、ここ、に満々たる水をたへた洞爺湖の姿が眼前に現れて來るのだが、周圍を繞る山々の清新な姿、湖畔の白い樹膚がまづ眼に着く。

洞爺湖温泉は、電車終點から三四町、そこは洞爺湖の西南岸で、美しい静かな湖水は、繪のやうに湯の街の姿を浮べてゐる。

湖は周回九里二十七町、本道三景の一と謂はれ、眺望雄大、氣候溫和にして冬も凍結することなく、避暑に適してゐる。湖の周圍には丘陵性の連崗を繞り、南方近く聳える有珠の活火山は、常に噴煙を吐き、夫と對する様に遠く離れて膽振火山群の盟主後方羊蹄山（蝦夷富士）が其美しい姿を西北の空高くかゝけてゐる。

湖西に浮んで奇景を呈するのは珍小島、中央に秀峰の影を映するものは中島で、中島の前には觀音島あり、寛文年間、僧圓空が鉤で作つたといふ觀音像を安置す。これらの島々はいつれも白樺、板屋楓、サビタ等の鬱蒼たる針闊葉樹林を頂き、雄大な風光の中に繊細な點景を彩つてゐる。本來洞爺といふのは、アイヌ語のトーヤで、湖丘を意味する。

温泉はもと床丹温泉と云つたのを近時改稱したもので、大正六年の發見に係る。爾來明媚なる風光に惠まれた湖畔温泉として知られ、急速な發展を遂げたので、現在百戸程の部落には温泉旅館の外に十數戸の料亭もあり、賑かな湯街を形成して、湖畔温泉の情趣豊かなものがある。泉量は頗る豊富、汀を掘ればいくらでも湧いて出る。そしてよく温るのが特色とされる。

旅館の多くは湖岸にあつて、蝦夷富士を正面に望む好位置を占め、設備は相當によい、水に臨んだ浴場からは、長い釣竿に綸を結んで鉤を垂れ、名物の姫鱒などが釣れる。姫鱒の外に湖水には魚族が多い。釣魚は浴客の大きい喜びとする處だが、湖上周遊の爲にはモーターボートも設備してある。

有珠山の裂罅、斷層、流泥の跡等を眺めながら、東南岸の壯瞥に渡れば、高さ六十尺、幅二十四尺の大瀧が倒まに湖水に流れ込む壯觀に接し得られる。有珠登山も亦洞爺湖遊覽の目的でなければならぬ。

名物 雨鱒、栗羊羹、チップ煎餅、姫鱒、ウゴイ等。

泉質效能

硫黄分を含む鹽類泉で東京衛生試験所の調査によれば、溫度五十三度、含有成分は左の如し。

クローリルカリウム	〇、一四二四	クローリルナトリウム	二、一九六九
硫酸ナトリウム	〇、一九〇八	硫酸カルシウム	〇、四六〇四
重炭酸カルシウム	〇、二七〇五	重炭酸マグネシウム	〇、二三八三
重炭酸亞酸化鐵	〇、〇〇〇六	重炭酸亞酸化マンガン	〇、〇一五五
遊離炭酸	〇、〇一七二	硅酸	〇、一三五七

特效は外傷諸障害、慢性筋及び關節リウマチス、中腦及び末梢性麻痺、胃腸病、腺病等。

旅館・經費

洞爺湖温泉ホテル、一號館、昭和館、元湯ホテル、望羊館、丸大旅館、中央館、温泉クラブ等、いづれも内湯旅館でその他新築中の者もある。宿泊料一泊一圓半乃至三圓。學生團體及び小學生は三食付一圓、中學生一圓半、自炊は一日一圓内外。

主は蝦夷富士、妾は湖水

朝な夕なの語らひも

風が邪魔して仇波立て、

燃ゆる思ひは有珠が嶽

(江差追分節)

幡溪温泉

(北海道有珠郡壯瞥村バンケ)

長輪線長流驛から五里餘、自動車の便がある。

洞爺湖温泉から長流川沿ひの道を、馬の背によつて行くことも出来る。浴舎は川岸にあつて極めて閑靜、涼々たる清流に紅葉の照り映える眺めは、天も地も紅にせねば已むまじく見える。

背後の幌別嶽を超えて、カル、ス温泉に通ずる道路が完成された曉には、登別温泉と洞爺湖温泉との連絡も出来、幡溪は其中心地點となるから、或ひは漁夫の利を占めて、意外な大發展を來すであらう。

名物

山葵粕漬、やまめの焼干。

泉質效能

無色透明の單純泉で、温度六十度。慢性胃腸病、婦人病、關節疾患等に特效がある。

旅館・經費

飯野旅館一戸、内湯あり。宿泊料一泊一圓半乃至二圓。

辨慶温泉

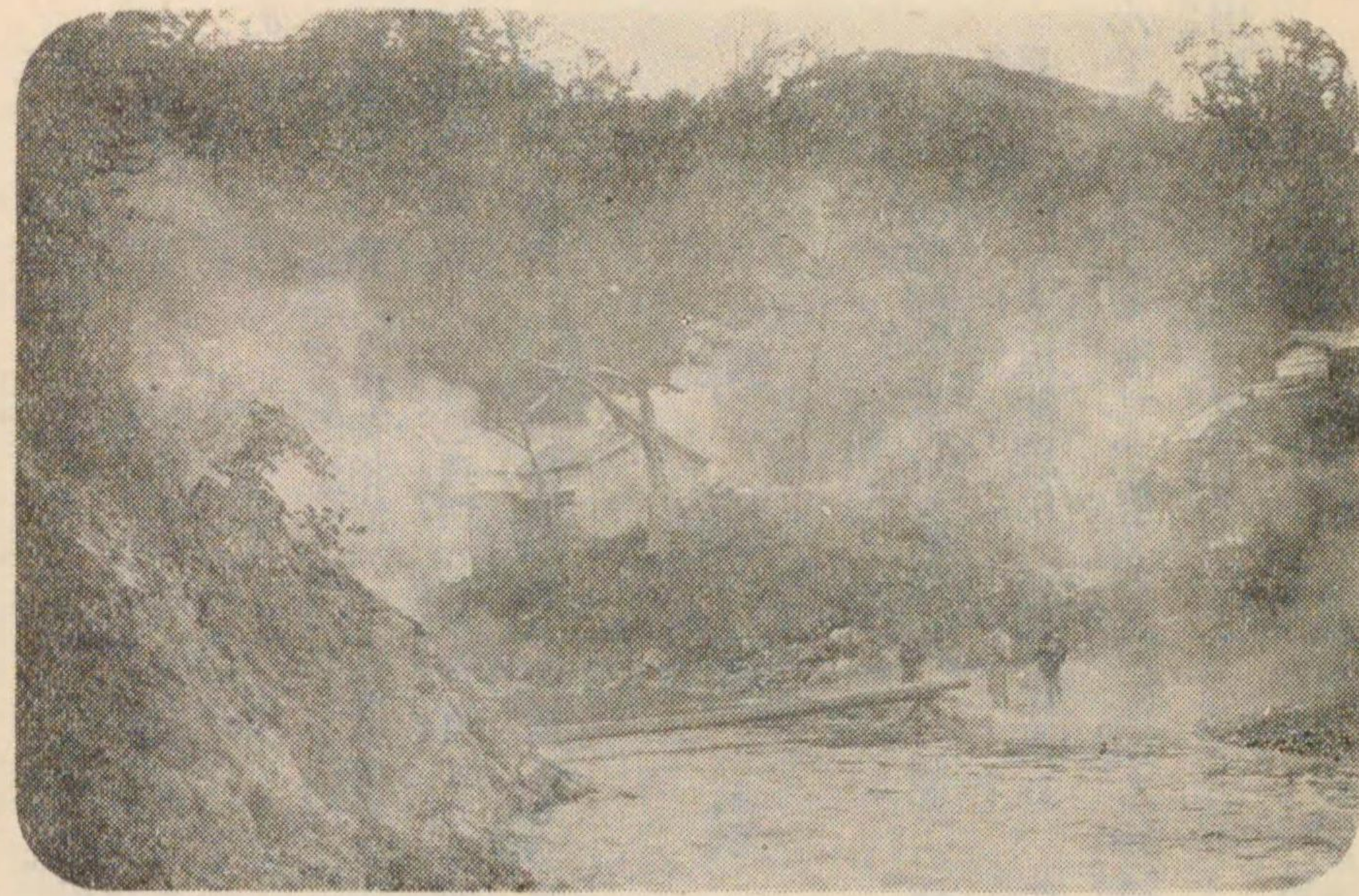
(北海道有珠郡壯瞥村辨慶)

長輪線長流驛より約五里、自動車の便がある。

長流川の支流辨慶川の谷間にあり、谿谷の森林は太古其儘の處女林で極めて幽邃、樹は益と壯んで、石は益と瘦せ、嵐光翠微に透る勝區である。明治十二年の發見で、現在浴舎二戸。幌別硫黄山は、温泉から一里半。

泉質效能

無色透明の單純泉で、温度五十度、皮膚病、肋膜炎、神經系統の諸疾患に效く。



德舜管温泉

旅館・經費 小谷旅館、作間旅館。宿泊料一泊一圓半乃至二圓。

德舜管温泉

(北海道有珠郡德舜管村)

長輪線長流驛より六里、自動車の便あり。

幡溪温泉から、更に長流川の溪流を溯ること一里、德舜管山の西麓カバユサンナイにある、四圍の環境は寂靜の限りを盡し、人語も無く鳥聲も聞えない療養地としては無類の別天地である。上流四里、三階瀧の勝を探り、縷々たる雲の糸の谿より湧きて、我と後先するを味ふも一興である。

泉質效能 泉温六十九度の鹽類泉で、リウマチ

ス、腺病、婦人病、貧血等によい。

旅館・經費 横山、向山の二旅館がある。一泊一圓半、自炊なら一日七十錢見當。

登別温泉

(北海道幌別郡幌別村登別)

室蘭線登別驛で登別温泉軌道に乗換へ、登別温泉驛下車(函館、登別温泉驛間、約七時間半、賃三圓三十錢)▼別途室蘭港から船に依れば登別驛まで賃四十錢。

登別温泉は臺灣の北投温泉と相對して、南北の兩大關と云はれる。又、別府が九州の温泉の都なら、登別は北海道の湯の都だと、土地自慢が誇る程、驚くべき豊富な湧出量と、多種多様な泉質とを有し、剩さへ景勝の秀絶に加ふるに、設備の完璧を以てし、内地人をして羨望せしむるのだ。

是に遊ぶには、普通は春から秋にかけてが一番によいとされて居る。萬葉の櫻、鬱蒼たる綠蔭、満山の紅葉といった景物のある時期を選ぶことも、勿論悪い筈はない、然し本當に北海道の北海道らしい温泉情調を味ふには、冬季が一番である、土地の者は盛んに力説するが、吾人をして言はしむれば、登別に季節は無い、何時訪れてもよい處で、その邊、別府に酷似してゐる。

登別驛と温泉驛との間には紅葉谷の勝がある。右手に太平洋の縹渺たる海波に接し、左方大原野に放牧された牛馬の群を指さす雄大なる眺鷹は、北海道ならでは見る事が出来まい。

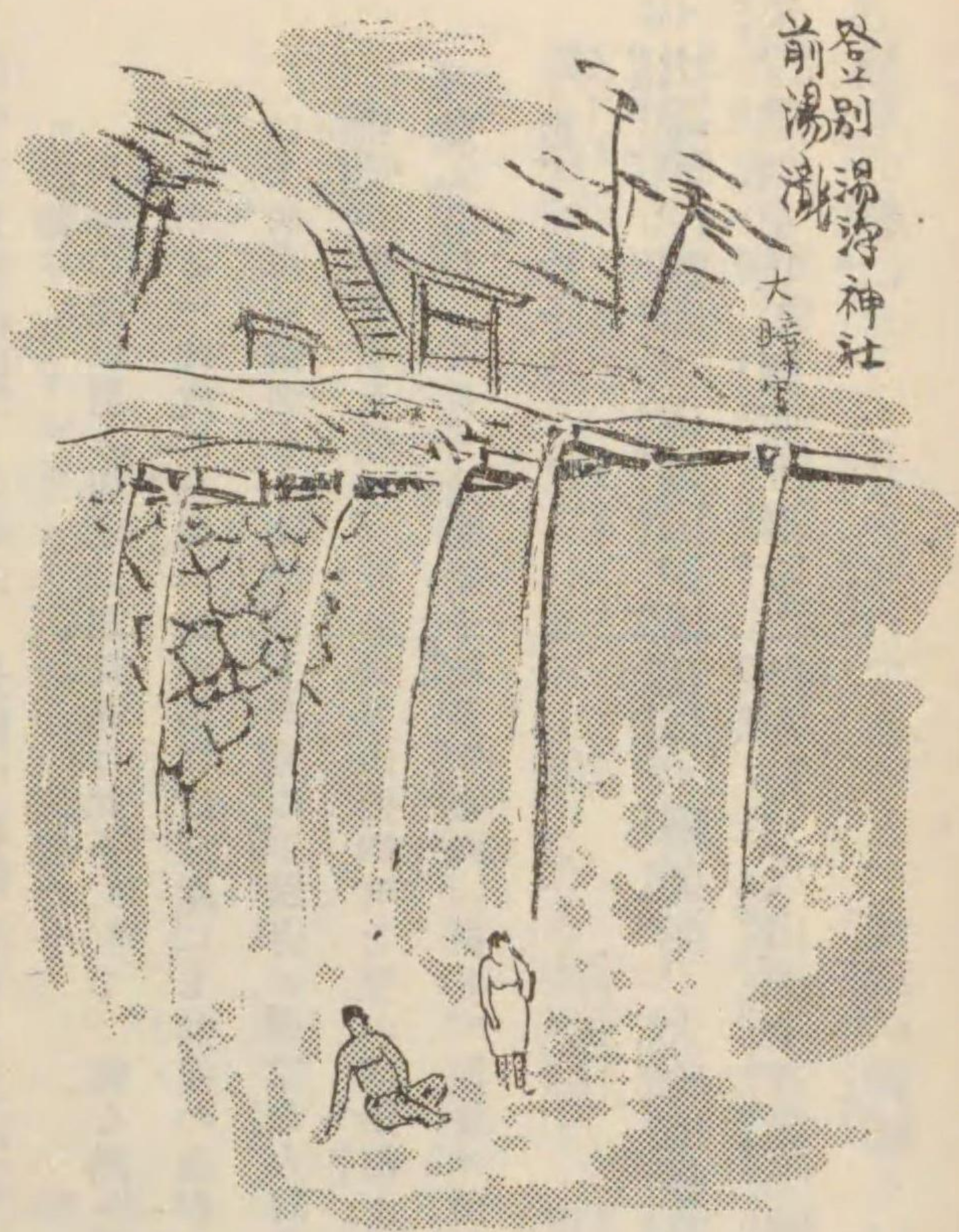
湯町のあるのは海拔二〇〇米(六六〇尺)さまで高いといふわけではないが、峰巒四周を繞り、翠影樓を罩むるといつた閑寂境で、北方には日和山が悠々と煙を吐いてゐる。

温泉は一帯の溪谷中又は削壁岩罅の間から、或は河畔に湖邊に弗々として噴湧し、白煙濛晦四邊を封じて、急湍となつては雷撲の響を立て、静泉となつては淙々の囁きを交す、町は此クスリサン

ベツ川(アイヌ語で湯の流れる川の意)の兩岸にあつて戸數二百戸ばかり、旅館は何れも文化的設備をなせる大厦高樓で、山を負ひ、川に臨み、景勝の地を擅まにする。旗亭、商家はその間に介在し、脂粉の香を漂はせる。

クスリサンベツ川は湯澤神社の麓に架る橋下から、直ちに斷床を現はし、丈餘の瀑布となるのだが、濛々たる白煙をあけて落下する湯瀧の壯觀には啞然として嘆賞の辭さへ出ない。其他十數條の湯瀧は浴客の浴びるに委せ、心身忽ちに羽化登仙の思ひあらしめる。その他、外湯(共同浴場)として知られてゐるのは、鹽湯、萬壽湯、大川湯、千齡湯(千人風呂)等で、是等はいづれも大浴槽に漫々たる温泉を湛へてゐるが、各湯其泉質を異にした浴槽を持ち、鹽類泉もあれば綠礬泉もある。

登別湯澤神社 前湯瀧



硫黄泉、鐵礦泉、ラヂウム泉、カル、ス泉等、あらゆる泉質を網羅し、温泉の展覽會を見る觀がある。

この豊富な湧出量と、この多種多様な泉質だけでも、登別温泉は天下の珍だ。その上、浴場、旅館等の設備に於ても、殆んど間然するところがないから、北海道人士が「内地にもこれ位スケールの大きい温泉場はないだらう」と常に得意の鼻をうごめかすのも無理はない。

ヌプリベツ(登別)はアイヌ語で濁つた川の義である。温泉が川に注いで濁つてゐることから来たものだ。この温泉が発見された年代に關しては種々の説があるが「史を按ずるに安政五年四月箱館奉行村垣淡路守範正此の地を視察し川中に湯治せりと傳ふ、同年武藏國の住人瀧本金藏住す、之れ同温泉の開祖なり(膽振大觀)」とあるを信すべきであらう。湯元瀧本館主人はこの人の後裔だと

云ふ。明治の中葉、馬車が通ふ頃迄は、アイヌ人の方が多い位で冬になると浴舎を閉ちて引上げるやうな湯場だった。それが今では全道の名所となり、やがては世界的な温泉場とならんとしつゝある。

附近名所としては先づ指を地獄谷の奇観に屈せねばならぬ、そこは市街を離るゝこと僅かに數町、元爆裂火口群の跡であるが、景觀の壯絶なることは辭の加ふべきを知らない。

白樺の山は眉と對し、胡枝花は脚下に咲く。露を踏み分け湯の川に沿うて五町登れば硫黄の氣は鼻を衝いて来る。此處に熱泥の池があれば彼處にも熱泥の池がある。いづれも非常の勢で噴きあげつゝある。云はゞ阿蘇の御池を小規模にしたもの、別府の地獄を大規模にしたものだ。しかも脚下の地、半は硫黄にて靴底の熱するを覺ゆ。此れより山徑四町を登れば湯沼だ。即ち周圍七町の熱湯の池だ。池中隨所に熱泥を噴き出して居る。池底幾十尋を知らぬ、而して池邊の山間よりは、濛々たる瓦斯を噴き出し、煙となりて散じてゐる……

(徳富蘇峰)

大地獄、龍卷、虎地獄、湯花畑、鐵泉池、大砲地獄等は地獄谷中殊に凄壯な場所、その他、熱湯、熱烟を吐く個所は無數に散在し、火山學上有數の勝地となつてゐる。

熱泉の響にジツと耳を傾けてゐると、地底の神祕といふやうなものがしみぐと感ぜられるので

ある。

尙、その北方、日和山、追分山には、ガンコウラン、イソツ、ジ、シラタマノキ等多く、湯の川の上流勝鬨の瀧あたり迄探勝の杖を進めるのもよからう。

倶多樂湖は温泉の東方一里の山間にある火口湖で、周圍二里五町、姫鱒を産す。

泉質效能

多種多様の泉質泉温を有してゐることは前記の如くなれど、『瀧の湯』は硫黄泉にして含有成分左の如し。

分析表

登別村温泉山間湧出(瀧の湯)

クロールナトリウム	〇、一二三〇	硫酸カリウム	〇、〇四八一
硫酸ナトリウム	〇、三〇五八	硫酸カルチウム	〇、二四〇四
硫酸マグネシウム	〇、〇四八一	硫酸亞酸化鐵	〇、〇七七九
硫酸アルミニウム	〇、一四一五	硅酸(メタ)	〇、一七九一

(内務省東京衛生試験所調)

婦人病、リウマチス、榮養不良等に特效がある。

『鹽の湯』は、名の如く鹽類泉で、その含有成分は左の如し。

分析表

登別村字温泉場(鹽湯)

クロールカリウム	〇、一八一六九	クロールナトリウム	三、〇一一二二
クロールアムモニウム	〇、〇〇五二四	クロールカルチウム	〇、八一〇六五

重碳酸カルチウム	〇、一四四五	重碳酸マグネシウム	〇、一二八三一
重碳酸亜酸化鐵	〇、〇〇〇八六	硼酸(メタ)	〇、〇〇〇一一四
硅酸(メタ)	〇、二五六〇五		

(内務省東京衛生試験所調)

慢性婦人病、呼吸器病、皮膚病等に特效がある。

尙、『萬壽湯』は單純泉でラヂウムを含有し、關節リウマチス、濕疹、ヒステリー、脊髓病に特效あり、

『千齡湯』には鹽類泉と鐵鑛泉の二種あつて、鹽類泉の效能は前記『鹽湯』と大差なく、鐵鑛泉は、貧血、

腺病、月經異常、外傷等に特效がある。『目の湯』は特にノボセ眼によい。『大川湯』は鹽類泉で、子宮病、

神經痛、脂肪過多症に特效がある。

旅館・經費

第一瀧本、第二瀧本、湯の瀧、河田、瀧見、八子、九州屋、旭、秋吉、秋田、さぬきや、菅原、紅葉、五色湯、みやぎ、星見各旅館の外、鐵道療養所、日本製鋼療養所等が有り、いづれも設備のよく整つた内湯を有して居る。

宿泊料は一定してゐないが、大體一泊二圓乃至六圓見當である。参考に瀧本館の規定を擧げてみると、

一泊二圓半乃至四圓半、中餐はその半額となつてゐる。

自炊は賄湯錢で五十錢、室代五十錢乃至七十錢、寢具、薪炭實費のこと。但し夜具持參なら一日滞在費用一圓乃至一圓三十錢位。

カル、ス溫泉

(北海道幌別郡幌別村)

前記登別溫泉驛の西北二里。自動車、三十分、賃七十錢。

海拔三三三三米餘(一、一〇〇尺)、登別川上流溪間の別天地で、西に來馬、北に登別の峻嶺を仰

ぎ青巒四周、浴場は溪崖の岩盤を穿つて浴槽を構へてある。

旅館は四戸あるが、『溫泉の效能は泉源に於て浴するを以て最上とす』といふのがカル、ス溫泉主

の意見なる爲、内湯を疏くことを許されてゐない。浴場の周圍は鬱蒼たる樹林で、閑寂を極め、自

然の風光にひたりながら入浴するのである。又、自然に接するのが療養上極めて有効だと云ふので

溫泉場から一眸の裡に收め得られる山林地帯の樹木は、一切伐採を禁じてゐる。

明治十九年、日野久橘氏が屯田兵用地調査の爲この地を過ぎて溫泉を發見し、浴場を開設したの

が明治三十一年以來のことだが、精神病に極めてよく特色のある湯治場として知られてゐる。カル

ルス溫泉と稱するのは、チエツコスロバキヤのカル、ス溫泉と其泉質を同じくしてゐる爲だと云ふ

事だ。

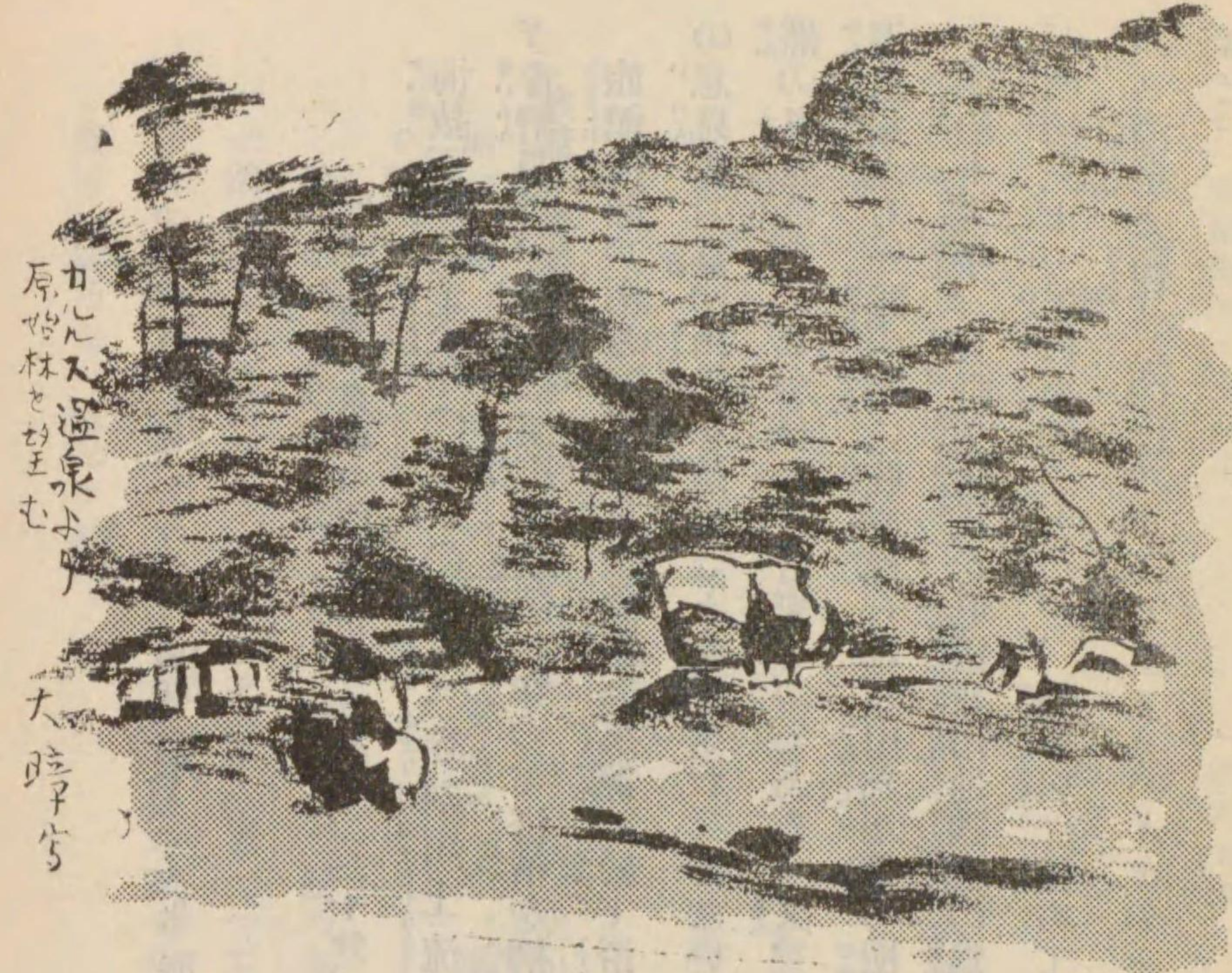
白老嶽の山麓にある閑静な湯治場である。
 周囲は密樹蔚蒼尙暗きまでに生ひ繁り、雲霧常に蓬勃として居る。
 白老村のアイヌ部落は白老驛を隔る七町の地にある。アイヌの種族は漸く減少して、目下本道中、上川地方と日高地方の一部を除けば、此白老村のコタン（部落）以外には集團生活を営んでゐる處は殆んどない。現在戸數八十餘戸、人口四百餘、多くは漁農に従事してゐる。

泉質效能 無色透明、無臭の單純泉で溫度四十度。外傷、神經系諸病、癩病に特效がある。

旅館・經費 沖野旅館。内湯あり、宿泊料一泊三食付一圓半。

鶴の温泉

（北海道勇拂郡安平村早來湯ノ澤）



カルス温泉の入口
大正十一年

カスル温泉入口

附近錦の瀧は高さ二十五尺、その先十町の所にある橋湖には鯉を産出する。尙、健脚の士はこゝから一里餘、登別嶽（約一、〇〇〇米）の山頂にお花鳥の美を探るべきである。

名物 カル、ス煎餅、樂郷餡、名勝焼。

泉質效能 泉温六十度の單純泉で、腦神經諸病、ヒステリーに特效あり、故に、函館邊では神經衰弱の人をカル、ス病などと云ふさうだ。その他、春髓癆、腺病、婦人病、火傷、創傷等に效く。

旅館・經費 岩井、鈴木、久住、かめやの四旅館あり、宿泊料一泊三食付二圓乃至四圓半、自炊滞在費一圓二十錢見當、湯錢は一日二十錢。

沖野温泉

（北海道白老郡白老村御料地内）

室蘭線白老驛の西北四里、徒歩。

室蘭線早來驛の西南十六町、自動車、賃八錢（室蘭、早來間、賃一圓三十八錢）。沼澤を前にし、東南を繞る小丘には、櫻や躑躅などを植ゑてゐる。

明治三十五年の開湯で、往時、一羽の鶴が舞ひさがつて鑛泉の湧出を知らせたのだと云ふ。沼に産する鯉のあらひはこゝの名物として、舌を鼓たしめる。千古の雪を頂く夕張嶽を東に仰ぎ、樽前山の噴煙を西方に望む風景は、浴客の目を新たにせしむる雄大さがある。

泉質效能

鹽類性硫酸冷泉で浴用加熱。皮膚病、胃腸病、性病等に特效がある。

旅館・經費

遊仙館（内湯あり）。一泊一圓八十錢乃至三圓、自炊一日一圓内外。

幌加温泉

（北海道千歳郡千歳村幌加）

室蘭線追分驛から三十町、馬車、賃一圓。

嘗て、附近に鶴が多く棲んでゐたので千歳村と稱へた。幌加温泉は馬追沼に近く、南方遙かに樽前山を望み、冬季は鳥類が群を成してやつて來る。又、沼には多く鯉、鮒等を産出するので、釣魚によし、狩獵によしと云つた湯場である。

泉質效能

低温の鹽類泉で浴用加熱。脚氣、肋膜炎、婦人病等に特效がある。

旅館・經費

明石館。宿泊料一泊一圓乃至二圓半。自炊滞在費一日八十五錢。

丸駒温泉

（北海道千歳郡惠庭村御料林内）

室蘭本線苦小牧驛下車、それより王子製紙専用軌道に便乗して支笏湖畔に出で、温泉迄三里陸路を取るか、湖上一里十町モーターボートに依る（船賃一圓半）。

惠庭嶽の麓、支笏湖の北岸にあり、湖水を隔て、フツブシヌブリ、樽前山の秀麗なる山容を望む。温泉は湖底より湧出し、浴舎の設けられたのは近年のことに屬すから、設備の點に於ては未だ整つてゐるとは云へない。しかし俗寮のないのが此湯の誇りである。一軒しかない旅舎の傍には、丸木舟などが纜れてゐる、客があれば川チツボ（姫鱒）やザリ蟹を捕つて來て食膳を賑はせる。ザリ蟹と云ふのは蝦の胴體に蟹の鉗を付けたやうな動物で、それを焼いて食ふ、こゝでは唯一の御馳走である。

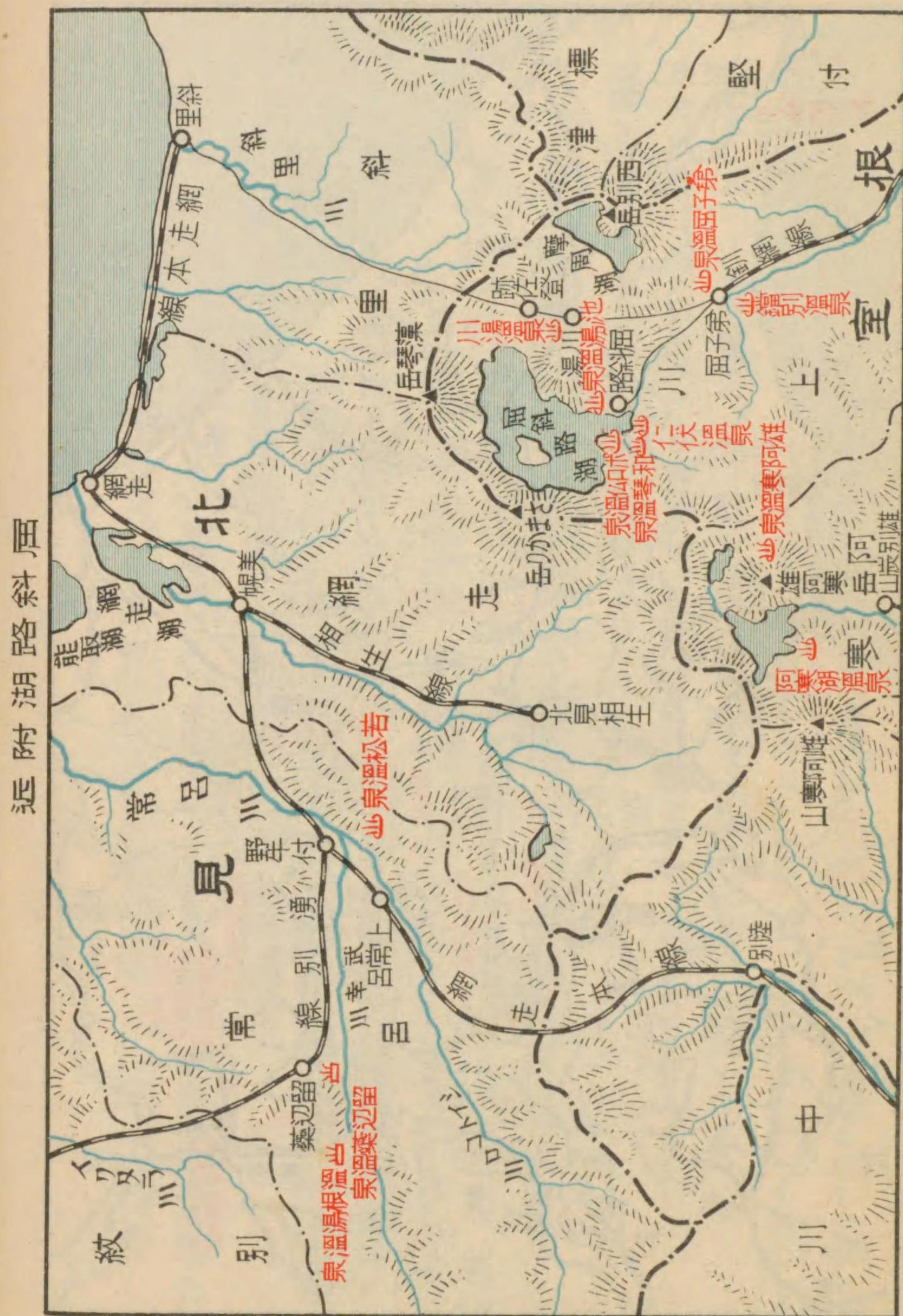
支笏湖は、膽振國の北方、惠庭、漁、樽前、風不死等の火山群に抱れた陥没湖で、餘り知られて

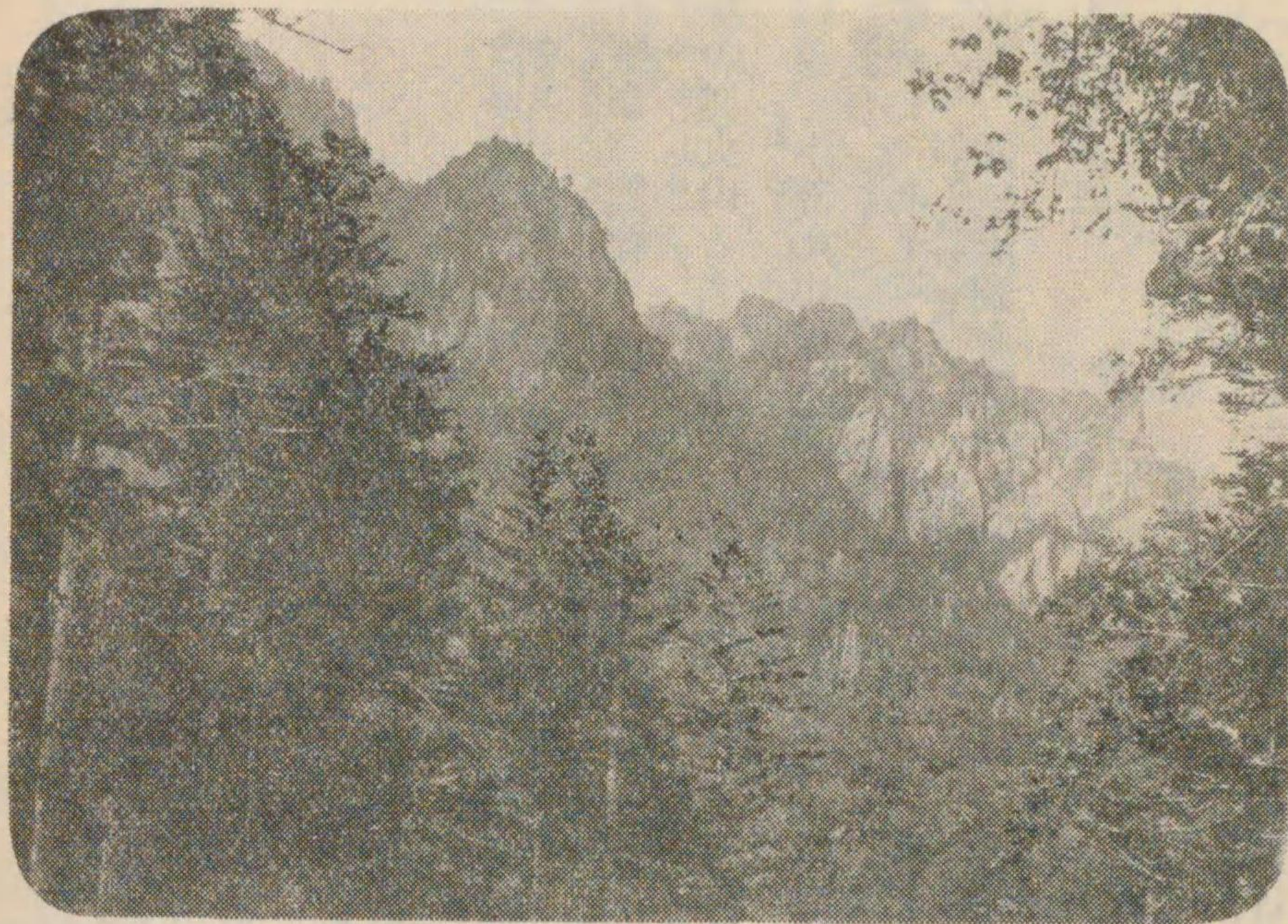
旭川市街の東南に巍然として雲表に聳える靈峯こそ本道第一の高峯大雪火山彙である。大雪山、北嶺嶽、旭嶽、後旭嶽、白雲嶽、小泉嶽、烏帽子嶽、黒嶽、凌雲嶽、永山嶽等十座の火山群と數座の側火山とより成り、中腹千五百米を境として、それから上部は高山地帯で華麗なお花島で蔽はれ、下部の山麓一帯の地は千古斧鉞を入れない原始林を以て鬱密されてゐる。是等火山の多くは噴火口を有し、旭嶽の如く現に濛々たる噴煙をあけるものもあり、或は不滅の雪溪、萬年の雪田を存し、或は沼湖を抱き、山容頗る雄大、且溪谷の深いことに於ては、遙かに黒部大峽谷を凌駕するものがある。

層雲峽と云ふのは、實にその大雪山彙の北側黒嶽と、その北東に屹立するニセイカウシユベ山（一、八七八米、約六、二〇〇尺）との裾合に、太古以來秘められた大峽谷である。其處は石狩川

層雲峽

層雲峽及び其附近の諸温泉





層雲峽

の上流百里餘、石狩水源を成す奥山盆地の關門に當り、層雲別の部落より約二里、鹽谷溫泉から更に三里に亙る山峽の謂である。石狩川の流は層雲別の部落端から三十町、二十町と次第に川幅を迫め、それと反比例して兩岸の嶂壁は次第に高さを加へ、鹽谷溫泉附近に於て既に懸崖十數丈、岩頭多くは蝦夷松、榎松の翠綠、楓樹の紅、檜林の淡黄に彩られ、岩脚又千紫萬紅の美を見せてゐる。殊に峽中最も奇を極めるのは、その先約三里の間で、潮るに従つて幽玄神秘の靈域は益々深く、宛然屏風を立て廻したやうな流紋岩の大絶壁は、平板削り成す三千尺、懸くるに銀河流星等數條の大飛瀑を以てし、川は潭と瀬と相次いで衝激し、或は

吹雪を飛ばすかと思へば、忽ち死の底のやうな深淵となる。此岩石の妙は大函、小函に到つて、るが、神秘的な自然の大彫刻は、日本無雙の偉觀で、將來廣く内外人に觀賞せらるべき國際的大風景である。

嘗て、大町桂月氏が始めて此地を訪れ、其奇抜にして雄偉な風光に打たれ、只神業であると激賞し、携へたるブランデーを傾けつくして山靈に謝した。そして『この無雙の神秘境に未だ名あるを聞かず、層雲別の部落より取りて層雲峽と命名したる也』と云つてゐるが、翁は其以前、既に石狩上流開拓の恩人太田某がこの勝景を探り、靈山碧水溪と命名し、時の鐵道院總裁後藤新平伯に『靈山碧水冠天下』と揮毫させたの知らなかつたらしい。今でも靈山碧水峽と呼ぶ人もある。

大函小函の小石でさへも——トコセ 淵にや沈んで 瀬にや流される
ハチヨイトサ トコ。層雲峽。ヨイヤ マーダ リヤンリヤトセ
浮世なりやこそあきらめしやんせ——トコセ 悋氣せぬもの 戀アせまいもの (層雲峽小唄より)

層雲峽の溫泉

(北海道上川郡上川村層雲別)

鹽谷温泉——登仙閣温泉——國澤温泉——飯田温泉

宗谷本線新旭川驛で石北西線に乗換へ上川驛下車(旭川、上川間、賃七十七錢)。上川驛から約五里、自動車の便がある。

近頃まで途中に熊が出没した話などを聞いたが、今では自動車が行き通じている。石狩川の流れる路の一曲一折毎に變幻極まりない溪谷美を示し、神代のまゝの保安林には、白樺の大木が處々に雪白の樹皮を見せ、木陰には山蔭が傘程の葉を廣げてゐるのも蝦夷地氣分がする。

飯田、國澤、登仙閣三温泉は川の右岸、鹽谷温泉及び第七師團療養所はその上流約十町の左岸にある。

此邊は海拔六〇〇米餘(約二、〇〇〇尺)の高地で、いづれも鬱鬱たる原始林を負ひ、南方眼近に大雪火山彙の連峰を仰ぎ、ニセイカウシユベ山の岬々たる山嶺は北方高く蒼穹に聳えてゐる。しかも、石狩川の兩岸は柱狀節理を成せる流紋岩の大絶壁を成し、景觀の壯大なる點に於ては日本アルプスの上高地に似て、しかもそれよりは遙かに雄大である。

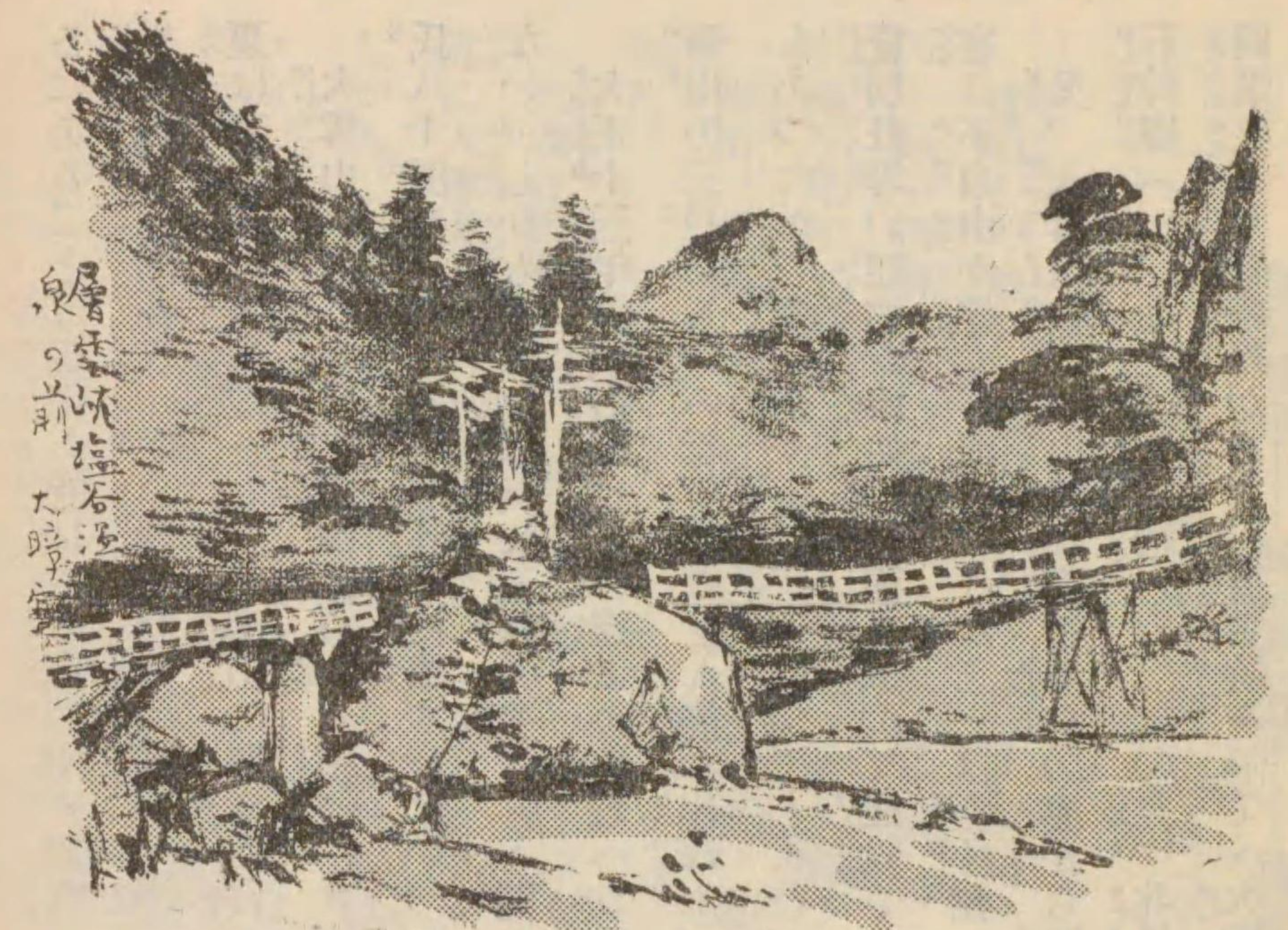
層雲峽はこの温泉附近を入口として、幽玄神祕の一大繪巻物を展開するのだが、此神祕境は此等の温泉あることに依つて、其探勝價値を數倍し、又、温泉の存在理由は、層雲峽探勝の策源地に

るにあることは否定し能はざる處、兩々相俟つて始めて意義をなすのだ。此處を訪れるには、山櫻、岩躑躅、石南花等が咲き誇る晩春の候か、満溪錦繡に彩られる秋晩の頃がよいとされてはゐるが、夏は理想的の避暑地として、満山の蒼翠に浸るべきである。

大雪山の頂から萬年雪を掠め來る積氣、オゾンを含む清澄な空氣、爛たる紫外線に富む日光、華氏八十度を昇らざる氣温等、枚擧すればいづれも絶好の銷夏條件、療養の樂土たるを證せざるはない。しかも近時は意氣な三味の音なども聞かれる。

大正十三年の頃迄は、この邊より奥地へかけて十七里、人家と云つてはこの温泉に鹽谷、國澤、飯田の三戸あるのみで、夜なく熊が出没し、屋根を破つては乾岩魚等を盗みに來たと云ふ様な話もあつたが、今は全く昔話となつてしまひ、鹽谷温泉の三層樓、七師團の療養所を始め、各旅館貸別荘等の建物が原始的景觀を破つて建設され、水道、電氣、娛樂場の設備も出來てゐるから、浴客に不自由を感じさせるやうなことは全く無い。夏負けの人等には最も喜ばれてよい温泉場だ。

又、大雪山彙の登山路は鹽谷温泉の裏から開け、黒嶽を経て主峯大雪山頂迄一里二十三町、尙、石狩嶽(一、九三二米、約六、三七〇尺)北見嶽(一、八七六米、約六、二〇〇尺)等の諸峯へも同温泉より登攀路があり、層雲峽を隔て、大雪山彙と相對峙し、恰も奥山盆地の關門を爲すニセイ



カウシユベ山は温泉發電所裏から、尾根傳ひに山頂を極めることが出来る。いづれも途中にお花島、雪田、雪溪、湖沼等の美觀があり、更に森林帯の原始的なるは登山家の最も満足する處で、廣大にして鬱蒼たる渾玉の林相は、我邦稀に見る處である。且地形にも變化多く、現在噴煙を吐く火孔、火口湖、熔岩流、温泉、濕原、泥炭沼野等の地形的變化は、學術上研究資料の山積である。

但し登山季節は六月下旬より十月月上旬迄の短期間に限られ、又、案内人を必要とする。温泉の傳説として口碑に傳へられるものは、本道が未だアイヌ種族の勢力範圍に屬してゐた頃のこと、激烈な天然痘が流行り、患者は續々

として斃れた。アイヌ達は之を以て神罰と考へ、大いに恐れ戦いたが、元より手の施しやうもなかつた。

その時、誰いふとなく、層雲別の山奥にある湯こそ、神様の裾から湧き出るもので、吾等の救ひ主であるといつて、續々として其不思議な湯を探ねに石狩川を溯つたものだ。そして、今の鹽谷温泉に集つて入浴し、危く命拾ひしたのである。その神様とは峽谷を挟んで對峙する二座の神山の事で、ヌタクカムシユベ山を男神、ニセイカウシユベ山を女神と崇め、この二種の神はその山裾から薬湯を滲出して、無限の慈悲を垂れ給ふものと信じられた。

處が、後にはこの神様のお恵を慕つて、熊、鹿、狐等の獸類まで蝟集し來り、靈泉地帯を我物顔に遊び戯れたが、その中、熊は鮭や鱒等よりは鹿の肉の方が滋養に富むとでも考へたか、先づ鹿を襲つて其肉を啖つた。アイヌは散亂した鹿の角を拾つて、始めの中は、これも神様の御授けだらう位に有難がつてゐたが、熊が鹿を殺す處を目撃して悟つた。此處で狩獵をやつても、神様に怒られることはあるまい」と。そして今度は大擧して熊狩、鹿狩を行ひ、神のお授けと稱して肉は食して生活の糧となし、皮は丸木舟に積んで石狩下流の地に賣りに出た。恚した事が毎年繰り返されるやうになつたので、慈悲深い女神は默視出來ない、即ち部下の神々をお花島の神苑に會して善後策を

講ずることゝされた。

だが、神々と雖ども、人間の生活には多分の理解を持つて居る。『あれは生存競争の理法に従つてゐるんですからねえ』と一方で云ひ出すと、他方では『さうですよ、凡人は吾々の様に霞を食ひ露を吸ふだけぢや生きてゐられませんか』と雷同する。『人間も深刻な食糧難に直面してゐる今日、生きんが爲には他の生きてゐる者を殺すのも已むを得ずまい』などと甲論乙駁、結局ベルサイユ會議みたいの有耶無耶の内に會議を閉ぢた。之が因で女神は竟に病に罹られたので、夫以來温泉の湧出量も昔程ではなくなつた。そして、自分の意見に反對した神々に交通遮断を宣告し、大峽谷を造つてしまつた、夫が今の層雲峽の斷崖だ。ニセイとは峻嶮といふ語である。

併し、ニセイカウシユペ山とヌタクカムシユペ山二柱の神々は、人間を愛される御心には變りなく、態々川の真中に大石を横へて交通路とし、幾萬年後の現在でも温泉の湧出を止めないでゐる。

名物土産物

木工品、登山館、露、薇、山女、岩魚。

泉質效能

鹽谷温泉は泉源に於て七〇度乃至九三度の鹽類泉で、ラヂウム・エマナチオンの放射能も多く、外科諸症、貧血、消化器病、結核性諸症、皮膚病、花柳病に效く。國澤温泉は鐵泉と炭酸泉の二種あるも稍々微温、飯田温泉は鐵泉にして浴用加熱。その效能に於ては鹽谷温泉と大差はない。特に夏負け

の人にはよいさうだ。

旅館・經費

層雲閣、蓬萊閣（鹽谷）、登山閣、國澤温泉、飯田温泉等の旅館あり。鹽谷の方は一泊二圓五十錢乃至四圓。自炊は一日間代湯錢で五十錢。内湯五、外湯三つある。登山閣、國澤、飯田の方は一泊二圓半乃至三圓、中食一圓乃至一圓二十錢。自炊一日七十錢乃至一圓。

松山温泉

（北海道上川郡東川村アイシポツプ）

旭川市より旭川電鐵に乗り終點東川驛下車（旭川、東川間、約一時間、賃三十五錢）、驛より約六里の地點にあり、途中二里自動車の便がある、賃五十錢。その先、徒歩。

層雲峽と並び稱される勝仙峽の入口にあつて、大雪山稜登山者の準備地の觀を呈してゐる處だ。

松の湯、越の湯、岩の湯、鶴の湯等の浴場は、東川村の東端、アイシポプ川の岸にあつて、人人の入浴に委せてあるのだが、巖を咬む激流、崖壁より奔下する飛泉などを眺めながら、湯に浸る氣持は清爽限りない。

浴舎の設備等は未だ完備してゐるとは云へないが、しかし不自由を感じさせざるやうなことはなない。附近には羽衣の瀧、敷島の瀧、地藏岩等の景勝あり、瀧の瀬十八町は新大函と共に、谿谷に天工

の美を施せる天下の奇景で、殊に秋は満山満溪の紅葉に一入の美観を添へ、僻陬の地に置くには餘りに勿體ない眺である。

大雪山、旭嶽、白雲嶽、烏帽子嶽等の諸火山登山路は、松山温泉を中心として開けてゐる。中でも旭嶽登山路は、頂上近くに於て、鹽谷温泉口よりする登山路と相會し、縦走路となつて相連絡してゐる。このコースは頗る壯快ではあるが、案内者を頼む方が安全だ。登山期は七月上旬より九月まで。

泉質效能 泉温四十四度の炭酸鐵泉で、胃腸病、リウマチスには特效がある。

旅館・經費 松山温泉、驛遞所の二棟あり。宿泊料一泊三食付一圓半。自炊伺ひ制による滞在費は一日約五十錢位。

鹽狩温泉 (北海道上川郡和寒村)

宗谷本線鹽狩驛から三町、同驛の構内にある。

天鹽、石狩の國境、海拔二七〇米(凡九〇〇尺)の地を占め、大雪山彙の靈峰を遙か右方に仰ぐ。

大正十五年の開湯で、設備は相當に整つてゐる。泉源地は昔、妙見様が牛に水を飲ませた跡だと云ふ傳説がある。その妙見様を祀る夫婦岩の奇勝は、温泉の西約十町、名物には椎茸がある。

泉質效能 酸性の冷鐵泉で浴用加熱。ヒステリー、神経痛、産前産後の病によい。
旅館・經費 鹽狩旅館。内湯あり、一泊三食付一圓半乃至二圓。自炊室料一日四十錢、三食四十五錢。

吹上温泉 (北海道空知郡上富良野村)

函館本線旭川驛で富良野線に乗換へ、上富良野驛で下車(旭川、上富良野間、賃六十三錢)、それより温泉迄四里、途中二里半、中茶屋迄自動車の便がある。賃七十五錢。冬季は温泉迄直道の馬樞がある、賃二圓。

十勝嶽の中腹海拔約一公里(約三、三〇〇尺)の地點にあり。大正十五年同山爆發の際流出せる凄壯な泥流の跡を東方に望み、西方、富良野平野を一眸の裡に瞰下する。更に仰げば十勝嶽の噴煙天に沖し、白樺、五葉松の原始林は蒼鬱として枝を交へ葉を交し、南北の視野を美しく遮つてゐる。

避暑の絶好地として知られて居た此温泉場は、近時山嶽スキー地として頓に名を爲し、北海道帝大では此所にスキーの合宿所を置く。



十勝山嶽の春

先年來朝した諾威のヘルセツト中尉はこの山を以て日本第一の山嶽スキー地と折紙をつけたとの事だ。旅舎にはスキー乾燥室の設備もある。

こゝを本據として、トムラウシの勝景を探り、層雲峽の邊迄遠征するのは、健脚家の最も愉快とする所である。

泉質效能 硫酸、鐵、カルシ

ウム等を含む酸性泉で、神經衰弱、ヒステリー、神經痛、リウマチス等に效く。

旅館・經費 吹上温泉旅館(官設硫黄泉驛遞所)。宿料一泊一圓五十錢乃至二圓五十錢。自炊一日七十錢見當

十勝嶽

十勝火山脈の主峯を成し、標高二、〇七七米(六、八五〇尺餘)、大正十五年五月二十四日に大爆發したのは、その西山腹硫黄山である。火口壁の崩壊による岩屑は、爆發物と共に山の西方斜面を落下し、山と雪とを溶かした一大熔岩流となつた。其泥流の中に卷込まれた人家は四百六十戸、死傷者二百五十餘名に上り、多年拮据經營した美田村落千七百町歩は、一瞬の間に埋没されたのである。今、吹上温泉の東方に望まれる泥流の跡は、當時の慘害を物語るもので、噴火口は温泉場から約一里の行程、更に半里程登れば山頂に達するのである。

因に山麓にあつた美瑛温泉は當時致命的な打撃を受け、未だ復興の運びに到つてはゐない。

島の下の温泉

(北海道空知郡富良野町島ノ下)

根室本線島ノ下驛下車(札幌、島ノ下間、賃一圓九十九錢)。

島ノ下は、下富良野町の市街地から二里弱、空知川に沿ふ人家百戸ばかりの小村落である。

富良野ラヂウム泉は、島ノ下の驛の南八町、堀川温泉は同十三町の處にある。

いづれも空知嶽の山麓一帯の深翠を負ひ、東方遙かに十勝嶽の噴煙を望み、風光佳にして閑靜、設備も相當に整つてゐる。

泉質效能 いづれも浴用加熱。ラヂウム泉は、クロール、結合炭酸、硼酸、鐵等を含有し、胃腸病、皮膚病、神經衰弱、ヒステリー、貧血等によく、堀川温泉の含有成分も前者と大差なく、従つて效能も略同じである。

旅館・經費 松壽園、堀川温泉旅館の各一戸。宿料、松壽園は一泊一圓七十錢乃至三圓五十錢。堀川は二圓乃至三圓。自炊によれば各々一日五十錢見當。

然別湖温泉

(北海道河東郡鹿追村然別湖畔)

根室本線新得驛より分岐する北海道拓殖鐵道瓜幕驛下車。扇ヶ原迄自動車の便あり、其先半里徒歩。又帶廣町から自動車の便がある。

景勝の地にある割合に從來餘り世に知られなかつたのは、交通不便がその主因であらう、温泉の名稱も未だ確然たるものなく、然別湖畔にあるので俗に然別湖温泉と稱される程度だ。

湖は然別夫婦山の中腹、海拔八〇〇米(二、六四〇尺)の高所にあり、周圍五里に餘る湖岸は悉く青苔に蔽はれた玉石より成り、漫々たる水は原始林の翠を映じて、幽玄太古の佛がある。

紫躑躅、石南花等の幽花湖畔に開く頃も佳いが、紅葉の候は高山湖沼特有の佳景を見せ、又、

雁、鴨等の飛來するもの頗る多いので、この温泉もかなり賑ひ、山の湯場に應しく岩魚の料理が有るので、浴客に喜ばれる。湯は湖畔から湧出するもので、其量は餘り豊富ではないやうだ。宿にはモーターボートの設備がある。靜かな湖水を排けて小島ボンヌプリに達するも半日の清遊である。

泉質效能 アルカリ性鹽類泉で、溫度四十三度。神經衰弱、脂肪過多症、婦人病等に特效がある。

旅館・經費 清野旅館の他、新築中のものもある。内湯あり、一泊一圓八十五錢、中食七十錢、自炊寢具付一泊七十錢。尙、湖上遊覽船の設備あり、一時間三十錢。

黒田温泉

(北海道中川郡幕別村札内)

根室本線札内驛下車、それより約五町。

白人村の北西水邊の低地で、西方帶廣町に近接してゐる。別に特色のある湯場ではないが、春秋の候には帶廣から遊びがてら出掛けてゆく人が多く、旅館には宴會場の設備がある。

泉質效能 低温なので浴用加熱。リウマチス、胃腸病によい。
旅館・經費 旭館(途別)、黒田館(黒田)。宿料一泊二圓五十錢見當。自炊制はない。

美里別温泉 (北海道中川郡西足寄村)

網走線足寄驛から約九里、途中四里芽登市街迄自動車、その先坦道四里、山道一里は徒歩。▼別途士幌線士幌驛から三里、芽登迄は自動車の便がある。

こゝは一名伊東温泉、又は名湯温泉と云ふ。地はヌカナン川の上流、山嶽重疊の間、絶壁を負ひつゝ、美里別川の奔流を脚下に見る位置にあり、周圍は原始林の翠緑を以て蔽はれてゐる。アイヌ土人が、熊や鹿の足跡を趁つて發見したもので、浴舎の設けられたのは明治二十三年以來のことだ。名湯の名は地名メトウをもぢつて名湯と稱したものである。山間のことゝて山女、岩魚等を釣りながら、のんびりするには恰好の處だ。

泉質效能 温度六〇度の鹽類泉で、脚氣、リウマチス、婦人病に特效あり、麻疹、眼病、痔疾等に效く。
旅館・經費 伊東温泉場。内湯あり、一泊三食付一圓半乃至三圓半。自炊は一日五十錢見當。下宿一ヶ月三十圓。

長澤温泉 瀧の湯温泉

(北海道河東郡士幌村上士幌)

根室本線帶廣驛より分岐する士幌線上士幌驛より自動車、馬車の便がある。

音更川上流の鬱蒼たる國有林中に湧出して居る。雲霧が常に徂徠する幽邃境で、巖に碎ける溪流は、不斷の銀華を咲かせてゐる。上士幌から糠平川を溯る沿道の風景は頗る面白く、途中鱒見の瀧と云ふのがある。産卵の爲溯江する鱒や鮭が、この瀧を超える爲に跳上るのは他所では見られない圖である。

温泉の湧出するのは國有林の中だが、特に温泉地域として許可を受け開湯したもので、湧出口は實に三十數ヶ所の多き上つてゐる。その中、長澤、瀧の湯の外、既に温泉の經營を許可されたもの十數戸、將來は本道有数の温泉場として發展するだらうと豫想される。

泉質效能 いづれも無色透明の鹽類泉で温度六十度。婦人病、皮膚病、胃腸病、打撲症等に特效がある。
旅館・經費 弘起館(長澤)、鳥屋旅館(瀧の湯)。一泊一圓半より二圓見當。自炊によれば間代、寢具代を合

み一日六十銭位。いづれも内湯がある。

雨宮温泉

(北海道河東郡音更村下士幌)

根室本線帯廣驛より貸切自動車三十分。賃二圓半。

北には一帯の山脈走り、南は十勝川を隔て、一望涯なき十勝の大平原を控へ、何如にも北海道情緒の漲る處だ。近く帯廣を控へてゐるので、相當浴客もあり設備も整うてゐる。

泉質效能

アルカリ性單純泉で、胃腸病、婦人病、リウマチスに特效がある。

旅館・經費

雨宮温泉旅館、内湯あり。一泊一圓五十銭乃至三圓。自炊なら間代、寢具付一日六十銭。

豊富温泉

(北海道天鹽郡幌延村豊富)

宗谷本線音威子府驛から分岐する天鹽線豊富驛下車、それより東方一里半、自動車、賃五十銭。

村井鑛業會社が、石油坑を掘鑿の際、突然温泉が湧噴したのである。当初は一晝夜に二萬石の湯を噴騰して始末に困つたが、その後調節工事を施して、一日の湧出量を四千石に制限した。

同温泉は間歇的性質を持ち、略十日目毎に二時間程

の間は絶えず瓦斯や少量の原油を混へた湯を九十尺の高さに噴騰し頗る壯觀を呈する。

地は三方老樹鬱蒼たる丘陵に圍繞された一劃で、豊

富川の流に沿ひ、風光も頗る清新、且附近には温泉

といふものは殆んど無いので、開湯日尙淺きにも拘は

らず中々の繁昌振を見せてゐる。公衆浴場を中心にし

て、料亭、カッフエなども出來、旅館設備もよく整つ

てゐる。

附近緑紅山は、左して高い山ではないが、雲を流れ

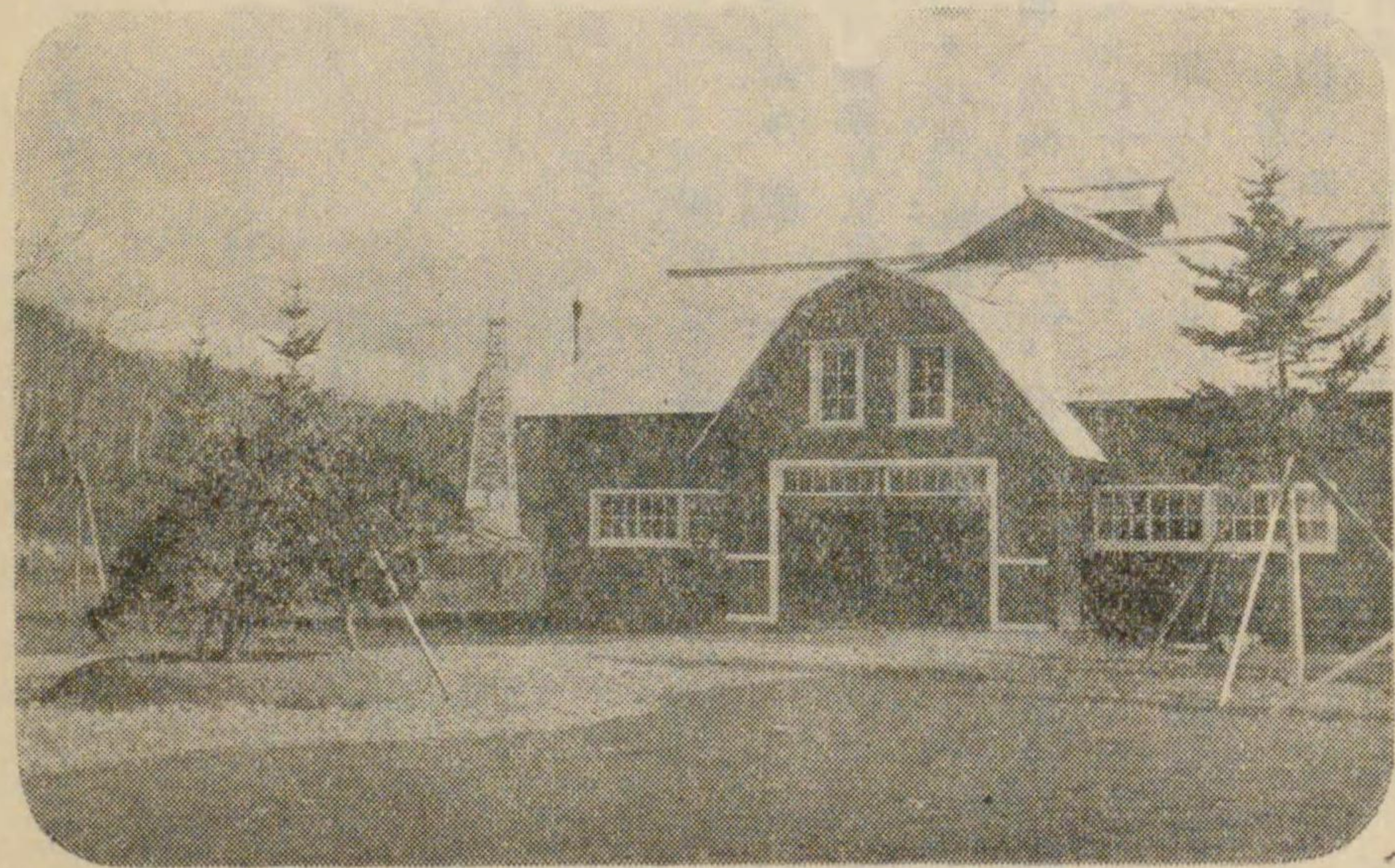
る沙流川を隔て、曠漠たるサロベツ平原を展望し、

遙かに利尻富士の秀峰を眺められ、又針葉樹林に蔽は

れた幽邃境『ペンケ・パンケ』の沼あたり迄節を曳く

事が出来る。

豊富温泉



泉質效能 無色透明の弱アルカリ性鹽類泉で、ラヂウム・エマナチオンの含有量は二七・二九マツヘ、含有成分は左の如し。

クロールカリウム	〇・一一八二	クロールナトリウム	九・八二二三
ヨードナトリウム	〇・〇一五七	ブロームナトリウム	〇・〇一〇八
重炭酸ナトリウム	一・七五六四	クロールアムモニウム	〇・一一七四
重炭酸カルチウム	〇・三六二一	重炭酸マグネシウム	〇・二〇八二
重炭酸亜鉛化鐵	〇・〇一三四	クロールアルミニウム	〇・〇〇二〇
硫酸アルミニウム	〇・〇〇一二	遊離炭酸	〇・三九六四
硅酸	〇・〇三四八	遊離炭酸微量	

(内務省東京衛生試験所調)

特效は慢性リウマチス、各種神經痛、慢性婦人生殖器病等で、その他、呼吸器病、皮膚病等に效く。

旅館・經費 旅館は松尾、松井、川島、澁谷、吉田、井上、羽、高橋、菅原等。宿料は、一泊三食付一圓二十錢乃至二圓五十錢。自炊は室料、薪炭料、布團代等を含み六七十錢見當。

神岩鑛泉 (北海道留萌郡留萌町留萌)

函館本線深川驛から分岐する留萌線により留萌驛下車(札幌、留萌間約六時間、賃二圓四十一錢)、それより東方約半里、自動車の便がある。

留萌川の一流の溪間にあつて、眺望は必らずしも絶佳とは云へないが、五月頃、梅、櫻、桃、李、一時に花を開く頃は、谿間の小仙境と云つた感じがなくてもない。

鮎、鮑などの海産と共に、鯉、鮒等川魚を得られるのはこの自慢である。附近千鳥ヶ岡は眺望よく、冬季はスキー場として賑つてゐる。

泉質效能 アルカリ性硫酸泉で浴用加熱。皮膚病には特效がある。

旅館・經費 柏崎旅館。内湯あり、宿料一泊一圓五十錢、自炊によれば一日一圓以内で滞在出来る。

屈斜路湖を繞る諸温泉

弟子屈村の諸温泉

弟子屈村と云つたゞけでは知る人は蓋し鮮いであらう。同村は釧路國川上郡の北部を占め、東西七里十四町、南北八里といふ北海道ならでは餘り見られない大村落である。東西北の三面は高峻な山脈で圍繞された高原で、北部には周圍十里に餘る屈斜路湖と、其東方摩周嶽の山嶺には周圍六里の摩周湖がある。そして藻琴山、サマツカヌツプリ嶽、跡佐登（硫黄山）等の山々は其外廓に聳え、雄大なる景觀、優美なる風光を展開してゐる。

此の明媚なる景觀は、村内隨處に湧出する温泉に依つて、更に一層價値づけられるのだ。就中弟子屈温泉、鑑別温泉、川湯温泉は殊に優秀なもので、其泉質に於て、其泉量に於て、其環境に於て、決して内地の諸温泉に劣るものではない。又、和琴、池の湯、仁伏、ボロムイ等の如きも、未だ設備こそ原始浴場的の域を脱しないが、特色ある風光と豊富なる泉量とは、充分他に誇るに足る

ものを持つてゐる。

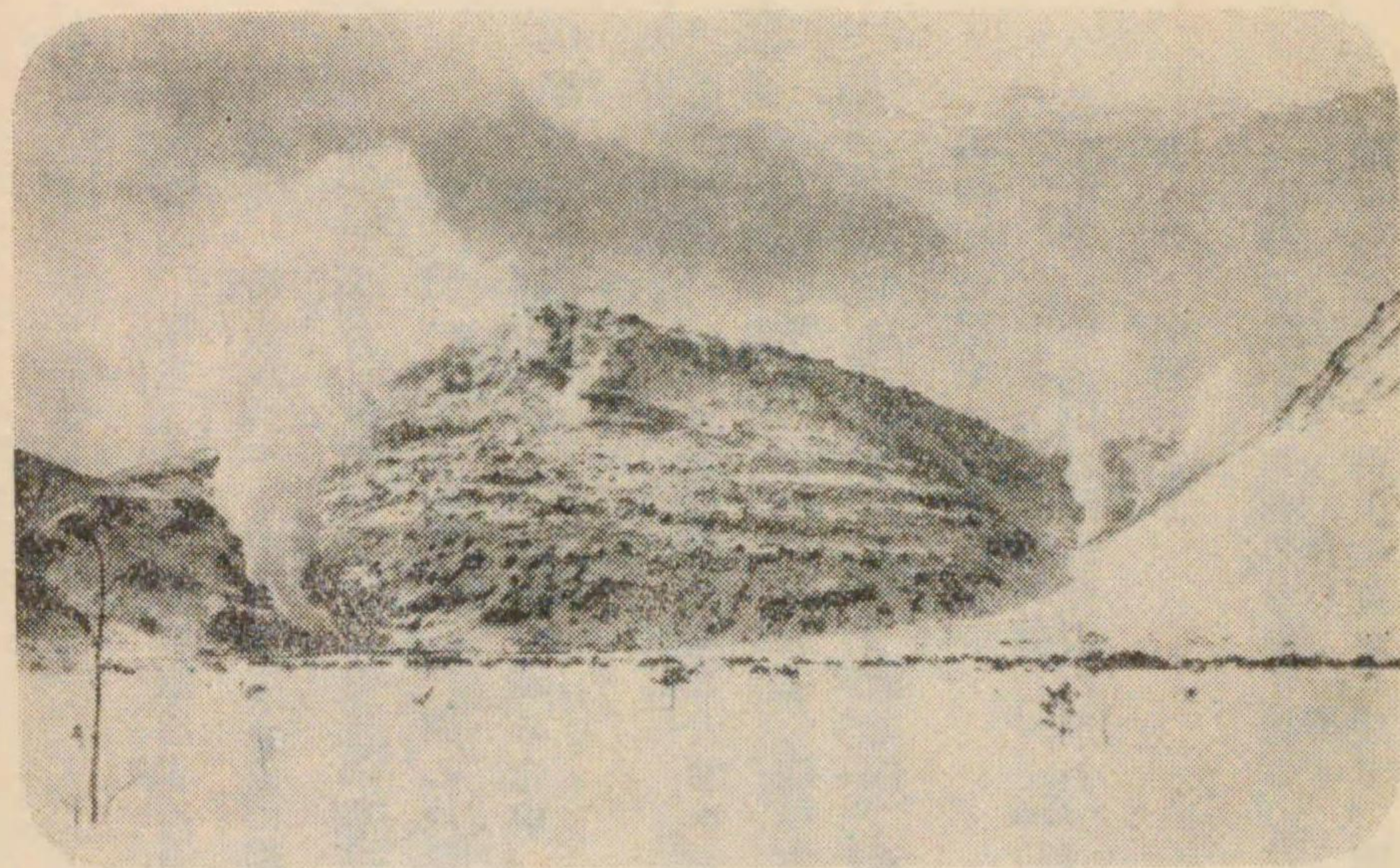
摩周湖。根室、北見の國境摩周嶽の山頂にある陥没湖で、水面標高三五六米、水深二〇八米、周圍六里に

餘り、法馬のやうな形をしてゐる。湖周は摺鉢の内面の如く、神斧を以て削成したやうな陥没の跡を見せ、中には斷崖十八町の高さに達する個所もある。水は常に碧に澄みきつて清冽を極め、一尾の魚族も棲息しない。凄いやうな湖である。湖心に浮ぶカモイシリ（神威島）にはアイヌが源義經を祀つた遺跡がある。弟子屈市街から、こゝに至る途中、阿寒嶽を眺むるあたりの眺望は之亦頗る雄大で、狩勝峠の展望に勝るとさへ云はれる位だ。

屈斜路湖。周圍十二里に餘る大湖水で、釧路川はこゝに源を發し、蜿蜒三十里、太平洋に注いでゐる。岸は三〇〇米以上の絶壁を成し、波の寄るあたりは白く岩肌を現して、何とも云へぬ趣がある、湖中トイモシリ（中島）は周圍三里、蝦夷松、水松、桧等の樹林は鬱蒼として繁茂し、紺碧の湖水に影を蘸してゐる。湖畔には温泉の湧出が多い。

硫黄山。硫黄山は跡佐登山の別名で、明治二十年頃から安田家に於て大規模に硫黄採取を始めて以來呼びなされた名稱である。

川湯温泉から其噴烟を望まれるのだが、釧路北見街道の傍にあつて、標高約五〇〇米、登山は大して困難を感じない。全山硫黄から成り、諸所に硫黄塔を噴き上げ、今でも盛に頂上から黄紫色の物凄い炎を噴



硫黄山の図

いてゐる。山麓一帯は乾餅を撒布したやうな岩石磊砢として堆積し、その間に根を下した偃松は一面に繁茂して虬枝低く踞しつゝ、天表に嘯ぶき、早春、其間を點綴する岩躑躅の爛開や、山漆の紅葉する晩秋の候は満山五彩の光を放つかと疑はれる。
又、山麓方一里程の高原には、石楠花の密生した自然公園あり、六月中旬一齊に花咲き、紫微の天壇に仙女が徜徉するが如く、白雲時に徂徠する處、縹渺として天樂の妙音を聞く思ひあらしめる。
夕染の瀧、釣鐘の瀧は尾札部川の上流に懸り、高さ共に五十尺、阿寒湖に通ずる山道沿ひにあつて、その壯觀を謳はれてゐる。

弟子屈温泉

(北海道川上郡弟子屈村弟子屈市街)

根室本線東釧路驛で釧網線に乗換へ弟子屈驛下車(釧路、弟子屈間、約三時間、賃一圓十六錢)、驛から六町、自動車の便がある。

最近釧網線が通ずるやうになつて、弟子屈の市街地はひどく活氣づいてゐる。市街は釧路川と鑛別川の合流點にあつて、舊市街と新市街とに分れ、温泉場のある舊市街から停車場のある新市街まで約六七町距れてゐる。

舊市街の背後は翠山だ。前には釧路川がのどかに流れてゐる。そこは弟子屈村一番の繁華な場所だ。役場があり、驛遞があり、新興の若やいだ氣分に充ちた温泉場があり、旅館、旗亭いづれも内湯を具へてゐる。旅館の一室に、女中を捉へては土地の話に興ずるのも旅の面白さだ。

『弟子屈つていふのはアイヌ語で、川に磐があつて、魚を堰き止める杭が打ち込めないつていふ意味なんださうですよ——』

それは全道がアイヌの範圍だつた昔のことである。山河の狩獵に生活の根據を置いた彼等は、屈斜路湖に溯る鮭、鱒等の豊富な魚族を逐うて、弟子屈あたり迄やつて來た。其處には思ひがけなくも滾々として湧く湯があり、しかも周圍は明媚な風光につゝまれ、農作の出来る個所もある。どんなに彼等は驚喜したであらう。彼等にとつて、又と得がたい樂土に違ひなかつた。間もなく部落

が構成される。彼等は漁し且つ耕し、平和な生活は繰り返される。温泉にはアツシを作るオヒウの皮などが浸晒されてゐたのもその頃だ。

内地の人間が突然やつて来たのは明治十三年の頃だつた。間もなく獸皮を買ひに來た毛皮商人が住居を建てて。二十年頃になると硫黄を採取する大規模な工事が、安田の手によつて始められ、内地人の數は百人二百人と殖えて來た。その頃から、部落を見捨てるアイヌ人の數が日に月に多くなり、内地人に土着の地を譲つて四散し、現今に至つては數名のアイヌが残存してゐるに過ぎないのだ。

滅びゆく種族よ。アイヌ民族は何處へ行く。などと感慨に耽つてゐると、向ひ側の湯宿の明るい灯の下から、さんざめく絃歌の音が流れて來る。湯の香がほのくと漂うてゐる。弟子屈に内地人の發展の跡は、やがてアイヌ部落の人々の悲しい凋落の跡となるのだ。

遮莫れ、弟子屈諸温泉が、肌さばりの快よい湯と、秀麗な風光に恵まれて、全道有數の温泉場たるの日も近からう。旅館は諸設備を整へて浴客の來集を待つてゐる。

摩周湖はこゝから二里半、屈斜路湖へ三里、何れも自動車の便あり、一日の清遊には好適である。

泉質效能 無色透明、泉温百度の食鹽泉で、胃腸病、婦人病、痛風には特效あり、打撲傷、性病、重病

恢復期の人にもよい。

旅館・經費 土沼旅館、本山旅館。一泊一圓七十錢乃至三圓。自炊制なし。青木旅館は一泊三食附一圓半。

自炊によれば夜具布團代室代で一日五十錢。いづれも内湯がある。

鑑別温泉

(北海道川上郡弟子屈村鑑別)

弟子屈温泉から約七町、弟子屈驛から自動車約十分。

市街地を離れてゐるだけに、閑靜な所だ。此處は村内唯一の櫻の名所で、花時には殊の外賑つてゐる。

湯は岩壁から豊富に湧出し、満々と湛へられた千人風呂も有つて、誰でも隨意に飛び込めるやうになつてゐる。非常に柔い、癖のない泉質を持つてゐるので、炊事には勿論のこと、茶を淹れるにさへ温泉を用ゐる。

泉質效能 無色透明のアルカリ泉で、温度七十一度。リウマチス、神経痛、ヒステリー、貧血症、婦人

病等に效く。

旅館・經費 青木旅館。一泊一圓八十錢乃至二圓五十錢、自炊は室代寢具料等全部で一日六十錢見當。

川湯温泉

(北海道川上郡弟子屈村跡佐登川湯)

弟子屈温泉から約五里、自動車約四十分、賃一圓五十錢。別途網走本線美幌驛から自動車、賃三圓五十錢。

弟子屈市街から釧網街道を一直線に進むと、間もなく道は密林の中を抜けて高原地帯に出る。眼前の硫黄山は、半面を噴煙に蔽はれ、山麓一帯に白樺林の白い木肌を現して居るのは偉大なる奇観だ。

川湯温泉に着いて先づ驚かされるのは泉量の多い事で、湯は隨所から湧出し、川を成して流れて居る。従つて川といふ川は濛々たる湯煙を上げて、豪壯な誇りを見せつゝ、流下し去るのだ。

其處は高山地帯だけに眺望よく、三面を圍む白樺の樹林、南方に聳ゆる端麗な硫黄山の山容にも不思議に北海道特有の荒寥さがなく、如何にも和かくゆつたりした感じが出てゐる。

旅館には相當設備の整つた家もあり、客室、浴槽の清潔なことも快感を與へる。近々釧網線が川湯まで延びるといふので、今から建増をやつてゐるやうな家も見受けられる。

近頃は小料理屋なども出来て、温泉場情緒と云つたものも濃くなりかけてゐる。然し未だ電燈もなく、夜はランプをつるしてゐるといふやうな處ではあるが、それだけに又、山の温泉氣分があつて懐かしい。

こゝから硫黄山までは十數町、西一里の所に屈斜路湖がある。湖畔にはモーターボートも備へてある。

泉質效能 無色透明の酸性泉で、神經衰弱、ヒステリー、リウマチス、胃潰瘍、肋膜炎、皮膚病等に特效がある。

旅館・經費 對岳館、稻田旅館、川湯クラブ、五月女旅館、川湯ホテル、増本旅館等あり。宿泊料は一定してゐないが一圓半乃至三圓見當。川湯ホテル以外はいづれも自炊制あり、一日五十錢乃至一圓半位。各旅館共皆内湯がある。

池の湯温泉

(北海道川上郡弟子屈村屈斜路)

弟子屈市街より自動車約五十分。

仁^ニ伏^{フシ}温泉
和^ワ琴^コ温泉

(北海道川上郡弟子屈村仁伏)

(北海道川上郡弟子屈村和琴)

弟子屈市街より川湯を経て約六里、自動車の便がある。

いづれも屈斜路湖畔、明媚なる風光に抱擁された静かな療養地だ。

池の湯は湖の東岸、十六坪程の巖窟中に満々と湛へられた天然浴槽で、別に人工を加へたらしくもない。

前面には中島、和琴半島の突出するあり、右手に藻琴山の青巒を仰ぎつゝ、この露天風呂に浸る気持は、全く想像の外である。

和琴温泉は、湖南、和琴半島の頸部に湧出し、風光の美しい點に於ては、弟子屈諸温泉中第一だと云はれてゐる。周圍には躑躅、石楠花等簇生し、花時には湖水に舟を浮べて、水の動くに随つて訪づれば、全く仙境に入る感じがある。近時共同浴場も出来、素人下宿もあるから、浴客が泊る位のことには出来る。

仁伏温泉といふのも湖畔の天然浴場で、別に設備としてはない。部落民が浴用に供してゐる程度のものである。

その他、池の湯の北一里程の處にボロムイ温泉あり、この邊一帶は廣大な温泉地域を成してゐるといつてもよい位である。

但し、是等の諸温泉は未だ泉質等は明かにされてはゐないのだが、實驗上、皮膚病、婦人病、創傷、リウマチス等に效く。

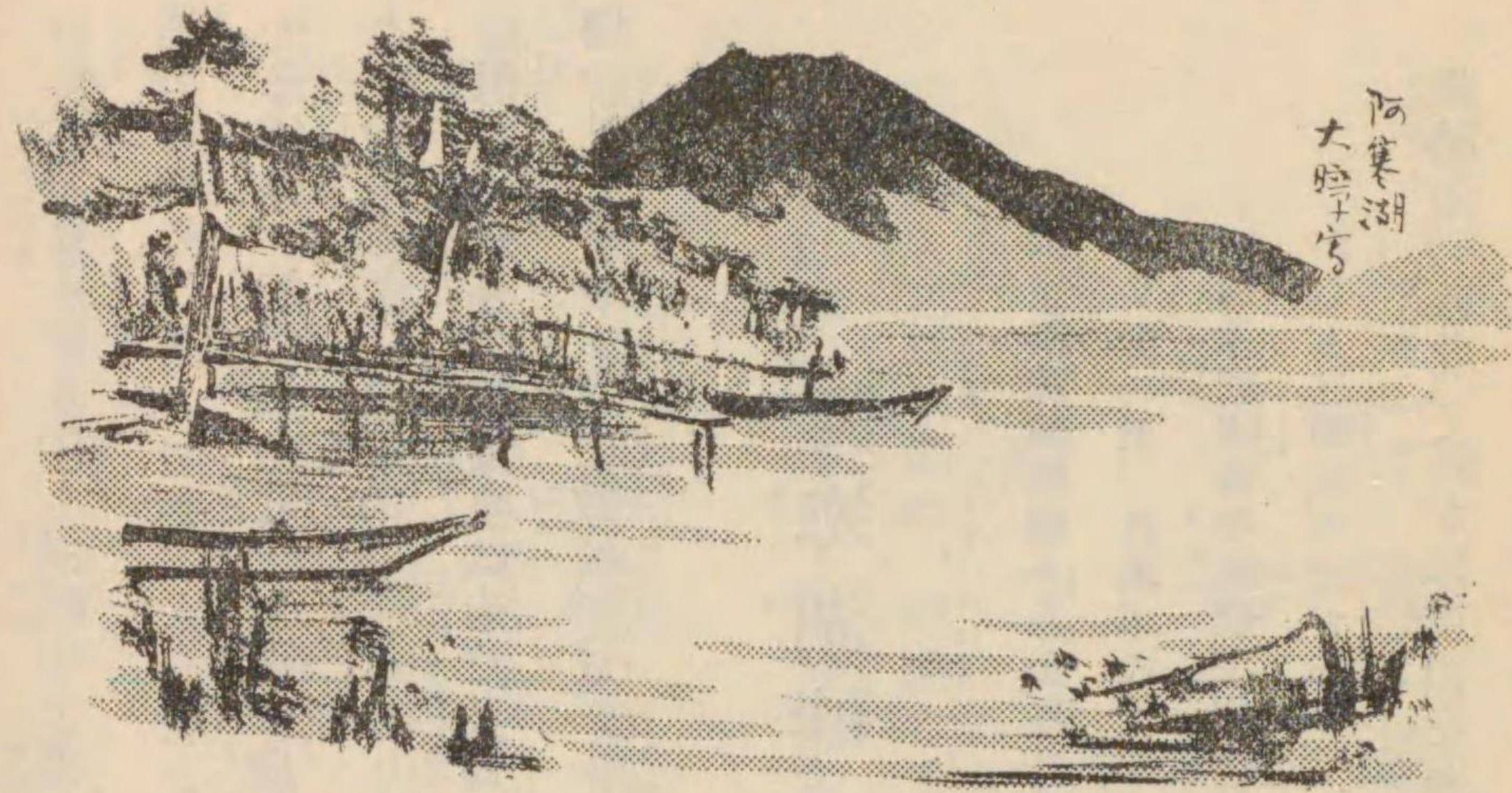
阿^ア寒^{カン}湖^コ畔^{ベン}温泉

(北海道阿寒郡舌辛村阿寒湖畔)

根室本線釧路驛から分岐する雄別炭鑛鐵道により舌辛驛下車(釧路、雄別炭山間、賃一圓十錢)、それより十一里、自動車の便がある。

▼別途網走線美幌驛で相生線に乘換へ北見相生驛から五里半。▼釧網線弟子屈驛から十里半、どちらからも自動車の便がある。

釧路市の西北、遙かに群山を壓して天空に聳える阿寒嶽は、雄阿寒、雌阿寒の二峰より成り、雄



阿寒湖 大野下
峯は海拔一、五五〇米弱（凡五、〇〇〇尺）、端麗なる山容は富士を思はせ、雌峰は海拔一、六一七米弱（凡五、三四〇尺）、山巔より噴烟を吐く豪快な姿を見せてゐる。

阿寒湖は、この兩峰の中間三百米の高所に、千年の碧を湛へてゐる神秘的な湖沼で、周回六里二十町、太古さながらの原始林に蔽はれ、幽邃極りない。

温泉はこの湖南に湧く。遠く人里離れた別天地で、静養地としては絶好の處、浴舎の背後には針葉樹林が蔚密し、前面には湖水を隔て、雄阿寒嶽、昭和嶽の悠々迫らざる山容も望まされる。然し此地の景觀は雄大といふよりも、むしろ幽玄の趣を帯びてゐる程、寰境は静けさに満ちてゐるのである。

澄みきつた湖上に舟を浮べるのも愉快な遊びだ。龍の口あたり舟をとゞむれば、兩岸は近く相逼つて一水動かす、十九の小島には苔青くさび、岸邊には千年の密林が晝尙暗きまでに繁つ

てゐる。

この湖に産するマリ藻 (Aegagropia Santari) は世界中唯スキスの一湖水と、此阿寒湖及び千島、樺太等の淡水湖中に僅かに産する珍植物で、天然記念物になつてゐる。

阿寒嶽山頂は温泉から三里七町、又山路九里餘り屈斜路湖に出るコースも有る。尙同湖畔ボツケにも温泉湧出の個所がある。

名物土産物 鮭鱒、穂藻餅、寶藻餅、モミヂ煎餅。

泉質效能 アルカリ性鹽類泉で温度六十四度。胃腸病には内服して效あり、浴用すればリウマチス、

神経痛、婦人生殖器病等に特效がある。

旅館・經費 山浦、井上、土田等の旅館あり。宿泊料一泊二圓乃至三圓、自炊及び伺ひ制による滞在費用

一日七十錢乃至一圓五十錢。學生、登山者は一泊一圓半。

雄阿寒温泉

阿寒郡舌辛村オクルシユベにあり。雄阿寒嶽の山麓、阿寒川の沿岸にある。

阿寒嶽登山の準備地として好適の所だ。此處には湖上遊覽用のモーターボートの設備もあり、冬季はスキーの好スロープも近くにある。泉質は鐵泉と硫黄泉の二種で、温度九十九度。リウマチス、皮膚病、滲出物等に特效がある。雄阿寒ホテルは設備よく、内湯あり。宿泊料は阿寒湖畔温泉と大

差がない。

若松温泉

(北海道常呂郡野付牛町若松)

網走本線野付牛驛の東南一里二十一町、自動車賃五十銭。

北見東部の咽喉に當る野付牛の市街から、ジブシナイ川に沿うて溯ると、よく耕された小平野に出る。若松温泉はこの小平野の中にある閑静な湯場で、周囲を繞る山々の姿を一目に遠望される。風光は別に特色のない處ではあるが、静養地としては恰好の場所である。

泉質效能 硫黄泉で、浴用加熱を要し、リウマチス、皮膚病等によい。
旅館・經費 養老閣。内湯あり、宿泊料一泊二圓半。自炊一日五十銭から。

留邊蘂温泉

(北海道常呂郡相内村)

網走本線野付牛驛で連絡する湧別線により、留邊蘂驛下車、驛より東南十二町、自動車の便がある。

武華川の河畔にあり、附近はよく拓かれた農耕地で、周囲の風景は割合に平凡である。武華川といふのは、アイヌ語で、この川は温泉があるので河水の凍ることが晚い、「水の凍る時始めて川を越すを得べし」と云ふ意味だといふ事だ。

泉質效能 單純泉で温度三十八度乃至四十度。皮膚病、不眠症、舞蹈病、疝痛等によい。
旅館・經費 河原田旅館。内湯あり、一泊一圓半乃至五圓。

温根湯温泉

(北海道常呂郡留邊蘂町)

湧別線留邊蘂驛の西方三里餘、自動車、賃六十銭。

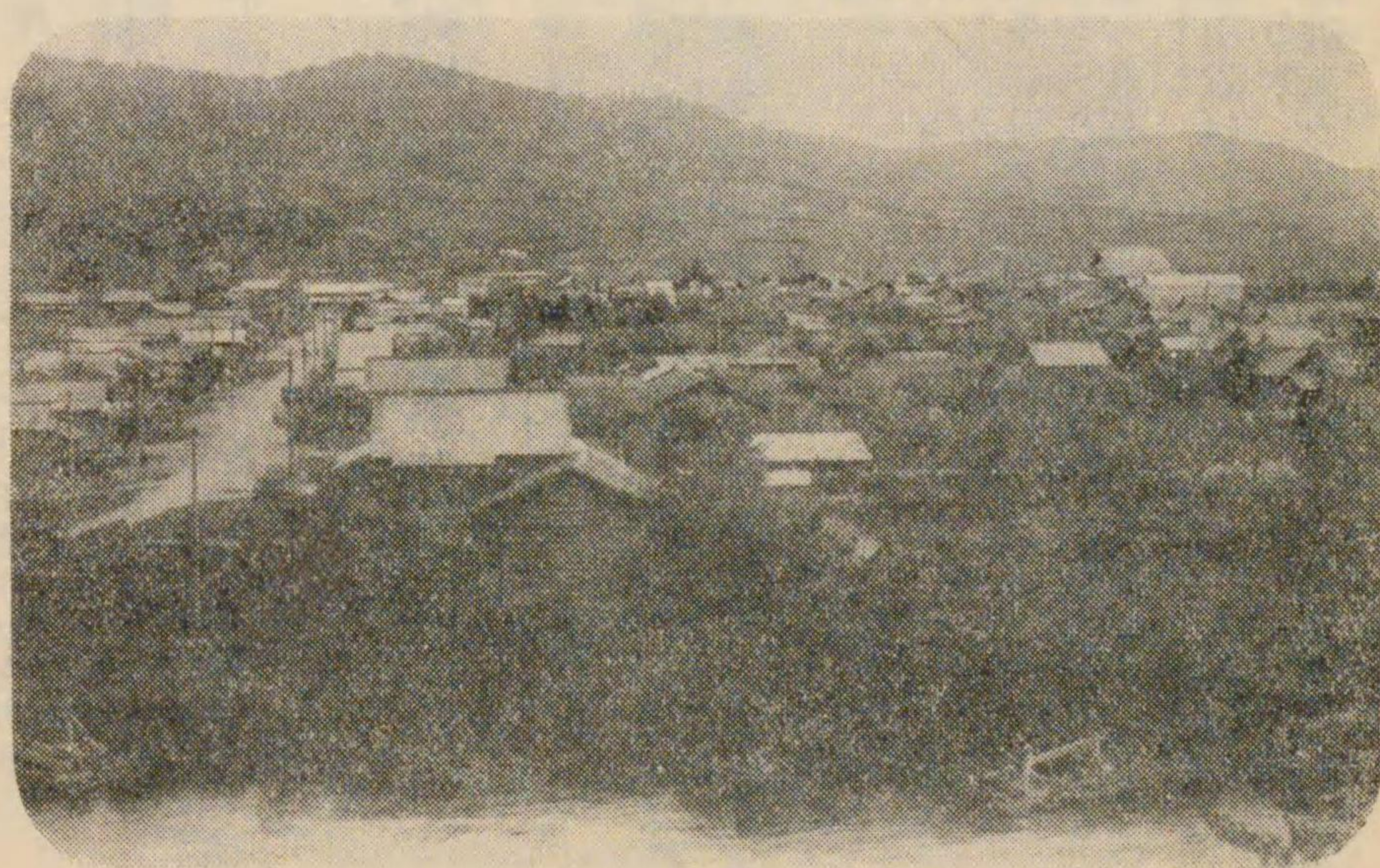
留邊蘂町は常呂郡の西南端にあつて東西十三里、南北三里に亘る殖民區劃地である。温根湯温泉は同町武華市街地にあり、留邊蘂温泉の上流、武華川に枕み、北見の仙境と云はれてゐる。川岸の懸崖より湧出する温泉を導き、五ヶ所に浴場を設け、設備は相當に整つてゐる。附近に名所として擧ぐべき程のものはないが、周圍には鬱蒼たる樹林を控へ、武華川の清流は頗

る風趣あり、岩躑躅の花咲く頃や、木々の紅葉する時は、仙境の名に背かざるものがある。山傳ひ五町程の處にある武華、双龍の二金山を訪ねるもよく、ロウソク岩の奇を探るのも浴後の散策にふさはしい。因みに、温根湯とはアイヌ語で貴き温泉と云ふ意味ださうだ。七師團の療養所もこゝにある。こゝは又北見富士、武華嶽、武利嶽等北海道中央山脈の諸峯登山者の根據地ともなつてゐる。

泉質效能 食鹽含有硫黄泉で温度十五度、浴用加熱を要す。皮膚病、外傷の恢復期、呼吸器病、肝臓病等に特效がある。

旅館・經費 山與大江旅館、丸大江旅館、櫻井旅館、國澤旅館、飯田旅館。いづれも内湯あり、一泊二食付一圓五十錢乃至五圓、中食七十錢乃至二圓、自炊なら一人一日一圓、合宿二人以上なら一人八十錢見當。

温根湯より武華市街を望む



樺太の諸鑛泉

川上温泉

(樺太豊原郡豊北村川上)

北海道宗谷岬稚内から連絡船により大泊に上陸、それより樺太廳鐵道に依り、小沼驛で川上線に乗換へ、川上温泉驛下車。宗谷、稚内間連絡船八時間。大泊、川上間、二時間餘、賃一圓五十六錢。鈴谷平原を西に入つてしばらく行くと、鈴谷川の流域に翠巒四周の一閑境がある。

その處である。五六月の候ならば傘大の蔭の葉蔭に山女を釣るによく、又白樺、ナナカマド等の樹林をぶら／＼散策すると、鈴蘭、黒百合、勿忘草等の可憐な花が、足許から微笑みかける。

川上炭山は温泉から西方三里餘、附近には化石が多い。東方約二里半、小沼平原の夕陽は樺太十景中随一と稱せられるもので、殘留露人の侘しい丸太小屋杯がポツリ／＼と建つて居る。驛で賣る露西亞娘の焼いたパンを嚙りながら、樺太農村の實況を見學するなど、大いに獲る處があらう。

名物土産物
の盆栽等。

白樺細工、アンモン貝細工、落漬、山女漬、フレップワイン、フレップ餡、落葉松、オンコ

泉質效能

アルカリ性食鹽泉で、浴用加熱。濕疹、腺病、膀胱カタル等には特效がある。

旅館・經費

豊陽館。一泊一圓半乃至二圓、中食六十錢乃至一圓、自炊による滞在費用は一日五十錢見當。

吐鯤保澤溫泉

(樺太本斗町吐鯤保澤)

西海岸線の南端本斗驛から南方へ約半里、自動車の便がある。

吐鯤保川の沿岸にある閑靜な湯場で、浴舎の設備は兎も角整つてゐる方だ。こゝでは、谿間に産する香のよい芹が景物の一つだ。宿の主人が、附近の竹藪から材料を得て、手すさびに拵へた花籠等を茶代返しに贈るといつた質朴さである。この上流二町の處に日本石油株式會社の試掘場がある。

泉質效能

硫黄、鹽分、鐵分等を含む冷泉で、浴用加熱。皮膚病、リウマチス、慢性關節炎等に特效がある。

旅館・經費

小番旅館。宿料一泊二圓、中食八十錢、滞在費用一日三食付一圓八十錢。自炊によれば八十錢乃至一圓。

樂磨溫泉

(樺太眞岡郡蘭泊村)

西海岸線樂磨驛より六町。

樺太西海岸の中部にあつて山容水態頗る明媚、附近には紅葉丘、樂磨神社等の名勝があり、秋季には遊覽を兼ねた浴客も頗る多い。

溫泉の入口にある樺太中央試験場水産部には、樺太に棲息する魚族を集め、一般の觀覽に供すると共に、その製品を賣つてゐる。

その他、附近には養狐場などもある。

泉質效能

鹽類泉の他に、今一種湧出してゐるが、いづれも低温の鑛泉で浴用加熱を要し、主としてリウマチス、神經痛、痔疾、月經不順、皮膚病等に效く。

旅館・經費

樂磨溫泉旅館。一泊三食付一圓五十錢見當。

梅香溫泉

(樺太野田郡野田町梅香)

西海岸線の北端野田驛下車。

翠山を背に負ひ間宮海峡に面して、眺望頗る絶佳、別に共同浴場といったものはなく、旅館の内湯ではあるが、背後の山に遊園地を設けなどして、著々設備を整へてゐる。

泉質效能 冷泉で、浴用加熱。痔疾、梅毒、子宮病、皮膚病に特效がある。

旅館・経費 梅香温泉旅館。宿泊料一泊三食付二圓、自炊による滞在費用は一日六十錢見當。

湯の澤温泉 (樺太眞岡郡廣地村苦舞)

西海岸線湯の澤驛から一町。

緩やかな溪川に沿うてしばらく行つた静かな山懐にある瀟洒な建物が湯の澤温泉場で、白樺樹林の中にのどかな湯煙をあけてゐる。冷鉱泉で沸かさなければならぬのは少し不便のやうだが、諸設備は却々よく整ひ、男女浴槽の他に家族湯もあり、宴会所、遊園地と云つた設計が成り、際涯なく連る西海岸線一帯の風光が眺められる。今でこそ亞庭灣にお株を奪はれかゝつてはゐるが、西海岸一帯の地域は、鯨の世界的漁場と謳はれたものだ。

行くにや及ばぬ外國などへ、北に樺太ありながら、陸に炭礦沃野に千里の林ね、海には鯨、タラバ蟹(前唄)北の果よと笑うた島も、今ちや黄金の花が咲く(本唄)、アメリカ行など一生やめん、早くおいでよ樺太へ(送唄)

かうした唄は今でも盛んに聞かされる。

泉質效能 低温の硫黄含有アルカリ鹽類泉で浴用加熱。各種神經痛、慢性リウマチス、婦人病、皮膚病には特效がある。

旅館・経費 溪仙閣。内湯と云ふよりも、浴場、旅館兼營の家で一泊二圓半、自炊席料は三十錢乃至一圓。

尚、千島群島には、得撫西部海岸の温泉崎その他數ヶ所に温泉の湧出を見るも、未だ浴舎、設備の見るべきものなく、殆んど利用されてはゐない。

網代鑛泉……………一四七
 熱川溫泉……………八〇
 熱海溫泉(靜岡)……………五九
 熱海溫泉(福島)……………三九
 熱鹽溫泉……………三五
 溫海溫泉……………四九〇
 吾妻溫泉……………三六四
 穴原溫泉(群馬)……………三三七
 穴原溫泉(福島)……………四〇二
 網張溫泉……………三三五
 雨宮溫泉……………三五四
 新井溫泉……………三三八
 新湯溫泉……………三九一
 荒湯溫泉……………四六六
 案內溫泉……………四三九
 青木鑛泉(山梨)……………

青島溫泉……………(宮崎)
 赤倉溫泉……………(新潟)
 赤島溫泉……………(和歌山)
 赤瀨鑛泉……………(熊本)
 赤湯溫泉……………(新潟)
 阿久根溫泉……………(鹿兒島)
 朝日溫泉……………(鹿兒島)
 淺間溫泉……………(長野)
 麻布鑛泉……………(新潟)
 阿曾原溫泉……………(富山)
 阿母平鑛泉……………(宮崎)
 鮎川溫泉……………(和歌山)
 嵐山鑛泉……………(京都府)
 有明溫泉……………(長野)
 有福溫泉……………(島根)
 有馬溫泉……………(兵庫)

飯坂溫泉……………三九六
 飯田溫泉……………六四〇
 飯盛溫泉……………三三三
 伊香保溫泉……………一八六
 碓ヶ關溫泉……………五四
 幾春別溫泉……………六二八
 池の湯溫泉……………六六五

イ(井)

栗津溫泉……………(石川)
 蘆原溫泉……………(福井)
 安岳溫泉……………(朝鮮)
 安代溫泉……………(長野)
 安北湯溫泉……………(滿洲)
 安樂溫泉……………(鹿兒島)
 安樂新溫泉……………(鹿兒島)

石抱溫泉……………五〇七
 磯谷溫泉……………五九三
 磯部鑛泉……………一七九
 板留溫泉……………五四
 板室溫泉……………三一
 一の坂溫泉……………四三
 一乃湯鑛泉……………五
 伊豆山溫泉……………六
 伊東溫泉……………七
 稻住溫泉……………四六七
 猪ノ田鑛泉……………一七
 今神溫泉……………五〇三
 入海鑛泉……………三八
 岩尾別溫泉……………六〇八
 飯治洞溫泉……………(長野)
 硫黃谷溫泉……………(鹿兒島)

五十澤温泉……(新潟)……
 生地鑛泉……(富山)……
 池田鑛泉……(島根)……
 池ノ平温泉……(新潟)……
 伊作(湯の)温泉……(鹿兒島)……
 石村温泉……(熊本)……
 市來(湯之)温泉……(鹿兒島)……
 市比野温泉……(鹿兒島)……
 出湯温泉……(新潟)……
 今板温泉……(新潟)……
 揖宿の温泉……(鹿兒島)……
 入來(副田)温泉……(鹿兒島)……
 入船鑛泉……(長崎)……
 入山邊鑛泉……(長野)……
 岩井温泉……(鳥取)……
 岩崎山鑛泉……(山梨)……

岩下鑛泉……(山梨)……
 岩間温泉……(石川)……
 岩室鑛泉……(新潟)……

ウ

宇曾利山温泉………五七五
 姥子温泉………四
 姥湯温泉………三七七
 五龍背温泉……(滿洲)……
 釜ノ口温泉……(大分)……
 兔口温泉……(新潟)……
 海潮温泉……(島根)……
 白池鑛泉……(石川)……
 打波鑛泉……(福井)……
 内ノ牧温泉……(熊本)……
 内山鑛泉……(長野)……

鵜泊温泉……(鹿兒島)……
 鰻温泉……(鹿兒島)……
 宇奈月温泉……(富山)……
 梅ヶ島温泉……(静岡)……
 梅園温泉……(大分)……
 烏來温泉……(臺灣)……
 浦島温泉……(和歌山)……
 嬉野温泉……(佐賀)……
 雲仙温泉……(長崎)……

エ(エ)

榮之尾温泉……(鹿兒島)……
 惠那鑛泉……(岐阜)……
 海老野温泉……(宮崎)……
 圓行寺鑛泉……(高知)……
 鹽山鑛泉……(山梨)……

オ(オ)

老神温泉………二五五
 鶯宿温泉………五三七
 應徳温泉………三三六
 大網温泉………二七七
 大澤温泉(岩手)………五三〇
 大澤温泉(静岡)………一三六
 大鹽温泉………三六八
 大島の湯場………一三七
 大瀧温泉(栃木)………二六七
 大瀧温泉(秋田)………五三七
 大塚鑛泉………二〇二
 大舟上温泉………五九四
 大舟下温泉………五九四
 大室温泉………二四〇

大湯温泉 (秋田・雄勝)……………四八三
 大湯温泉 (秋田・鹿角)……………五三六
 大鰐温泉……………五五〇
 沖浦温泉……………五五五
 翁島温泉……………五五三
 沖野温泉……………六三三
 忍山鑛泉……………一七〇
 恐山温泉……………五七五
 押立温泉……………三五一
 雄阿寒温泉……………六六九
 及川温泉……………六一〇
 男釜温泉……………四六六
 小河内温泉……………一四一
 鬼首の温泉……………四九九
 小野川温泉……………三七九
 小原温泉……………四三三

小原鑛倉温泉……………四三三
 小日向温泉……………二四三
 折木鑛泉……………三三七
 折立鑛泉……………四七七
 温根湯温泉……………六七一
 温ノ原温泉……………四三九
 大澤鑛泉……………(新潟)
 大白川温泉……………(岐阜)
 大嶽温泉……………(大分)
 大津鑛泉……………(石川)
 大坪温泉……………(熊本)
 大釣温泉……………(岡山)
 大牧温泉……………(富山)
 大藪鑛泉……………(山梨)
 大湯温泉……………(新潟)
 岡部鑛泉……………(静岡)

奥津温泉……………(岡山)
 忍野鑛泉……………(山梨)
 緒立鑛泉……………(新潟)
 落合鑛泉……………(長野)
 鬼岩温泉……………(岐阜)
 鬼ヶ嶽温泉……………(岡山)
 王母家温泉……………(長野)
 親湯温泉……………(長野)
 折橋温泉……………(鹿児島)
 小天温泉……………(熊本)
 岡松温泉……………(宮崎)
 小川温泉……………(富山)
 小川温泉元湯……………(富山)
 雄琴鑛泉……………(滋賀)
 小澤鑛泉……………(岐阜)
 小瀬温泉……………(長野)

小谷温泉……………(長野)
 小田温泉……………(島根)
 小濱温泉……………(長崎)
 温水坪温泉……………(朝鮮)
 温井院温泉……………(朝鮮)
 温井洞温泉……………(朝鮮)
 温陽温泉……………(朝鮮)

力

蠣崎鑛泉……………五七七
 香草温泉……………三三四
 鹿澤温泉……………三三〇
 甲子温泉……………三三三
 金山温泉……………四三九
 銀山温泉……………四一九
 蟹澤温泉……………四六〇

海門温泉……(鹿兒島)……
 角間温泉……(長野)……
 鹿教湯温泉……(長野)……
 籠坊温泉……(兵庫)……
 笠置温泉……(京都)……
 春日鑛泉……(富山)……
 湯口温泉……(鹿兒島)……
 片山津温泉……(石川)……
 勝見温泉……(鳥取)……
 勝浦の温泉……(和歌山)……
 勝沼温泉……(山梨)……
 金桁鑛泉……(熊本)……
 列々温泉……(朝鮮)……
 鐘釣温泉……(富山)……
 釜ヶ迫温泉……(宮崎)……
 上高地温泉……(長野)……

上諏訪温泉……(長野)……
 雷温泉……(宮崎)……
 上の島温泉……(臺灣)……
 紙屋温泉……(大分)……
 上山田温泉……(長野)……
 龜川温泉……(大分)……
 龜澤温泉……(宮崎)……
 唐澤鑛泉……(長野)……
 唐澤ウヰム鑛泉……(長野)……
 川浦温泉……(山梨)……
 川底温泉……(大分)……
 川棚温泉……(山口)……
 河内温泉……(熊本)……
 川湯温泉……(和歌山)……
 河原湯……(大分)……
 觀海寺温泉……(大分)……

蟹ノ湯温泉………三三
 鎌先温泉………四四
 上ノ山温泉………四八
 神岩鑛泉………六六
 カルシウム鑛泉………七三
 カル、ス温泉………六一
 川音鑛泉………五四
 川上温泉(福島・信夫)………三九〇
 川上温泉(福島・耶麻)………三四三
 川上温泉(北海道)………六〇九
 川上温泉(樺太)………六七三
 川汲温泉………五七
 川渡温泉………四三
 川治温泉………二七〇
 河津濱温泉………二二六
 川中温泉………二〇八

川場温泉(群馬)………二二三
 川古温泉………二五四
 川俣温泉………二七二
 川湯温泉(北海道)………六六四
 川原毛温泉………四六四
 川原湯温泉(群馬)………二〇九
 河原湯温泉(宮城)………四三三
 峩々温泉………四三〇
 我樂目嬉鑛泉………二〇〇
 輕川鑛泉………六二二
 川合田鑛泉(富山)………
 海雲臺温泉……(朝鮮)……
 貝掛温泉……(新潟)……
 皆生温泉……(鳥取)……
 海州温泉……(山梨)……
 海州瀧温泉……(山梨)……

草津温泉……………二二
 草薙温泉……………五〇
 俱知安温泉……………六七
 國澤温泉……………六〇
 國見温泉……………五八
 熊の湯……………五九
 藏館温泉……………五三
 黒澤温泉……………六三
 黒田温泉……………六一
 黒山温泉……………一四
 黒湯温泉……………五三
 栗川湯……………(鹿兒島)
 久江温泉……………(石川)
 串野温泉……………(大分)

ク

鯨波温泉……………(新潟)
 楠温泉……………(大分)
 杳掛温泉……………(長野)
 葛温泉……………(長野)
 熊入温泉……………(熊本)
 球摩川温泉……………(熊本)
 熊野温泉……………(富山)
 熊の川温泉……………(佐賀)
 熊の湯温泉……………(長野)
 苦樂園温泉……………(兵庫)
 栗野岳温泉……………(鹿兒島)
 吳羽温泉……………(富山)
 黒川温泉……………(熊本)
 黒薙温泉……………(富山)
 黒平温泉……………(山梨)

軒仔崙温泉……………(臺灣)
 關子嶺温泉……………(臺灣)
 鐵輪温泉……………(大分)
 寒の地獄……………(大分)
 上林温泉……………(長野)
 觀音温泉……………(宮崎)
 觀音寺温泉……………(新潟)
 觀音湯温泉……………(富山)
 蒲田温泉……………(岐阜)

キ

木賀温泉……………三七
 北温泉……………三六
 北湯ヶ野温泉……………二七
 鬼怒川温泉……………二七
 清水温泉……………一七

喜良市温泉……………五一
 切明温泉……………五六
 霧積温泉……………三三
 銀婚湯温泉……………五七
 貴志の湯……………(和歌山)
 北山温泉……………(富山)
 木津温泉……………(京都)
 城崎温泉……………(兵庫)
 木山温泉……………(宮崎)
 京町温泉……………(宮崎)
 錦溪温泉……………(大阪)
 金山温泉……………(臺灣)
 錦繡温泉……………(富山)
 金峰温泉……………(山梨)
 金龍温泉……………(岐阜)